

健康保険・船員保険 被保険者実態調査報告

平成 23 年 10 月



厚生労働省保険局

ま え が き

この報告書は、平成23年度に実施した健康保険・船員保険被保険者実態調査の結果をまとめたものである。

健康保険・船員保険被保険者実態調査は、健康保険及び船員保険の被保険者について、その年齢、標準報酬月額、標準賞与額、所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄等を調査し、健康保険制度及び船員保険制度の健全な発展を期するための基礎資料を得るため実施されるものである。

この調査は、昭和41年度から全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）及び健康保険組合管掌健康保険の被保険者について実施されている。また、平成21年度からは平成20年10月に全国健康保険協会が発足したことに伴い、健康保険法第3条第2項被保険者実態調査（社会保険庁）の内容を踏まえ、全国健康保険協会管掌健康保険（健康保険法第3条第2項被保険者）の被保険者を対象に加えている。さらに、平成22年1月より船員保険は全国健康保険協会が管掌することとなったことから、船員保険被保険者実態調査（社会保険庁）の内容を踏まえ、平成22年度からは船員保険の被保険者も対象に加えている。

この調査結果は、健康保険及び船員保険の被保険者や被扶養者の実態を示すものであり、また受診や医療費の状況等を分析する際に欠かすことのできない基礎的統計である。

この報告書が制度運営の基礎資料として広く各方面に利用されるならば、誠に幸いである。

最後に、この調査の実施にあたり、ご協力をいただいた全国健康保険協会、健康保険組合の担当者の方々及び関係者各位に対し、深く感謝の意を表する。

平成24年9月

厚生労働省保険局調査課長

村山 令二

目 次

第1章 調査の概要	7
-----------	---

第2章 調査結果の概要（健康保険被保険者実態調査）	12
---------------------------	----

1. 加入者の年齢構成	12
2. 被保険者の年齢構成	14
3. 被扶養者の年齢構成	17
4. 年齢階級別扶養率	21
5. 標準報酬月額別扶養率	26
6. 総報酬額階級別扶養率	28
7. 年齢階級別平均標準報酬月額	29
8. 年齢階級別平均標準賞与額	32
9. 年齢階級別平均総報酬額	36
10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合	39
11. 年齢階級別、被保険者期間別構成等	40
12. 業態別被保険者構成割合、扶養率等	42
13. 規模別被保険者構成割合、扶養率等	43
14. 被保険者数の推移について	44
15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について	56
（参考）事業所の業態別・規模別事業所数、被保険者数の構成割合	60

第3章 調査結果の概要（船員保険被保険者実態調査）	62
---------------------------	----

1. 加入者の年齢構成	62
2. 被保険者の年齢構成	64
3. 被扶養者の年齢構成	65
4. 年齢階級別扶養率	67
5. 標準報酬月額別扶養率	69
6. 総報酬額階級別扶養率	71
7. 年齢階級別平均標準報酬月額	72
8. 年齢階級別平均標準賞与額	74
9. 年齢階級別平均総報酬額	77
10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合	79
11. 年齢階級別、被保険者期間別構成等	80
12. 規模別被保険者構成割合、扶養率等	82
13. 被保険者数の推移について	83

第4章 統計表	
---------	--

1. 全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）（全数統計）	87
---------------------------------	----

第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額 及び平均総報酬額	89
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	90
第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	96
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	102
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	109
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	113
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	117
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	120
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別、被扶養者数、 及び平均年齢	126
第10表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	132
第11表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	138
第12表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	145
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	146
第14表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	148
第15表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	154
第16表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	160
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	166
第18表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	167
参考表	事業所の業態別・規模別事業所数及び被保険者数	168

2. 組合管掌健康保険（抽出率 1/500） 173

第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額 及び平均総報酬額	175
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	176

第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	182
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	188
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	195
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	199
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	203
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	206
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別、被扶養者数 及び平均年齢	212
第10表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	218
第11表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	224
第12表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	231
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	232
第14表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	234
第15表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	240
第16表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	246
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	252
第18表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	253
第19表	年齢階級別・加入前制度別、加入者数	254
第20表	年齢階級別・脱退後制度別、脱退者数	255
3.	全国健康保険協会管掌健康保険（法第3条第2項被保険者）（全数統計）	257
第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数及び扶養率	259
第2表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	260
第3表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	267
第4表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	268
第5表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	270

4. 船員保険（全数統計） 277

第1表	被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、被保険者数、 被扶養者の性別、被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、 平均標準賞与額及び平均総報酬額	279
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均標準報酬月額	284
第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均標準賞与額	296
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均総報酬額	298
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別・船舶種別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	301
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別・船舶種別、被保険者数 及び平均標準賞与額	303
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別・船舶種別、被保険者数 及び平均総報酬額	305
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	306
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別・船舶種別、被扶養者数 及び平均年齢	308
第10表	被保険者の年齢階級別・船舶所有者の規模別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均年齢	310
第11表	被扶養者の年齢階級別・性別・船舶種別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	312
第12表	被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別・続柄別、被扶養者数	316
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別 ・船舶種別、被扶養者数	318
第14表	標準報酬月額別・船舶所有者の規模別・性別・船舶種別、 被保険者数、平均標準報酬月額、被扶養者数	320
第15表	標準賞与額階級別・船舶所有者の規模別・性別・船舶種別、 被保険者数、平均標準賞与額、被扶養者数	322
第16表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別・船舶種別、加入者数	324
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別・船舶種別、脱退者数	325

なお、船員保険については、第1表、第2表、第11表を除き船舶種別及び男女別に係る分を報告書に掲載していないが、政府統計の総合窓口（e-Stat）（URL <http://www.e-stat.go.jp>）にて公表している。

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、健康保険及び船員保険の被保険者の年齢、標準報酬月額、標準賞与額、その所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄、異動の状況を調査し、制度運営のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象及び調査客体

- (1) 組保管掌健康保険（以下「組合健保」という。）については、平成23年10月1日現在の被保険者並びに平成23年10月中に被保険者資格取得届け及び被保険者資格喪失届により異動した者（以下「異動者」という。）を調査対象者とし、被保険者は健康保険組合（支部を有する健康保険組合にあっては支部）ごとに被保険者は500分の1、異動者（任意継続被保険者及び特例退職被保険者の資格取得者を除く）については50分の1で系統抽出した者とする。
- (2) 全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）（以下「協会（一般）」という。）については、平成23年10月1日現在の被保険者並びに平成22年10月から平成23年9月の間の異動者の全数を調査対象者及び調査客体とする。
- (3) 全国健康保険協会管掌健康保険（健康保険法第3条第2項被保険者）（以下「法第3条第2項被保険者」という。）については、平成23年10月1日現在の被保険者の全数を調査対象者及び調査客体とする。
- (4) 船員保険については、平成23年10月1日現在の被保険者並びに平成22年10月から平成23年9月の間の異動者の全数調査対象者及び調査客体とする。

（参考）健康保険の加入者（被保険者及び被扶養者をいう。以下同じ。）については、平成20年4月に後期高齢者医療制度が施行されたことにより、後期高齢者広域連合の区域内に住所を有する75歳以上の者等はそれまで加入していた健康保険の加入者の資格を喪失し、後期高齢者広域連合が行う後期高齢者医療の被保険者になった。そのため、平成20年度調査より75歳以上の加入者は原則健康保険からいなくなる。

ただし、外国に住所を有する加入者は引き続き健康保険の加入者となることから、75歳以上の加入者も若干存在する。

また、船員保険の被保険者については、75歳以降の職務外の給付は後期高齢者医療から、職務上の給付は船員保険から給付されるため、75歳以上の被保険者も存在する。なお、船員保険の被扶養者については、健康保険と同様、原則75歳以上の者は船員保険からはいなくなる。

3. 調査時点

被保険者は、平成23年10月1日現在、異動者は、協会（一般）にあっては平成22年10月から平成23年9月までの間、組合健保にあっては平成23年10月中、船員保険にあっては、平成22年10月から平成23年9月までとした。

4. 調査票及び調査事項

組合健保における調査票は別に掲げる様式によった。調査事項は調査票の記載事項とした。また、協会（一般）及び法第3条第2項被保険者については、「健康保険被保険者実態調査 調査項目」に掲げる事項（「異動者」については全国健康保険協会より集計表の提出を受けた。）とし、船員保険については、「船員保険被保険者実態調査 調査項目」に掲げる事項とした。

5. 集計及び解析

集計及び解析は厚生労働省保険局において行った。

平成 2 3 年度
健康保険被保険者実態調査調査票

秘

統計法に基づく一般統計調査

健康保険組合名

適用区分	1. 強 制 2. 任 意 3. 任意継続 4. 特例退職													
事業所	都 道 府 県 番 号			業 態 番 号			事業所の被保険者数					人		
被 保 険 者	性 別	1. 男 2. 女		生 年 月		1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成			年		月	被保険者等の区分	1. 被保険者 2. 加入者 3. 脱退者	
	資格取得時期	1. 22年9月以前 2. 22年10月以降						標準報酬月額			千円	標準賞与額		千円
	介護保険	1. 該当 2. 適用除外 ()						基準収入額適用申請			1. 該当 2. 不該当			
	加入者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳												
	脱退者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳 7. 死亡 8. 後期高齢者												
被 扶 養 者		性 別	生 年 月						続 柄		扶養開始時期		介護保険	
	1	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平			年		月	1. 配偶者 3. 子	2. 直系尊属 4. その他	1. 22年9月以前 2. 22年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()	
		2	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平			年		月	1. 配偶者 3. 子	2. 直系尊属 4. その他	1. 22年9月以前 2. 22年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	3		1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平			年		月	1. 配偶者 3. 子	2. 直系尊属 4. その他	1. 22年9月以前 2. 22年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
		4	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平			年		月	1. 配偶者 3. 子	2. 直系尊属 4. その他	1. 22年9月以前 2. 22年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	5		1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平			年		月	1. 配偶者 3. 子	2. 直系尊属 4. その他	1. 22年9月以前 2. 22年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
		6	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平			年		月	1. 配偶者 3. 子	2. 直系尊属 4. その他	1. 22年9月以前 2. 22年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	7		1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平			年		月	1. 配偶者 3. 子	2. 直系尊属 4. その他	1. 22年9月以前 2. 22年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
		8	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平			年		月	1. 配偶者 3. 子	2. 直系尊属 4. その他	1. 22年9月以前 2. 22年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()

被保険者証	記号		番号	
-------	----	--	----	--

注) 1. 数字を選択する箇所については、該当数字及び文字を○で囲むこと。
2. 数字を記入する箇所については、算用数字で右詰めに記入すること。

健康保険被保険者実態調査 調査項目

以下の項目について、調査を行った。

【協会一般】

(被保険者の状況)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| ①適用区分 | ②事業所の都道府県番号 | ③事業所の業態番号 |
| ④事業所の被保険者数 | ⑤性別 | ⑥生年月 |
| ⑦被保険者等の区分 | ⑧資格取得時期 | ⑨標準報酬月額 |
| ⑩標準賞与額 | ⑪介護保険の該当有無 | ⑫基準収入額適用申請有無 |

(被扶養者の状況)

- | | | |
|---------|------------|-----|
| ①性別 | ②生年月 | ③続柄 |
| ④扶養開始時期 | ⑤介護保険の該当有無 | |

【法第3条第2項被保険者】

(被保険者の状況)

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| ①適用区分 | ②事業所の都道府県番号 | ③事業所の業態番号 |
| ④事業所の被保険者数 | ⑤性別 | ⑥生年月日 |
| ⑦被保険者等の区分 | ⑧資格取得時期 | ⑨介護保険の該当有無 |

(被扶養者の状況)

- | | | |
|---------|------------|-----|
| ①性別 | ②生年月 | ③続柄 |
| ④扶養開始時期 | ⑤介護保険の該当有無 | |

船員保険被保険者実態調査 調査項目

以下の項目について、調査を行った。

- ① 適用区分
- ② 船舶所有者の都道府県番号
- ③ 船舶所有者の業態番号
- ④ 船舶所有者の使用する船員の数
- ⑤ 被保険者等の性別
- ⑥ 被保険等の生年月
- ⑦ 被保険者等の区分
- ⑧ 被保険者等の資格取得時期
- ⑨ 被保険者等の標準報酬月額
- ⑩ 被保険者等の標準賞与額
- ⑪ 被保険者等の介護保険の該当有無
- ⑫ 被保険者等の基準収入額適用申請有無
- ⑬ 加入者が加入前に適用されていた医療保険制度
- ⑭ 脱退者が脱退後に適用される医療保険制度
- ⑮ 被扶養者の性別
- ⑯ 被扶養者の生年月
- ⑰ 続柄
- ⑱ 被扶養者の扶養開始時期
- ⑲ 被扶養者の介護保険該当の有無

なお、強制適用被保険者については、再掲として船舶種別でも調査を行っている。船舶種別の内容については以下のとおり。

- 汽船等……………船舶の種類が、漁船以外の船舶（汽船（A船）及び機帆船（B船））をいう。
- 漁船（い）…船舶の種類が旧船員保険法第34条第1項第2号イ、ロ、ハのいずれかに該当する漁船（母船式漁業に従事する漁船に作業員として乗組む場合を除く。）（C船）をいう。
つまり、直接漁業に従事しない漁船をいう。
- 漁船（ろ）…船舶の種類が旧船員保険法第34条第1項第2号イ、ロ、ハのいずれにも該当しない漁船（母船式漁業に従事する漁船に作業員として乗組む場合を含む。）（D船）をいう。
つまり、直接漁業に従事する漁船をいう。

第2章 調査結果の概要（健康保険被保険者実態調査）

本調査では、協会（一般）及び法第3条第2項被保険者については全数、組合健保については500分の1の抽出率で抽出した被保険者（協会（一般）19,713,632人、組合健保31,266人、法第3条第2項被保険者11,692人）並びに協会（一般）については全数、組合健保については50分の1の抽出率で抽出した異動した者（協会（一般）8,044,180人、組合健保8,905人）について集計を行った。

なお、平成23年9月末日現在の毎月事業状況報告書の被保険者数①と調査客体数②を比較すると、次表のとおりである。

	被保険者数①	調査客体数②	抽出倍率（①／②）
協会（一般）	19,713,632	19,713,632	1.0
組合健保	15,635,285	31,266	500.1
法第3条第2項被保険者	11,692	11,692	1.0

（注）被保険者数については速報値である。

1. 加入者の年齢構成

健康保険の加入者の年齢構成について、わが国の総人口及び75歳未満総人口をそれぞれ100%とした場合の年齢構成と比較したものが表1及び図1である。

協会（一般）及び組合健保の加入者の年齢構成を総人口及び75歳未満総人口の年齢構成と比較すると低い年齢の割合が高く、その中でも組合健保の年齢構成は協会（一般）よりもその傾向が大きくなっている。また、法第3条第2項被保険者の加入者の年齢構成は55～69歳の者の割合が高くなっている。

後期高齢者医療制度の導入に伴い、原則75歳未満の者のみ健康保険の加入者になりうることから、75歳未満総人口と比較してみると、協会（一般）及び組合健保については、20歳未満では、75歳未満総人口の20.1%に対し、協会（一般）は23.0%、組合健保は25.0%とともに高く、また、20歳以上40歳未満でも75歳未満総人口の27.8%に比べ、協会（一般）33.1%、組合健保34.8%と高くなっている。

しかし、40歳以上65歳未満では、75歳未満総人口の38.8%に対し、協会（一般）は39.2%と高いが、組合健保は37.8%と低くなっており、さらに65歳以上75歳未満では、75歳未満総人口の13.3%に対し、協会（一般）4.7%、組合健保2.4%と、ともに低くなっている。

法第3条第2項被保険者については、20歳未満が12.1%、20歳以上40歳未満が21.4%と、ともに75歳未満総人口に比べ低くなっているが、40～64歳、65～74歳はそれぞれ51.1%、14.5%と75歳未満総人口よりも高くなっている。

また、年齢階級別の構成割合をみると、協会（一般）では60歳未満、組合健保では55歳未満で75歳未満総人口を上回っているが、それ以降の年齢階級では逆に75歳未満総人口が協会（一般）及び組合健保を上回っている。

法第3条第2項被保険者の年齢構成については、40歳未満及び70歳以上では75歳未満総

人口を下回っているが、40歳以上70歳未満では逆に75歳未満総人口を上回っている。

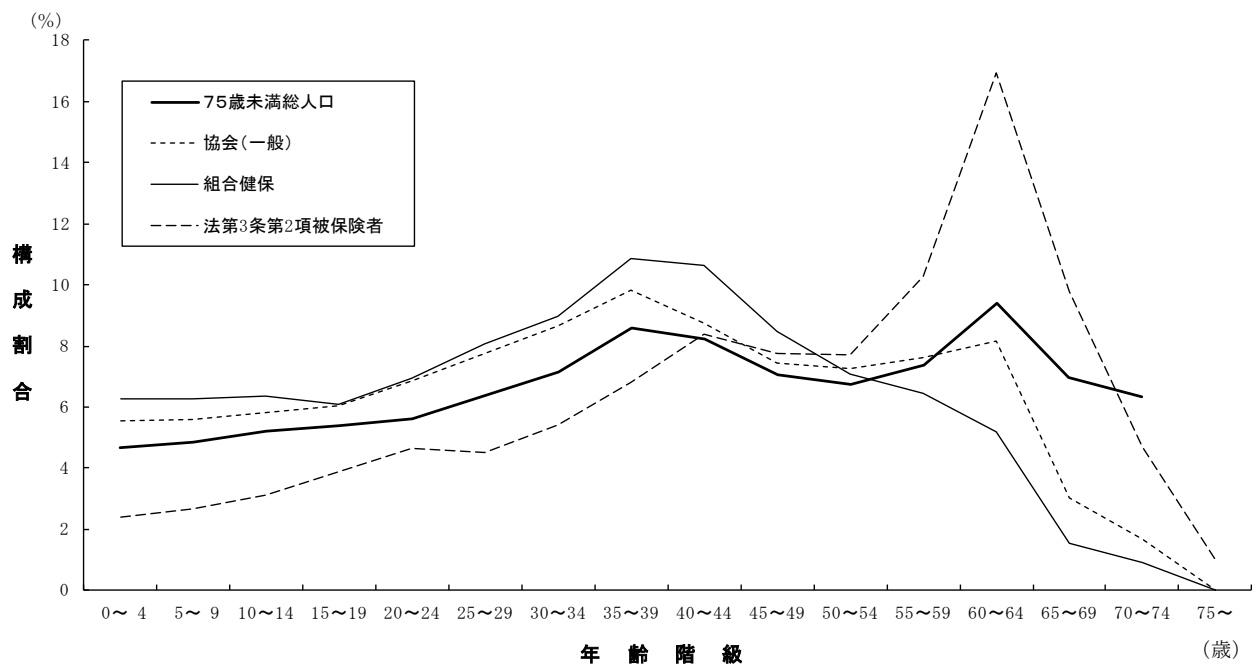
表1 総人口及び健康保険加入者の年齢構成（平成23年10月1日現在）

（単位：％）

年 齢 階 級	総人口	75歳未満 総人口	健 康 保 険		
			協会（一般）	組合健保	法第3条第2項 被保険者
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	4.2	4.7	5.6	6.3	2.4
5～9	4.3	4.9	5.6	6.3	2.7
10～14	4.6	5.2	5.8	6.4	3.1
15～19	4.8	5.4	6.0	6.1	3.9
20～24	5.0	5.6	6.9	7.0	4.6
25～29	5.7	6.4	7.8	8.1	4.5
30～34	6.3	7.2	8.6	9.0	5.4
35～39	7.6	8.6	9.8	10.9	6.8
40～44	7.3	8.2	8.8	10.6	8.4
45～49	6.2	7.0	7.4	8.5	7.8
50～54	6.0	6.8	7.3	7.1	7.7
55～59	6.5	7.4	7.6	6.4	10.3
60～64	8.3	9.4	8.1	5.2	16.9
65～69	6.2	7.0	3.0	1.5	9.8
70～74	5.6	6.4	1.7	0.9	4.7
75歳以上	11.5	・	0.0	0.0	1.0
（再 掲）					
0～19	17.8	20.1	23.0	25.0	12.1
うち未就学児	5.8	6.6	7.2	8.1	3.2
20～39	24.6	27.8	33.1	34.8	21.4
40～64	34.3	38.8	39.2	37.8	51.1
65～74	11.8	13.3	4.7	2.4	14.5
平均年齢（歳）	—	40.4	36.3	34.1	46.5

（注）「総人口」は、総務省統計局「平成23年10月1日現在推計人口」を用いている。

図1 加入者の年齢構成（平成23年10月1日現在）



2. 被保険者の年齢構成

被保険者の年齢階級別構成割合及び平均年齢について、平成12年と平成17～23年までの7年間の推移を示したものが表2である。なお、法第3条第2項被保険者については平成21年までは3年に1度の調査であったため、平成12年以降に行われた調査結果の推移を示している。

20歳未満の構成割合は、協会（一般）は緩やかな減少傾向であったものの平成22年からは横ばい、組合健保は平成21年までは緩やかな増加傾向であったものの平成22年は減少に転じその後横ばいとなっており、平成23年は、協会（一般）が0.7%、組合健保が0.6%となっている。また、法第3条第2項被保険者については、平成21年調査で、平成18年調査の0.1%から0.5%へと上昇したがその後は横ばいとなっており、平成23年は0.5%となっている。

20～39歳の年齢構成は、協会（一般）、組合健保ともにゆるやかな減少傾向となっており、平成23年では協会（一般）は42.3%、組合健保は47.1%となっている。法第3条第2項被保険者については、増加傾向となっており、平成23年では18.6%となっている。

40～64歳の年齢構成は、協会（一般）、組合健保ともに緩やかな増加傾向となっており、平成23年には、協会（一般）52.2%、組合健保49.9%となっている。法第3条第2項被保険者については減少傾向となっており、平成23年には62.4%となっている。

65～74歳の年齢構成は、協会（一般）、組合健保ともに緩やかな増加傾向であったものの平成23年度は減少に転じており、平成23年は協会（一般）4.8%、組合健保2.5%となっている。法第3条第2項被保険者については増加傾向にあったものの平成23年度は減少に転じており、平成23年には17.2%となっている。

また、平成23年の年齢構成を男女別にみると、協会（一般）の男性では35～39歳の割合が最も高く14.0%、次に40～44歳の12.2%となっており、協会（一般）の女性では25～29歳の割合が最も高く12.5%、次に35～39歳の11.8%となっている。一方、組合健保の男性では、40～44歳の割合が最も高く14.6%、次に35～39歳の14.5%となっており、また、組合健保の女性では25～29歳の割合が最も高く16.4%、次に高いのが30～34歳及び35～39歳の15.3%となっている。また、法第3条第2項被保険者の男性では、60～64歳の割合が最も高く19.7%、次に55～59歳の割合が12.5%となっており、法第3条第2項被保険者の女性では、60～64歳の割合が最も高く26.7%、次に65～69歳の割合が16.1%となっており、55～69歳で全体の6割弱を占めている。

なお、平均年齢は、協会（一般）、組合健保については長期的に上昇傾向にあり、平成23年は協会（一般）43.8歳、組合健保41.8歳となっている。また、法第3条第2項被保険者は52.9歳となっている。男女別の平均年齢は、協会（一般）の男性が44.8歳、女性が42.4歳、組合健保の男性が43.1歳、女性が38.8歳、法第3条第2項被保険者の男性が52.0歳、女性が57.8歳となっている。組合健保の方が協会（一般）よりも男女間の年齢差が大きくなっており、法第3条第2項被保険者は男性よりも女性の平均年齢の方が高くなっている。

表2 被保険者の年齢構成（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

(単位:%)

年齢階級	平成 12年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年		
								総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	1.1	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.9
20～24	9.8	8.1	8.0	7.8	7.5	7.0	6.7	6.6	5.0	9.1
25～29	14.0	12.6	12.2	11.8	11.6	11.3	11.0	10.8	9.7	12.5
30～34	10.4	13.0	13.1	12.9	12.8	12.4	12.1	11.8	11.9	11.6
35～39	9.4	10.5	11.2	11.6	12.2	12.7	13.0	13.2	14.0	11.8
40～44	9.6	10.0	9.8	10.0	10.4	10.8	11.0	11.9	12.2	11.3
45～49	11.0	10.0	9.9	10.0	10.1	10.2	10.5	10.3	9.9	11.0
50～54	12.7	10.8	10.4	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	9.6	10.7
55～59	10.3	12.1	12.7	12.2	11.7	10.9	10.3	10.0	10.0	9.8
60～64	6.3	6.9	6.6	7.4	8.4	9.1	9.7	10.1	11.4	7.9
65～69	3.1	2.7	2.8	3.0	3.2	3.5	3.5	3.4	4.0	2.3
70～74	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.6	1.0
75歳以上	0.9	1.1	1.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)										
20～39歳	43.6	44.2	44.4	44.1	44.1	43.4	42.9	42.3	40.5	45.1
40～64	50.0	49.8	49.5	49.6	50.6	51.1	51.5	52.2	53.2	50.7
65～74	4.5	4.0	4.2	4.3	4.6	4.9	4.9	4.8	5.7	3.3
平均年齢（歳）	42.8	43.2	43.3	43.5	43.3	43.6	43.8	43.8	44.8	42.4

(注1) 平成22年以前の数値は、男女総数のものである。

(注2) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

(2) 組合健保

(単位:%)

年齢階級	平成 12年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年		
								総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6
20～24	8.7	7.4	7.6	8.0	8.0	7.8	7.1	6.8	5.3	10.3
25～29	16.4	14.1	13.6	13.5	13.3	12.9	12.9	12.5	10.9	16.4
30～34	13.6	16.0	15.1	14.8	14.2	13.6	13.4	12.9	11.9	15.3
35～39	11.9	13.4	14.4	14.5	14.7	14.9	15.0	14.8	14.5	15.3
40～44	10.1	11.8	11.8	12.1	12.2	13.0	13.5	14.2	14.6	13.4
45～49	10.6	9.9	10.2	10.2	10.5	10.8	11.3	11.3	12.0	9.6
50～54	12.7	9.9	9.7	9.0	9.0	8.9	9.2	9.4	10.1	7.7
55～59	9.8	10.2	10.5	10.1	9.5	8.9	8.3	8.4	9.2	6.4
60～64	3.9	4.3	4.2	4.6	5.4	5.7	6.2	6.7	7.9	3.9
65～69	1.2	1.5	1.5	1.5	1.6	1.8	1.7	1.6	2.0	0.7
70～74	0.3	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8	0.9	0.9	1.1	0.4
75歳以上	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)										
20～39歳	50.6	50.9	50.6	50.7	50.2	49.1	48.4	47.1	42.6	57.2
40～64	47.1	46.2	46.3	46.1	46.6	47.4	48.4	49.9	53.8	41.1
65～74	1.5	2.0	2.1	2.3	2.4	2.7	2.6	2.5	3.0	1.1
平均年齢（歳）	40.2	40.9	41.1	41.1	41.1	41.3	41.5	41.8	43.1	38.8

(注1) 平成22年以前の数値は、男女総数のものである。

(注2) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位: %)

年齢階級	平成 12年	15年	18年	21年	22年	23年		
						総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.2	0.1	0.1	0.5	0.5	0.5	0.6	0.1
20～24	1.3	1.3	1.3	1.8	2.1	2.9	3.3	0.5
25～29	1.8	2.0	2.4	3.6	3.6	3.8	4.2	1.7
30～34	2.7	4.1	3.8	4.5	4.4	5.0	5.3	2.8
35～39	3.1	4.6	5.8	6.8	6.9	6.9	7.4	4.3
40～44	4.5	5.1	6.8	8.9	8.7	9.7	10.5	5.1
45～49	9.3	8.1	7.2	8.6	9.2	9.6	9.8	8.3
50～54	18.3	17.5	12.3	9.9	9.6	9.6	9.5	9.7
55～59	21.0	21.7	23.4	16.5	14.7	12.7	12.5	14.0
60～64	23.1	22.7	22.6	21.5	22.1	20.8	19.7	26.7
65～69	10.8	8.2	9.0	12.0	12.4	11.9	11.2	16.1
70～74	2.7	3.1	4.0	4.9	4.9	5.3	4.7	8.7
75歳以上	1.1	1.4	1.0	0.4	0.8	1.2	1.0	2.0
(再 掲)								
20～39歳	9.0	12.0	13.3	16.6	17.0	18.6	20.3	9.3
40～64	76.3	75.1	72.4	65.5	64.3	62.4	62.2	63.8
65～74	13.5	11.3	13.1	17.0	17.4	17.2	15.9	24.8
平均年齢 (歳)	55.0	54.2	54.7	53.5	53.5	52.9	52.0	57.8

(注1) 平成22年以前の数値は、男女総数のものである。

(注2) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

3. 被扶養者の年齢構成

被扶養者の年齢構成について、平成12年と平成17～23年までの7年間の推移を示したものが表3である。なお、法第3条第2項被保険者については平成21年までは3年に1度の調査であったため、平成12年以降に行われた調査結果の推移を示している。

被扶養者の19歳以下の割合は、協会（一般）については概ね横ばい、組合健保については増加傾向であったものの平成23年は減少に転じており、協会（一般）52.0%、組合健保52.4%となっている。また、法第3条第2項被保険者では35.0%となっている。20～39歳の割合は、平成23年では、協会（一般）21.1%、組合健保21.1%であり、協会（一般）、組合健保ともに概ね減少傾向となっている。また、法第3条第2項被保険者については26.8%となっており減少傾向となっている。

40～64歳の割合は、協会（一般）、組合健保については概ね横ばいとなっており、平成23年では協会（一般）22.3%、組合健保24.1%となっている。また、法第3条第2項被保険者については、28.5%となっている。

65～74歳の割合は、平成23年では協会（一般）は4.6%、組合健保は2.4%で概ね横ばいとなっている。また、法第3条第2項被保険者は9.0%となっている。

表3 被扶養者の年齢構成（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

(単位: %)

年齢階級	平成 12年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	11.4	11.7	11.8	11.8	12.8	12.6	12.7	12.8
5～9	11.3	11.8	12.0	12.2	13.1	13.1	13.0	12.9
10～14	12.1	11.9	12.1	12.2	13.3	13.3	13.3	13.4
15～19	12.6	12.0	11.9	11.8	12.7	12.7	12.8	12.9
20～24	7.2	7.1	6.8	6.7	6.9	7.0	7.1	7.2
25～29	4.8	4.1	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9
30～34	4.7	5.1	5.1	4.9	5.1	4.9	4.7	4.6
35～39	4.3	4.5	4.8	4.9	5.4	5.5	5.5	5.5
40～44	3.7	3.9	3.8	3.8	4.2	4.4	4.4	4.7
45～49	3.9	3.5	3.5	3.4	3.7	3.7	3.8	3.7
50～54	4.7	4.2	4.0	3.8	3.9	3.9	3.8	3.7
55～59	4.1	5.1	5.5	5.4	5.6	5.2	4.9	4.6
60～64	3.3	3.6	3.5	3.7	4.5	4.9	5.3	5.6
65～69	2.9	2.5	2.5	2.5	2.7	2.8	2.7	2.6
70～74	2.7	2.4	2.4	2.4	2.2	2.1	2.0	2.0
75歳以上	6.5	6.5	6.6	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)								
0～19歳	47.3	47.4	47.7	48.0	51.9	51.7	51.9	52.0
うち未就学児	16.7	16.5	16.5	16.6
20～39	20.9	20.9	20.6	20.3	21.3	21.3	21.2	21.1
40～64	19.7	20.3	20.2	20.2	21.9	22.0	22.2	22.3
65～74	5.6	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.6

(注) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

(2) 組合健保

(単位: %)

年齢階級	平成 12年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	11.7	12.6	12.3	12.3	13.2	12.8	13.1	13.3
5～9	11.7	12.7	13.3	13.0	13.7	13.9	13.4	13.3
10～14	12.0	12.2	12.5	12.5	12.9	13.2	13.5	13.5
15～19	12.8	12.1	12.0	12.2	12.3	12.1	12.6	12.3
20～24	7.5	6.9	6.8	6.5	6.6	6.8	6.8	7.1
25～29	4.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0	2.9	3.0
30～34	5.6	6.0	5.3	5.5	5.3	4.8	4.8	4.5
35～39	5.8	6.1	6.6	6.4	6.7	6.9	6.6	6.5
40～44	5.2	5.7	5.7	5.7	6.0	6.1	6.1	6.6
45～49	5.2	4.8	4.6	4.9	5.0	5.3	5.4	5.3
50～54	6.2	5.1	4.9	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5
55～59	3.8	4.8	5.0	5.0	5.0	4.8	4.3	4.3
60～64	1.9	2.2	2.1	2.3	2.8	3.0	3.2	3.5
65～69	1.4	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.5	1.5
70～74	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.0	1.1	1.0
75歳以上	3.7	3.3	3.3	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)								
0～19歳	48.3	49.6	50.1	50.0	52.1	51.9	52.5	52.4
うち未就学児	17.3	17.0	17.0	17.2
20～39	23.1	22.1	21.8	21.5	21.7	21.5	21.1	21.1
40～64	22.3	22.6	22.3	22.6	23.6	24.0	23.7	24.1
65～74	2.6	2.4	2.5	2.7	2.6	2.6	2.6	2.4

(注) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位: %)

年齢階級	平成 12年	15年	18年	21年	22年	23年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	4.8	5.3	5.4	6.1	6.4	7.2
5～9	5.1	6.4	6.6	7.8	7.9	8.0
10～14	7.8	7.1	7.1	9.2	9.3	9.3
15～19	9.4	8.7	8.1	9.1	9.9	10.6
20～24	8.3	7.8	7.6	7.8	7.5	8.1
25～29	8.5	7.3	7.2	6.6	6.6	5.9
30～34	5.5	7.1	8.8	6.6	6.5	6.3
35～39	4.1	4.4	6.1	6.9	6.9	6.5
40～44	3.1	3.8	3.6	4.5	4.8	5.7
45～49	4.3	3.0	3.0	4.3	4.2	4.1
50～54	6.8	6.4	4.2	4.4	4.3	4.1
55～59	6.7	7.4	8.4	6.7	6.2	5.4
60～64	8.3	7.3	7.9	9.2	9.5	9.3
65～69	6.0	5.3	5.2	6.9	6.2	5.5
70～74	3.8	3.9	3.6	3.5	3.3	3.5
75歳以上	7.4	8.9	7.2	0.4	0.6	0.6
(再 掲)						
0～19歳	27.1	27.5	27.2	32.3	33.4	35.0
うち未就学児	8.3	8.7	9.4
20～39	26.4	26.5	29.8	27.9	27.6	26.8
40～64	29.2	27.8	27.0	29.1	28.9	28.5
65～74	9.8	9.2	8.8	10.4	9.6	9.0

(注) 平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。

次に、平成23年における被扶養者の続柄別の年齢構成を示したものが表4である。

被扶養者全体に占める子の割合は、協会（一般）61.2%、組合健保60.5%、法第3条第2項被保険者52.4%となっている。また、協会（一般）及び組合健保の子の大半は20歳未満となっており、20歳以上の子の割合は、協会（一般）9.6%、組合健保8.3%となっている。配偶者の割合は協会（一般）が33.8%、組合健保が37.3%、法第3条第2項被保険者が43.5%であり、協会（一般）は35～39歳、組合健保は40～44歳、法第3条第2項被保険者では60～64歳の階級が最も多くなっている。直系尊属は協会（一般）4.0%、組合健保1.9%、法第3条第2項被保険者2.3%であり、いずれも60歳以上が大半を占めており、年齢の上昇とともに割合も増加している。

また、その他の被扶養者（兄弟姉妹等）は、協会（一般）は1.0%、組合健保は0.4%、法第3条第2項被保険者は1.8%であり、いずれの制度も各年齢階級に分布している。

表4 被扶養者の続柄別年齢構成（平成23年10月1日現在）

（1）協会（一般）

（単位：%）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	61.2	33.8	4.0	1.0
0～4歳	12.8	12.7	0.0	0.0	0.1
5～9	12.9	12.8	0.0	0.0	0.1
10～14	13.4	13.3	0.0	0.0	0.1
15～19	12.9	12.8	0.0	0.0	0.1
20～24	7.2	6.6	0.5	0.0	0.1
25～29	3.9	1.8	2.1	0.0	0.0
30～34	4.6	0.8	3.8	0.0	0.0
35～39	5.5	0.3	5.1	0.0	0.0
40～44	4.7	0.1	4.6	0.0	0.0
45～49	3.7	0.0	3.6	0.0	0.0
50～54	3.7	0.0	3.5	0.1	0.0
55～59	4.6	0.0	4.2	0.3	0.1
60～64	5.6	0.0	4.6	1.0	0.1
65～69	2.6	0.0	1.4	1.1	0.1
70～74	2.0	0.0	0.4	1.5	0.1
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
（再掲）未就学児	16.6	16.4	0.0	0.0	0.1

(2) 組合健保

(単位: %)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	60.5	37.3	1.9	0.4
0～4歳	13.3	13.3	0.0	0.0	0.0
5～9	13.3	13.3	0.0	0.0	0.0
10～14	13.5	13.5	0.0	0.0	0.0
15～19	12.3	12.2	0.0	0.0	0.1
20～24	7.1	6.7	0.4	0.0	0.1
25～29	3.0	1.1	1.9	0.0	0.0
30～34	4.5	0.4	4.1	0.0	0.0
35～39	6.5	0.1	6.4	0.0	0.0
40～44	6.6	0.0	6.6	0.0	0.0
45～49	5.3	0.0	5.2	0.0	0.0
50～54	4.5	0.0	4.4	0.0	0.0
55～59	4.3	0.0	4.1	0.1	0.0
60～64	3.5	0.0	3.0	0.4	0.0
65～69	1.5	0.0	0.9	0.6	0.0
70～74	1.0	0.0	0.3	0.7	0.0
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再掲) 未就学児	17.2	17.2	0.0	0.0	0.0

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位: %)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	52.4	43.5	2.3	1.8
0～4歳	7.2	6.8	0.0	0.0	0.3
5～9	8.0	7.9	0.0	0.0	0.2
10～14	9.3	9.1	0.0	0.0	0.1
15～19	10.6	10.4	0.1	0.0	0.1
20～24	8.1	7.0	1.0	0.0	0.1
25～29	5.9	4.3	1.5	0.0	0.1
30～34	6.3	3.4	2.8	0.0	0.1
35～39	6.5	2.3	4.2	0.0	0.0
40～44	5.7	0.7	4.9	0.0	0.1
45～49	4.1	0.2	3.8	0.0	0.0
50～54	4.1	0.1	3.8	0.1	0.1
55～59	5.4	0.1	5.1	0.1	0.1
60～64	9.3	0.0	8.8	0.3	0.2
65～69	5.5	0.0	4.9	0.6	0.1
70～74	3.5	0.0	2.4	1.0	0.1
75歳以上	0.6	0.0	0.3	0.3	0.0
(再掲) 未就学児	9.4	9.0	0.0	0.0	0.4

4. 年齢階級別扶養率

被保険者の年齢階級別にみた被保険者1人当たり被扶養者数（扶養率）の平成12年と平成17～23年までの7年間の推移を示したものが表5であり、平成23年の総数をグラフにしたのが図2である。なお、法第3条第2項被保険者については平成21年までは3年に1度の調査であったため、平成12年以降に行われた調査結果の推移を示している。

年齢計でみた扶養率は長期的に減少傾向にあり、平成23年の協会（一般）については0.769となっている。組合健保については、平成22年において一転前年より上昇しているものの長期的には減少傾向にあり、平成23年は0.890となっている。また、法第3条第2項被保険者は0.502となっている。

年齢階級別に扶養率の最近7年間の動きを見ると、ピークとなる年齢階級は協会（一般）は40～44歳、組合健保は45～49歳で毎年同じである。法第3条第2項被保険者は40～44歳となっている。

平成23年の年齢階級別扶養率を男女別にみると、男性については年齢の上昇とともに概ね増加し、協会（一般）、組合健保ともに45～49歳で、法第3条第2項被保険者は35～39歳でピークとなる。また、ピーク時の扶養率は協会（一般）1.651、組合健保1.822、法第3条第2項被保険者0.740である。それ以降は年齢の上昇とともに減少に転じており、平均扶養率は協会（一般）1.117、組合健保1.224、法第3条第2項被保険者0.541となっている。女性の扶養率は、法第3条第2項被保険者の一部の階級を除き全年齢階級で男性より低く、平均扶養率は、協会（一般）0.213、組合健保0.136、法第3条第2項被保険者0.277となっている。また、協会（一般）、組合健保、法第3条第2項被保険者いずれも40～44歳がピークとなり、その扶養率は協会（一般）0.436、組合健保0.259、法第3条第2項被保険者0.739である。

表5 被保険者の年齢階級別扶養率（各年10月1日現在）

（1）協会（一般）

年齢階級	平成 12年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年		
								総数	男性	女性
総 数	0.888	0.855	0.839	0.821	0.763	0.772	0.770	0.769	1.117	0.213
15～19歳	0.028	0.026	0.025	0.025	0.029	0.029	0.027	0.026	0.040	0.011
20～24	0.106	0.110	0.107	0.107	0.106	0.105	0.103	0.098	0.183	0.024
25～29	0.365	0.350	0.345	0.341	0.333	0.333	0.331	0.330	0.533	0.080
30～34	0.907	0.796	0.786	0.764	0.749	0.746	0.736	0.728	1.053	0.196
35～39	1.388	1.204	1.173	1.136	1.101	1.095	1.078	1.067	1.448	0.350
40～44	1.587	1.406	1.360	1.312	1.250	1.241	1.215	1.197	1.639	0.436
45～49	1.437	1.374	1.336	1.289	1.170	1.165	1.147	1.122	1.651	0.361
50～54	1.091	1.097	1.075	1.056	0.904	0.913	0.906	0.899	1.368	0.229
55～59	0.752	0.809	0.786	0.771	0.626	0.643	0.651	0.661	0.982	0.141
60～64	0.675	0.709	0.704	0.694	0.587	0.594	0.595	0.598	0.816	0.101
65～69	0.639	0.642	0.639	0.632	0.567	0.576	0.581	0.583	0.766	0.068
70～74	0.545	0.542	0.540	0.537	0.484	0.488	0.491	0.493	0.671	0.043
75歳以上	0.408	0.388	0.391	0.382	0.223	0.314	0.331	0.294	0.455	0.026

（注）平成22年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

(2) 組合健保

年齢階級	平成 12年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年		
								総数	男性	女性
総 数	1.079	0.992	0.970	0.934	0.893	0.879	0.891	0.890	1.224	0.136
15～19歳	0.009	0.020	0.012	0.008	0.022	0.038	0.026	0.022	0.025	0.018
20～24	0.060	0.066	0.060	0.049	0.075	0.054	0.071	0.075	0.128	0.014
25～29	0.275	0.253	0.242	0.256	0.257	0.237	0.246	0.262	0.414	0.033
30～34	0.862	0.742	0.707	0.688	0.680	0.674	0.677	0.673	0.996	0.109
35～39	1.564	1.226	1.217	1.142	1.113	1.088	1.063	1.070	1.476	0.201
40～44	1.880	1.589	1.540	1.452	1.425	1.380	1.327	1.288	1.708	0.259
45～49	1.857	1.730	1.688	1.594	1.513	1.440	1.445	1.412	1.822	0.252
50～54	1.483	1.452	1.427	1.424	1.259	1.268	1.303	1.258	1.622	0.179
55～59	1.048	1.070	1.017	1.015	0.917	0.893	0.922	0.926	1.180	0.093
60～64	0.890	0.890	0.846	0.863	0.775	0.753	0.767	0.763	0.919	0.061
65～69	0.833	0.853	0.815	0.809	0.770	0.766	0.742	0.762	0.882	0.042
70～74	0.675	0.722	0.788	0.759	0.708	0.738	0.754	0.722	0.835	0.000
75歳以上	0.500	0.333	0.444	0.412	-	-	-	-	-	-

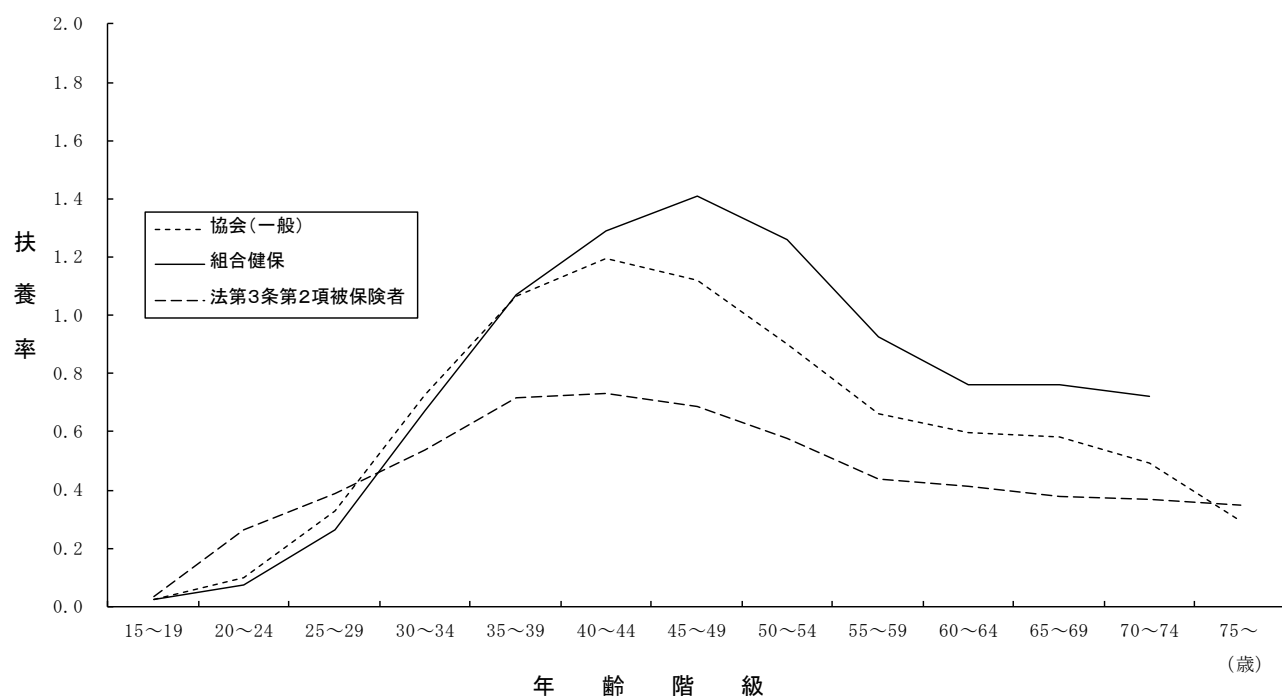
(注) 平成22年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

(3) 法第3条第2項被保険者

年齢階級	平成 12年	15年	18年	21年	22年	23年		
						総数	男性	女性
総 数	0.496	0.515	0.659	0.525	0.516	0.502	0.541	0.277
15～19歳	0.000	0.000	0.000	0.019	0.068	0.032	0.033	0.000
20～24	0.119	0.451	0.405	0.185	0.191	0.263	0.270	0.000
25～29	0.417	0.400	0.388	0.424	0.407	0.388	0.408	0.103
30～34	0.949	0.576	1.009	0.547	0.530	0.536	0.553	0.354
35～39	0.985	0.925	1.103	0.766	0.749	0.719	0.740	0.514
40～44	0.925	0.908	0.959	0.758	0.732	0.731	0.730	0.739
45～49	0.680	0.679	0.799	0.749	0.714	0.687	0.718	0.472
50～54	0.553	0.534	0.771	0.564	0.596	0.578	0.620	0.337
55～59	0.381	0.421	0.575	0.459	0.463	0.439	0.477	0.241
60～64	0.369	0.377	0.498	0.433	0.431	0.415	0.459	0.227
65～69	0.400	0.505	0.510	0.406	0.396	0.376	0.432	0.148
70～74	0.445	0.512	0.600	0.450	0.393	0.366	0.440	0.133
75歳以上	0.329	0.379	0.581	0.396	0.421	0.348	0.398	0.200

(注) 平成22年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

図2 被保険者の年齢階級別扶養率（平成23年10月1日現在）



次に、平成23年における被保険者の年齢階級別扶養率を続柄別に示したものが表6である。

年齢階級総数における続柄別の扶養率をみると、子は協会（一般）0.471、組合健保0.538、法第3条第2項被保険者は0.263、配偶者は協会（一般）0.260、組合健保0.332、法第3条第2項被保険者は0.219、直系尊属は協会（一般）0.031、組合健保0.017、法第3条第2項被保険者は0.012、その他は協会（一般）0.008、組合健保0.003、法第3条第2項被保険者は0.009と、概ね組合健保が一番高く、法第3条第2項被保険者が一番低くなっているが、直系尊属の扶養率は協会（一般）が一番高くなっている。

被保険者の年齢階級別にみた子の扶養率は山型をなしており、ピークは協会（一般）は40～44歳の0.837、組合健保は45～49歳の0.961、法第3条第2項被保険者は40～44歳の0.465である。配偶者の扶養率は、協会（一般）及び組合健保については65～69歳、法第3条第2項被保険者については、70～74歳が最も高くなっており、協会（一般）は0.481、組合健保は0.671、法第3条第2項被保険者が0.289となっている。直系尊属の扶養率は年齢階級別にみると山型をなしており、協会（一般）、組合健保ともに40～44歳、法第3条第2項被保険者は35～39歳がピークであり、協会（一般）が0.070、組合健保が0.032、法第3条第2項被保険者が0.037となっている。

表6 被保険者の年齢階級別、続柄別扶養率（平成23年10月1日現在）

（1）協会（一般）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.769	0.471	0.260	0.031	0.008
15～19歳	0.026	0.008	0.008	0.007	0.004
20～24	0.098	0.048	0.034	0.011	0.004
25～29	0.330	0.198	0.108	0.021	0.004
30～34	0.728	0.476	0.209	0.038	0.005
35～39	1.067	0.729	0.274	0.057	0.006
40～44	1.197	0.837	0.282	0.070	0.008
45～49	1.122	0.794	0.264	0.055	0.009
50～54	0.899	0.602	0.271	0.017	0.010
55～59	0.661	0.330	0.320	0.001	0.010
60～64	0.598	0.158	0.430	0.000	0.010
65～69	0.583	0.092	0.481	0.000	0.010
70～74	0.493	0.063	0.420	0.000	0.010
75歳以上	0.294	0.049	0.233	0.000	0.012

(2) 組合健保

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.890	0.538	0.332	0.017	0.003
15～19歳	0.022	0.006	0.011	0.006	0.000
20～24	0.075	0.036	0.030	0.006	0.003
25～29	0.262	0.147	0.103	0.008	0.003
30～34	0.673	0.421	0.231	0.019	0.002
35～39	1.070	0.714	0.324	0.029	0.003
40～44	1.288	0.871	0.382	0.032	0.002
45～49	1.412	0.961	0.416	0.029	0.005
50～54	1.258	0.806	0.442	0.007	0.004
55～59	0.926	0.431	0.490	0.000	0.004
60～64	0.763	0.175	0.585	0.000	0.003
65～69	0.762	0.085	0.671	0.000	0.006
70～74	0.722	0.051	0.667	0.000	0.004
75歳以上	－	－	－	－	－

(3) 法第3条第2項被保険者

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.502	0.263	0.219	0.012	0.009
15～19歳	0.032	0.016	0.016	0.000	0.000
20～24	0.263	0.129	0.126	0.003	0.006
25～29	0.388	0.238	0.137	0.011	0.002
30～34	0.536	0.331	0.179	0.017	0.009
35～39	0.719	0.462	0.217	0.037	0.004
40～44	0.731	0.465	0.231	0.032	0.004
45～49	0.687	0.453	0.194	0.031	0.009
50～54	0.578	0.358	0.200	0.012	0.009
55～59	0.439	0.224	0.195	0.002	0.017
60～64	0.415	0.166	0.242	0.000	0.007
65～69	0.376	0.090	0.270	0.002	0.014
70～74	0.366	0.071	0.289	0.000	0.006
75歳以上	0.348	0.094	0.246	0.000	0.007

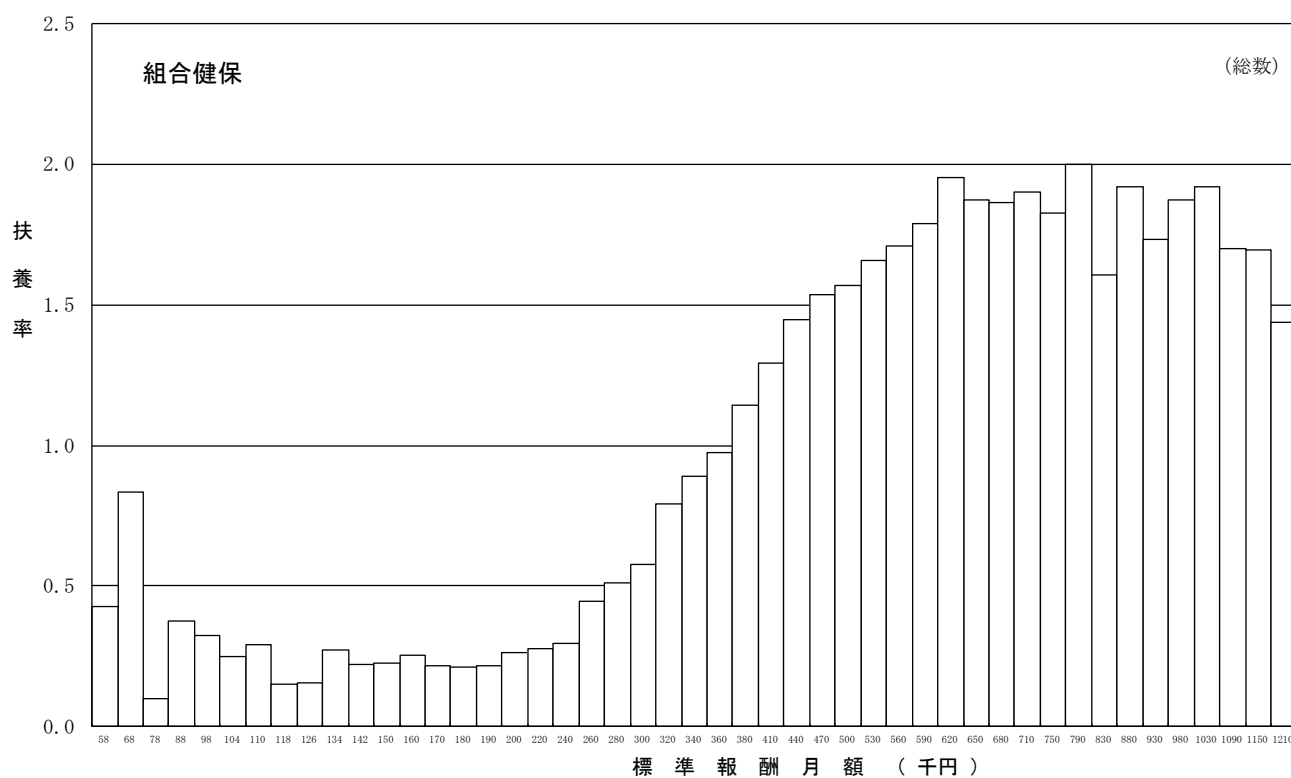
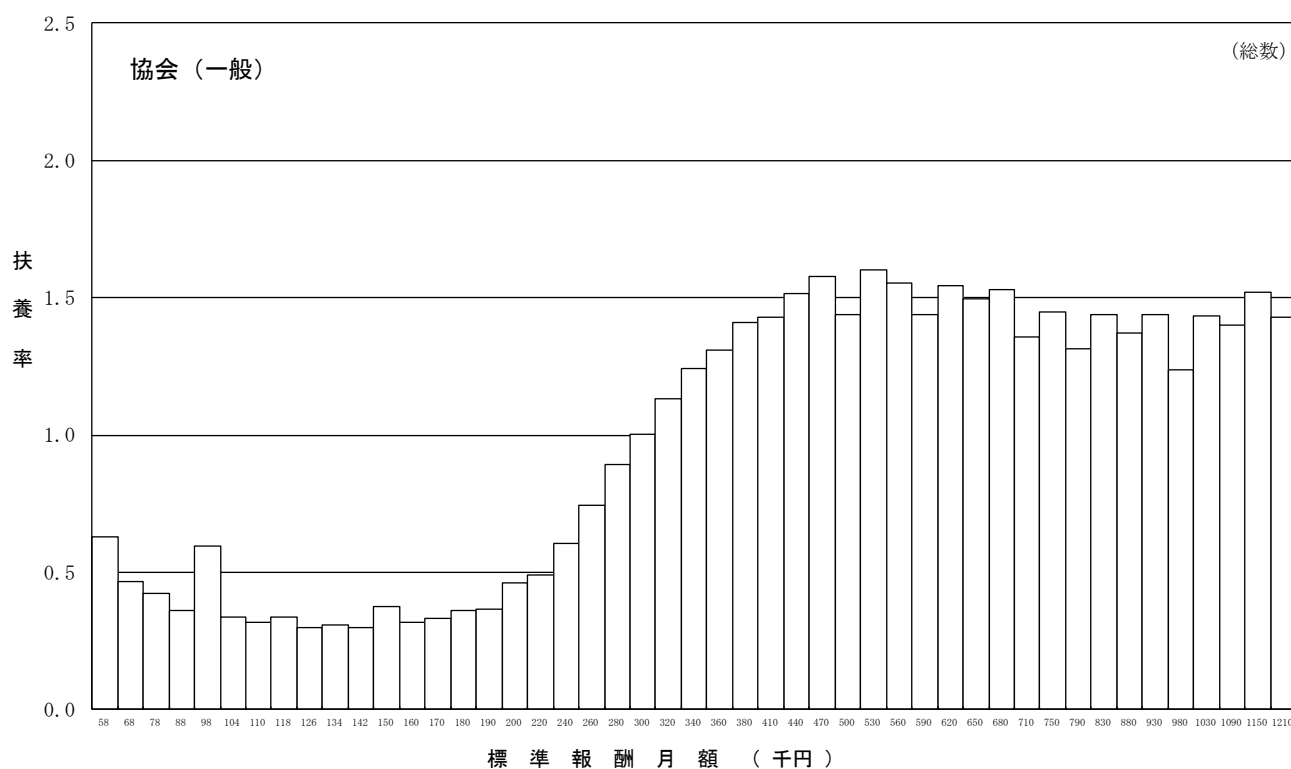
5. 標準報酬月額別扶養率

標準報酬月額別にみた扶養率を示したものが表7及び図3である。男性についてみると、協会（一般）、組合健保ともに、概ね標準報酬月額が20万円程度から62万円程度の間で、標準報酬月額の上昇とともに扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは、協会（一般）で標準報酬月額53万円の1.747、組合健保で標準報酬月額79万円の2.171となっている。

表7 標準報酬月額別扶養率（平成23年10月1日現在）

標準報酬月額	協会（一般）			組合健保		
	総 数	男性	女性	総 数	男性	女性
総 数	0.769	1.117	0.213	0.890	1.224	0.136
58,000 円	0.627	0.917	0.157	0.429	0.600	0.000
68,000	0.468	0.718	0.175	0.833	1.250	0.000
78,000	0.422	0.733	0.171	0.100	1.000	0.000
88,000	0.360	0.628	0.196	0.375	1.000	0.286
98,000	0.594	0.927	0.186	0.326	1.111	0.118
104,000	0.336	0.599	0.227	0.250	0.667	0.111
110,000	0.316	0.592	0.210	0.291	0.500	0.241
118,000	0.336	0.633	0.211	0.151	0.316	0.104
126,000	0.296	0.540	0.210	0.155	0.267	0.125
134,000	0.306	0.559	0.205	0.271	0.536	0.210
142,000	0.297	0.534	0.201	0.221	0.388	0.170
150,000	0.373	0.678	0.193	0.226	0.508	0.126
160,000	0.319	0.554	0.196	0.255	0.461	0.173
170,000	0.331	0.560	0.193	0.217	0.438	0.098
180,000	0.362	0.593	0.192	0.211	0.389	0.122
190,000	0.367	0.589	0.194	0.217	0.356	0.129
200,000	0.461	0.713	0.192	0.263	0.454	0.129
220,000	0.491	0.721	0.202	0.277	0.467	0.097
240,000	0.606	0.838	0.216	0.294	0.480	0.099
260,000	0.745	0.977	0.226	0.447	0.646	0.120
280,000	0.894	1.115	0.243	0.510	0.701	0.140
300,000	1.001	1.241	0.243	0.578	0.783	0.112
320,000	1.132	1.351	0.276	0.791	1.017	0.130
340,000	1.242	1.457	0.291	0.889	1.098	0.151
360,000	1.308	1.522	0.288	0.974	1.182	0.121
380,000	1.409	1.610	0.312	1.142	1.346	0.158
410,000	1.428	1.639	0.286	1.294	1.454	0.254
440,000	1.517	1.702	0.312	1.448	1.600	0.191
470,000	1.575	1.740	0.336	1.534	1.671	0.186
500,000	1.441	1.661	0.243	1.571	1.683	0.337
530,000	1.601	1.747	0.316	1.655	1.798	0.108
560,000	1.553	1.714	0.264	1.710	1.849	0.167
590,000	1.439	1.644	0.216	1.789	1.894	0.184
620,000	1.544	1.690	0.263	1.952	2.020	0.250
650,000	1.495	1.662	0.228	1.873	1.939	0.632
680,000	1.529	1.673	0.239	1.864	1.979	0.158
710,000	1.358	1.568	0.202	1.901	1.985	0.231
750,000	1.446	1.617	0.225	1.824	1.902	0.000
790,000	1.312	1.532	0.185	2.000	2.171	0.188
830,000	1.440	1.596	0.235	1.604	1.726	0.231
880,000	1.370	1.552	0.199	1.918	2.008	0.500
930,000	1.438	1.592	0.233	1.733	1.845	0.167
980,000	1.235	1.461	0.205	1.874	1.940	0.000
1,030,000	1.435	1.585	0.268	1.918	2.059	0.000
1,090,000	1.398	1.568	0.228	1.700	1.925	0.000
1,150,000	1.522	1.670	0.316	1.694	1.848	0.000
1,210,000	1.429	1.587	0.255	1.438	1.541	0.125

図3 標準報酬月額別扶養率（平成23年10月1日現在）



6. 総報酬額階級別扶養率

被保険者の標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額を加算したものを総報酬額とし、その総報酬額階級別に扶養率を示したものが表8である。男性についてみると、協会（一般）、組合健保ともに、概ね総報酬が200万円程度から700万円程度の間で、総報酬額の上昇に伴い扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは協会（一般）が1,700万円以上1,750万円未満の2.050、組合健保が1,600万円以上1,650万円未満の2.154となっている。また、800万円未満の階級においては、扶養率は協会（一般）の方が組合健保よりも概ね高くなっている。

表8 総報酬額階級別扶養率（平成23年10月1日現在）

総報酬額階級	協会（一般）			組合健保		
	総 数	男性	女性	総 数	男性	女性
総 数	0.770	1.124	0.206	0.890	1.224	0.136
～ 999,000 円	0.517	0.848	0.104	0.375	0.857	0.000
1,000,000 ～ 1,499,000	0.425	0.778	0.193	0.226	0.471	0.157
1,500,000 ～ 1,999,000	0.328	0.599	0.188	0.232	0.438	0.164
2,000,000 ～ 2,499,000	0.406	0.658	0.191	0.232	0.421	0.130
2,500,000 ～ 2,999,000	0.492	0.745	0.195	0.300	0.516	0.107
3,000,000 ～ 3,499,000	0.664	0.925	0.199	0.405	0.614	0.124
3,500,000 ～ 3,999,000	0.821	1.083	0.221	0.434	0.647	0.098
4,000,000 ～ 4,499,000	1.011	1.273	0.239	0.589	0.806	0.112
4,500,000 ～ 4,999,000	1.184	1.443	0.260	0.763	0.974	0.129
5,000,000 ～ 5,499,000	1.309	1.570	0.277	0.984	1.205	0.158
5,500,000 ～ 5,999,000	1.418	1.664	0.323	1.117	1.331	0.175
6,000,000 ～ 6,499,000	1.429	1.671	0.279	1.309	1.494	0.210
6,500,000 ～ 6,999,000	1.536	1.748	0.334	1.383	1.527	0.196
7,000,000 ～ 7,499,000	1.491	1.714	0.186	1.521	1.687	0.094
7,500,000 ～ 7,999,000	1.583	1.765	0.319	1.606	1.746	0.239
8,000,000 ～ 8,499,000	1.620	1.783	0.308	1.689	1.806	0.328
8,500,000 ～ 8,999,000	1.498	1.689	0.240	1.664	1.791	0.236
9,000,000 ～ 9,499,000	1.455	1.647	0.215	1.742	1.853	0.293
9,500,000 ～ 9,999,000	1.561	1.710	0.257	1.867	1.960	0.080
10,000,000 ～ 10,499,000	1.633	1.774	0.261	1.864	1.940	0.444
10,500,000 ～ 10,999,000	1.452	1.627	0.202	2.003	2.108	0.250
11,000,000 ～ 11,499,000	1.503	1.653	0.232	1.889	1.979	0.313
11,500,000 ～ 11,999,000	1.273	1.496	0.203	1.902	2.005	0.091
12,000,000 ～ 12,499,000	1.454	1.601	0.263	1.901	1.969	0.250
12,500,000 ～ 12,999,000	1.531	1.682	0.244	2.017	2.053	0.000
13,000,000 ～ 13,499,000	1.392	1.557	0.243	1.985	2.110	0.000
13,500,000 ～ 13,999,000	1.457	1.612	0.290	1.990	2.032	0.667
14,000,000 ～ 14,499,000	1.563	1.692	0.300	2.000	2.123	0.000
14,500,000 ～ 14,999,000	1.396	1.564	0.248	1.607	1.729	0.100
15,000,000 ～ 15,499,000	1.635	1.782	0.289	1.771	1.848	0.000
15,500,000 ～ 15,999,000	1.600	1.730	0.331	1.714	1.867	0.000
16,000,000 ～ 16,499,000	1.694	1.834	0.280	2.074	2.154	0.000
16,500,000 ～ 16,999,000	1.725	1.857	0.287	1.585	1.667	0.000
17,000,000 ～ 17,499,000	1.933	2.050	0.350	1.800	1.800	0.000
17,500,000 ～ 17,999,000	1.700	1.823	0.291	1.958	1.958	0.000
18,000,000 ～ 18,499,000	1.764	1.881	0.285	1.800	1.800	0.000
18,500,000 ～ 18,999,000	1.628	1.740	0.275	1.600	1.778	0.000
19,000,000 ～ 19,499,000	1.700	1.814	0.255	1.889	1.889	0.000
19,500,000 ～ 19,999,000	1.498	1.577	0.289	1.441	1.500	0.500
20,000,000 ～	1.637	1.740	0.321	1.000	1.000	0.000

7. 年齢階級別平均標準報酬月額

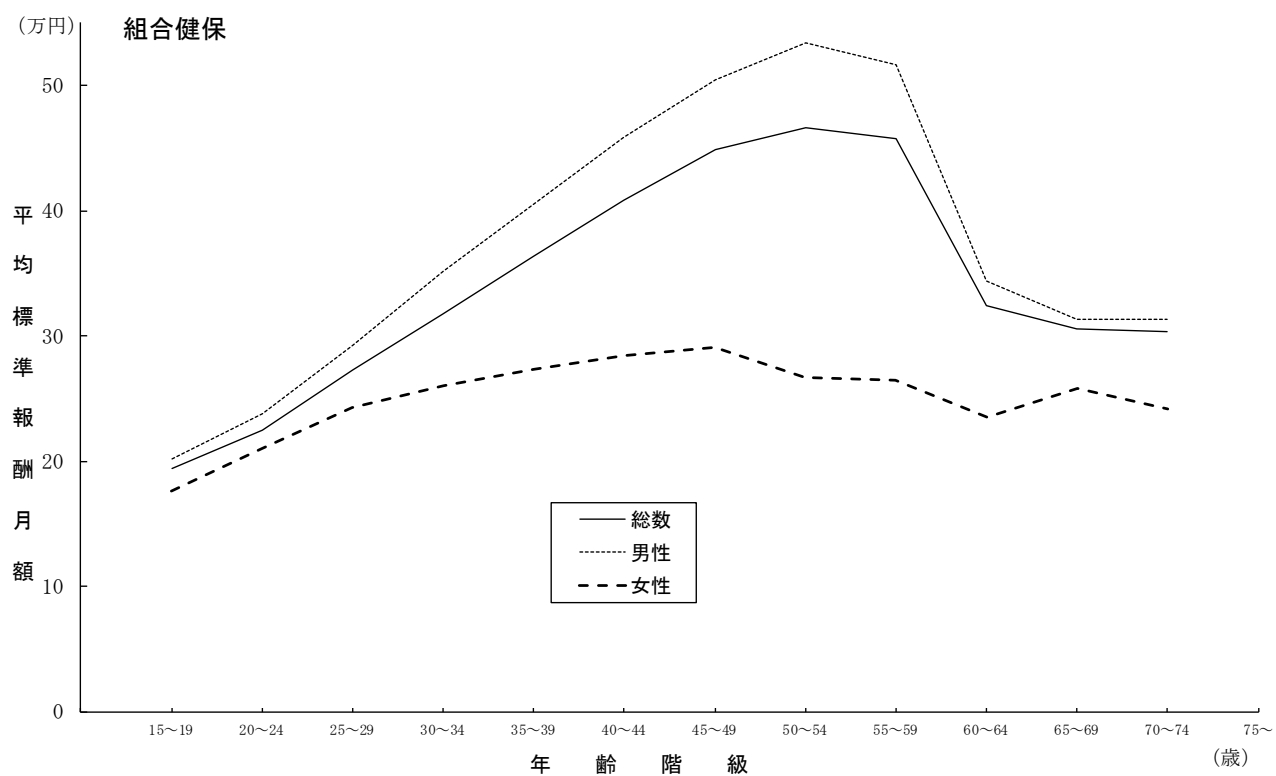
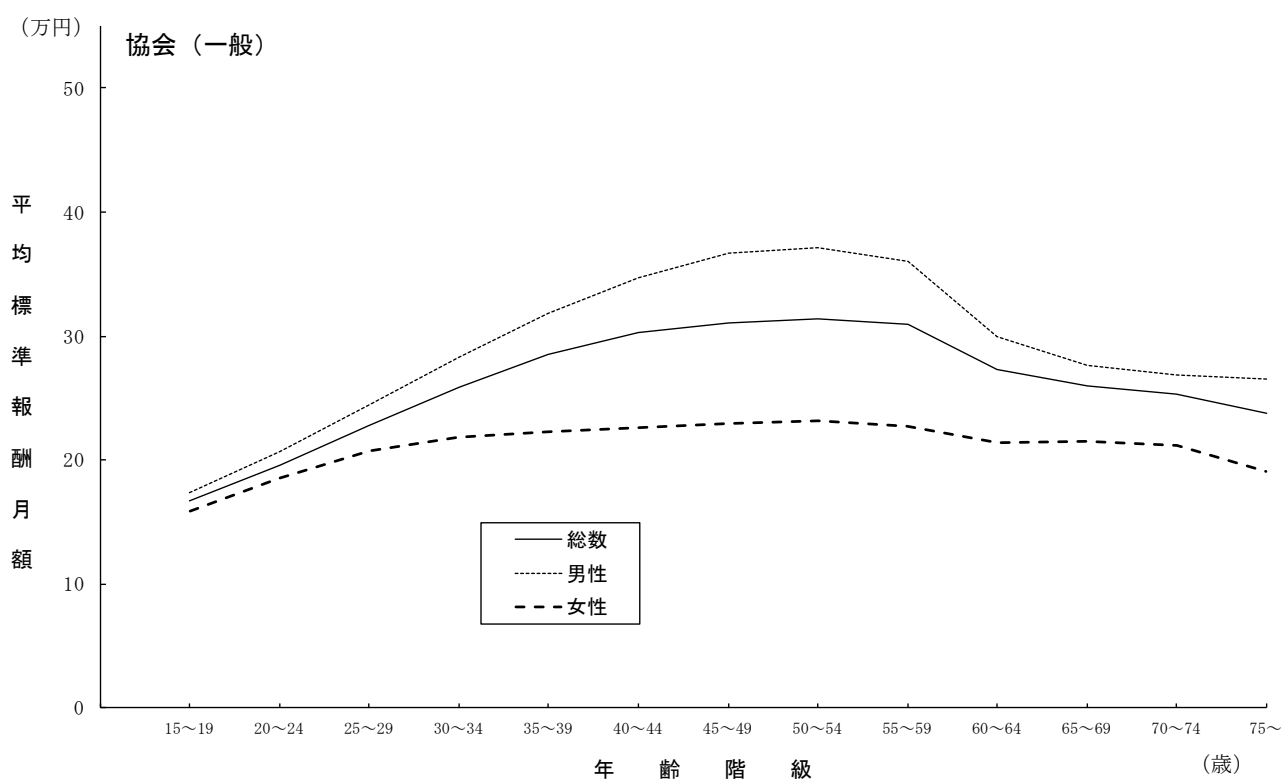
被保険者の年齢階級別にみた平均標準報酬月額を示したものが表9－1及び図4である。男性は年齢階級別にみると山型をなしており、ピークは協会（一般）、組合健保ともに50～54歳で、協会（一般）が371,346円、組合健保が534,123円となっており、これを20歳未満の平均標準報酬月額と比較すると、協会（一般）は約2.13倍、組合健保は約2.64倍となっている。協会（一般）は45歳ごろ、組合健保は50歳ごろまでの平均標準報酬月額は年齢階級の上昇とともに3～5万円程度増加するが、その後はそれより小幅な増加となり、55歳を過ぎると平均標準報酬月額は年齢とともに概ね減少する傾向となっている。一方、女性の平均標準報酬月額は、協会（一般）は15万円～23万円台、組合健保は17万円～29万円台で推移している。

平均標準報酬月額について、組合健保の協会（一般）に対する比率でみると、男性は50～54歳、女性は45～49歳の階級が最も大きく、男性で約1.44倍、女性で約1.26倍となっており、また、平均では男性で約1.32倍、女性で約1.19倍となっている。

表9－1 年齢階級別平均標準報酬月額（平成23年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総 数	円 276,543	円 313,418	円 217,836	円 365,235	円 411,999	円 259,694	1.321	1.315	1.192
15～19歳	166,699	174,098	158,500	193,742	201,984	175,786	1.162	1.160	1.109
20～24	195,503	206,870	185,699	225,073	238,087	209,909	1.151	1.151	1.130
25～29	227,661	244,224	207,254	272,950	292,963	242,955	1.199	1.200	1.172
30～34	258,119	282,681	217,927	318,118	351,293	260,151	1.232	1.243	1.194
35～39	285,430	318,498	223,110	363,046	404,741	273,569	1.272	1.271	1.226
40～44	302,504	346,945	226,064	408,223	458,690	284,639	1.349	1.322	1.259
45～49	310,794	366,958	229,950	448,697	504,656	290,702	1.444	1.375	1.264
50～54	313,715	371,346	231,289	466,601	534,123	266,409	1.487	1.438	1.152
55～59	309,556	360,162	227,364	458,139	517,033	265,165	1.480	1.436	1.166
60～64	273,322	299,437	213,541	323,799	343,418	235,307	1.185	1.147	1.102
65～69	259,989	275,942	215,262	305,337	313,241	258,141	1.174	1.135	1.199
70～74	252,821	269,067	211,731	303,473	313,169	241,622	1.200	1.164	1.141
75歳以上	237,545	265,364	191,138	—	—	—	—	—	—

図4 年齢階級別平均標準報酬月額（平成23年10月1日現在）



次に平成23年の平均標準報酬月額の伸び率を示したものが表9－2である。

平均標準報酬月額は、協会（一般）の総数は0.62％減、男性は0.71％減、女性は0.18％減、組合健保の総数は0.51％増、男性は0.78％増、女性は0.10％増となっている。この伸び率を要因に分解すると、報酬額変化分の影響で、協会（一般）の男性は0.82％減、女性は0.22％減、組合健保の男性は0.27％増、女性は0.07％減、年齢構成の変化による分の影響では、協会（一般）の男性は0.11％増、女性は0.04％増、組合健保の男性は0.51％増、女性は0.16％増となっている。

なお、報酬額変化分とは、年齢階級別の被保険者数を平成22年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均標準報酬月額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。

表9－2 平均標準報酬月額の伸び率の要因分解

(1) 協会（一般）

	平成22年平均 標準報酬月額 (円)	平成23年平均 標準報酬月額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	278,275	276,543	▲ 0.62	▲ 0.74	0.11
男性	315,672	313,418	▲ 0.71	▲ 0.82	0.11
女性	218,221	217,836	▲ 0.18	▲ 0.22	0.04

(2) 組合健保

	平成22年平均 標準報酬月額 (円)	平成23年平均 標準報酬月額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	363,384	365,235	0.51	0.07	0.44
男性	408,812	411,999	0.78	0.27	0.51
女性	259,447	259,694	0.10	▲ 0.07	0.16

8. 年齢階級別平均標準賞与額

平成22年10月1日から平成23年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を年齢階級別に示したものが表10及び図5である。

年齢階級別の分布をみると、男性は協会（一般）、組合健保とも標準報酬月額と同様の山型をなしており、協会（一般）は45～49歳で、組合健保は50～54歳でピークとなっており、協会（一般）は537,477円、組合健保は1,752,034円となっている。これを20歳未満の平均標準賞与額と比較すると、協会（一般）は約5.12倍、組合健保は約10.44倍となり、いずれも平均標準報酬月額の場合よりも比率が大きく、組合健保の場合は特に大きくなっている。

女性の平均標準賞与額も男性とほぼ同様の傾向にあるが、男性と比べるとなだらかである。また、年齢の上昇に伴い男性との差は大きくなる傾向にあり、その中でも40歳～50歳代では男性よりもかなり低い金額になっている。

平均標準賞与額について、組合健保の協会（一般）に対する比率は平均で男性が約2.78倍、女性が約1.62倍となっており、協会（一般）と組合健保との比率は平均標準報酬月額の場合よりも大きくなっている。

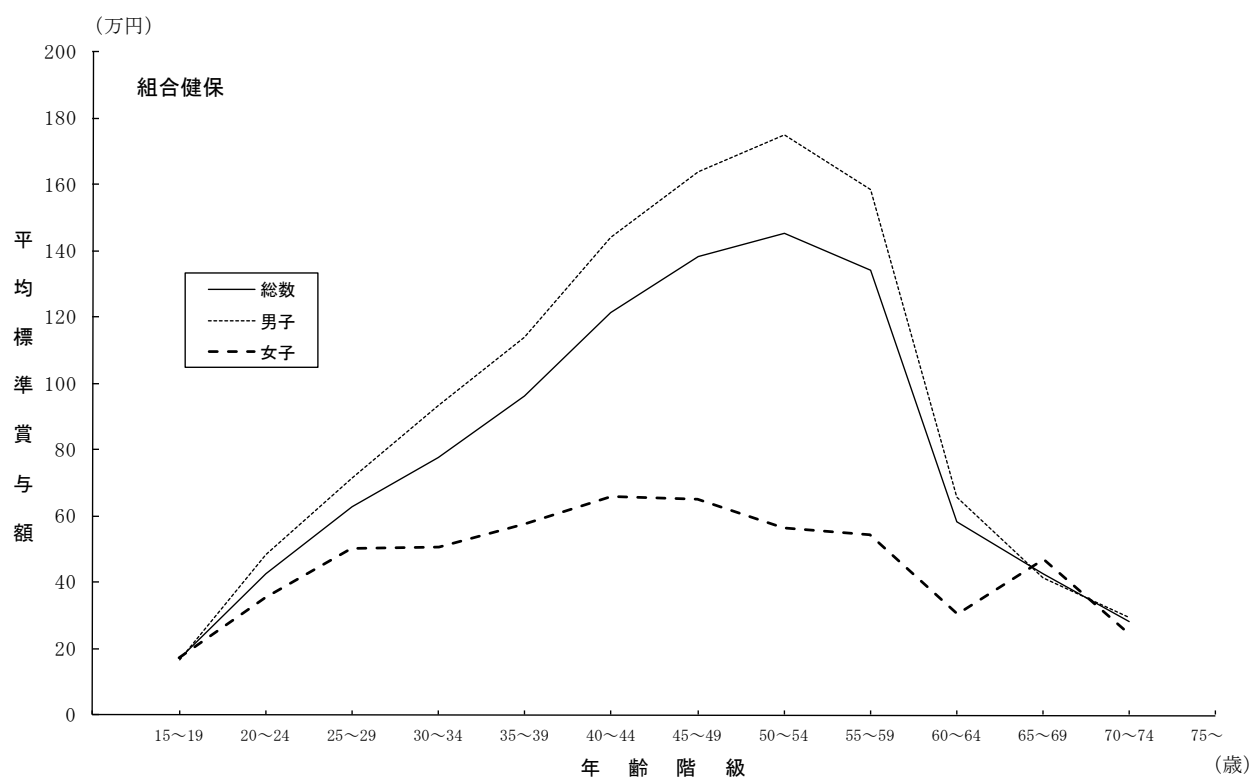
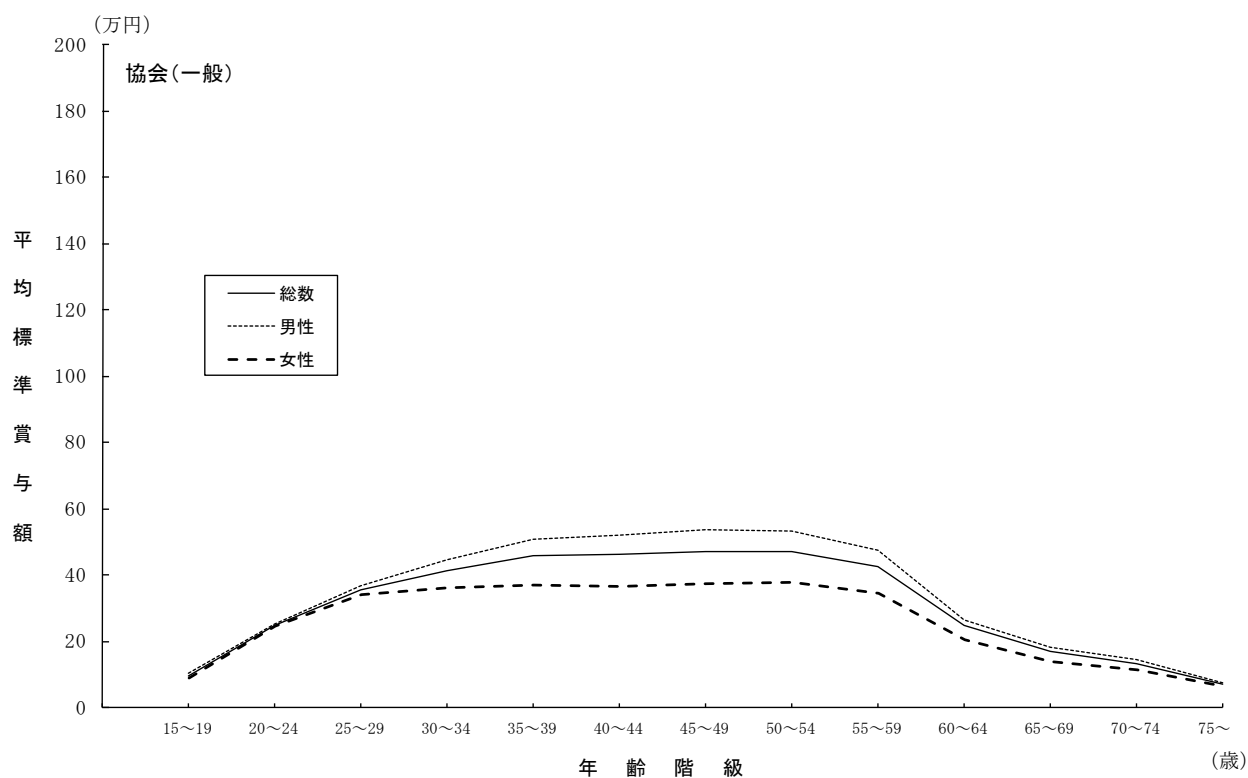
表10 年齢階級別平均標準賞与額（平成23年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	392,226	432,551	329,030	992,134	1,201,486	533,460	2.529	2.778	1.621
15～19 歳	96,729	105,001	87,562	169,843	167,885	174,107	1.756	1.599	1.988
20～24	248,818	254,078	244,279	425,275	485,478	354,761	1.709	1.911	1.452
25～29	356,882	369,052	341,875	630,047	714,728	502,536	1.765	1.937	1.470
30～34	414,654	447,161	361,484	777,394	932,071	505,994	1.875	2.084	1.400
35～39	458,640	506,481	368,617	961,875	1,139,509	578,225	2.097	2.250	1.569
40～44	463,892	521,348	365,301	1,216,045	1,441,956	661,326	2.621	2.766	1.810
45～49	470,790	537,477	375,196	1,381,567	1,640,226	649,639	2.935	3.052	1.731
50～54	469,396	533,963	377,477	1,453,107	1,752,034	566,104	3.096	3.281	1.500
55～59	425,792	475,281	345,945	1,340,518	1,584,268	545,893	3.148	3.333	1.578
60～64	246,595	266,621	202,782	585,157	657,244	304,546	2.373	2.465	1.502
65～69	170,911	184,118	138,697	427,098	412,833	471,538	2.499	2.242	3.400
70～74	134,667	143,759	113,945	283,176	296,137	244,294	2.103	2.060	2.144
75歳以上	70,232	74,528	63,189	-	-	-	-	-	-

（注1）平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）標準賞与額とは、平成22年10月1日から平成23年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額のことである。

図5 年齢階級別平均標準賞与額（平成23年10月1日現在）



また、平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較を示したものが表11及び図6である。

総数における平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率をみると、協会（一般）は約1.42ヶ月分、組合健保は約2.72ヶ月分となっている。

この比率を年齢階級別にみると、協会（一般）、組合健保ともに山型をなしており、ピークは協会（一般）が35～39歳の約1.61ヶ月分、組合健保が50～54歳の約3.11ヶ月分となっている。その後は年齢の上昇とともに減少している。

次に男女別でみると、協会（一般）は男性が35～39歳、女性が30～34歳でピークとなっており、組合健保は男性が50～54歳、女性が40～44歳でピークとなっている。また、ピーク時の平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、協会（一般）男性が約1.59ヶ月分、組合健保男性が約3.28ヶ月分、協会（一般）女性が約1.66ヶ月分、組合健保女性が約2.32ヶ月分となっている。

また図6をみると、平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、協会（一般）において男性と女性の間には大きな差は見られないが、組合健保においては男性の方が高くなっている。

表11 年齢階級別平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成23年10月1日現在）

（１）協会（一般）

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	276,543	313,418	217,836	392,226	432,551	329,030	1.418	1.380	1.510
15～19歳	166,699	174,098	158,500	96,729	105,001	87,562	0.580	0.603	0.552
20～24	195,503	206,870	185,699	248,818	254,078	244,279	1.273	1.228	1.315
25～29	227,661	244,224	207,254	356,882	369,052	341,875	1.568	1.511	1.650
30～34	258,119	282,681	217,927	414,654	447,161	361,484	1.606	1.582	1.659
35～39	285,430	318,498	223,110	458,640	506,481	368,617	1.607	1.590	1.652
40～44	302,504	346,945	226,064	463,892	521,348	365,301	1.534	1.503	1.616
45～49	310,794	366,958	229,950	470,790	537,477	375,196	1.515	1.465	1.632
50～54	313,715	371,346	231,289	469,396	533,963	377,477	1.496	1.438	1.632
55～59	309,556	360,162	227,364	425,792	475,281	345,945	1.375	1.320	1.522
60～64	273,322	299,437	213,541	246,595	266,621	202,782	0.902	0.890	0.950
65～69	259,989	275,942	215,262	170,911	184,118	138,697	0.657	0.667	0.644
70～74	252,821	269,067	211,731	134,667	143,759	113,945	0.533	0.534	0.538
75歳以上	237,545	265,364	191,138	70,232	74,528	63,189	0.296	0.281	0.331

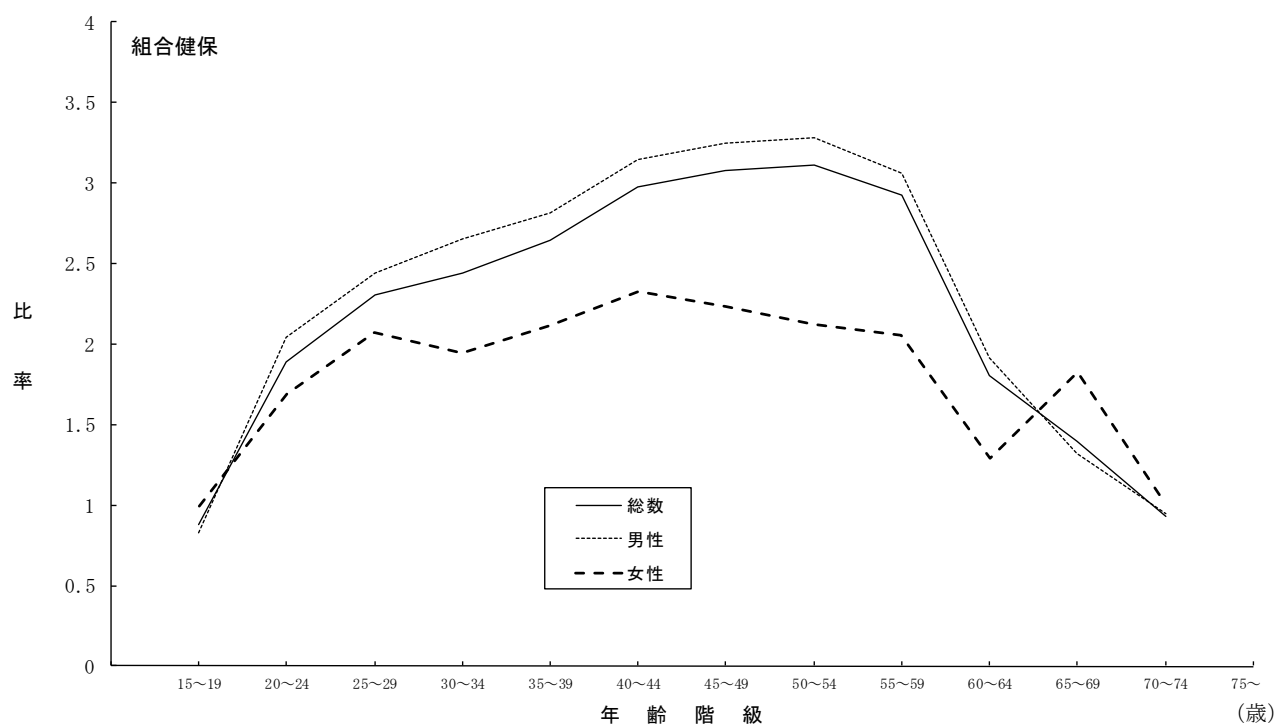
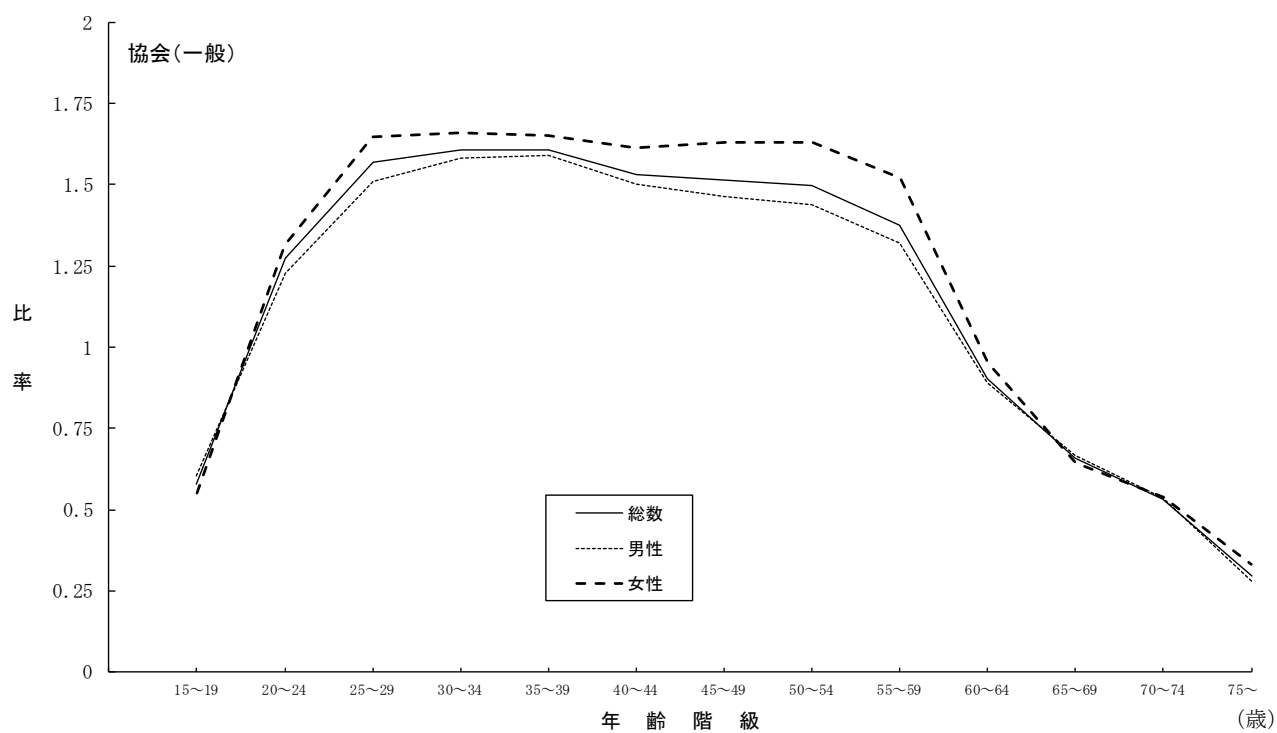
（２）組合健保

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	365,235	411,999	259,694	992,134	1,201,486	533,460	2.716	2.916	2.054
15～19歳	193,742	201,984	175,786	169,843	167,885	174,107	0.877	0.831	0.990
20～24	225,073	238,087	209,909	425,275	485,478	354,761	1.889	2.039	1.690
25～29	272,950	292,963	242,955	630,047	714,728	502,536	2.308	2.440	2.068
30～34	318,118	351,293	260,151	777,394	932,071	505,994	2.444	2.653	1.945
35～39	363,046	404,741	273,569	961,875	1,139,509	578,225	2.649	2.815	2.114
40～44	408,223	458,690	284,639	1,216,045	1,441,956	661,326	2.979	3.144	2.323
45～49	448,697	504,656	290,702	1,381,567	1,640,226	649,639	3.079	3.250	2.235
50～54	466,601	534,123	266,409	1,453,107	1,752,034	566,104	3.114	3.280	2.125
55～59	458,139	517,033	265,165	1,340,518	1,584,268	545,893	2.926	3.064	2.059
60～64	323,799	343,418	235,307	585,157	657,244	304,546	1.807	1.914	1.294
65～69	305,337	313,241	258,141	427,098	412,833	471,538	1.399	1.318	1.827
70～74	303,473	313,169	241,622	283,176	296,137	244,294	0.933	0.946	1.011
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注１）平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注２）標準賞与額とは、平成22年10月1日から平成23年9月30日の１年間に支払われた標準賞与額のことである。

図6 平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成23年10月1日現在）



9. 年齢階級別平均総報酬額

被保険者の平均総報酬額を年齢階級別に示したものが表12－1及び図7である。

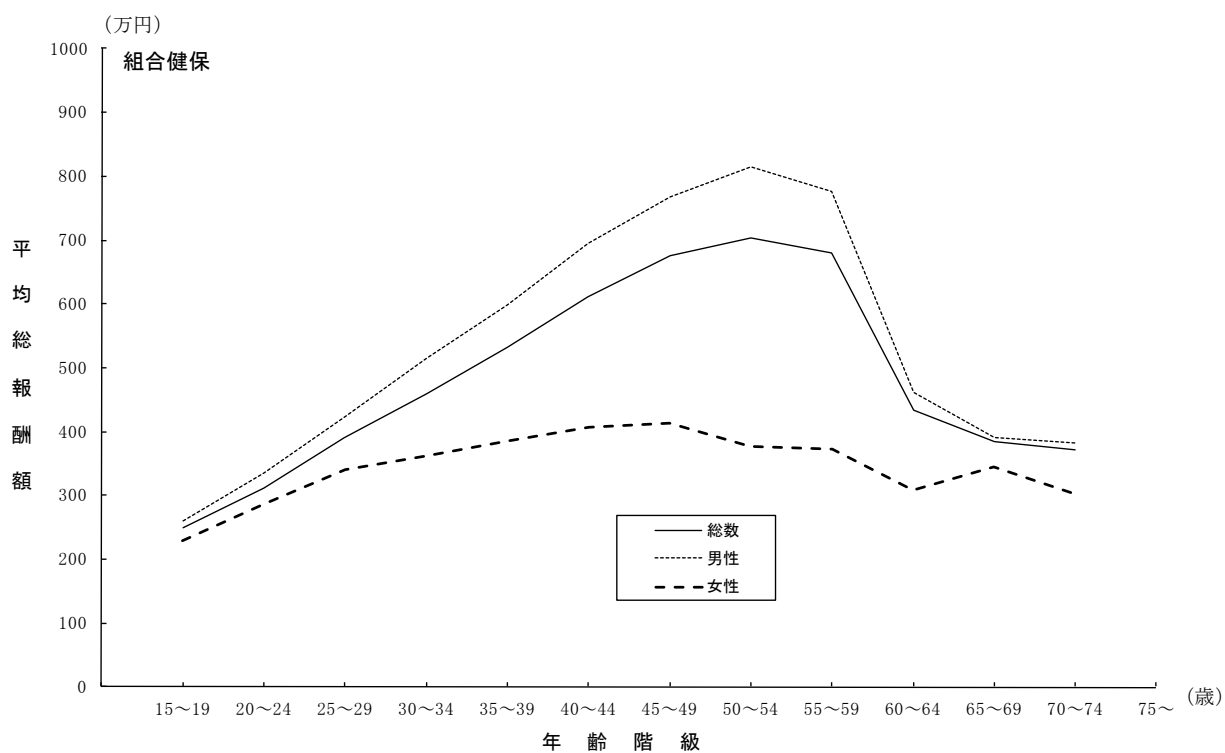
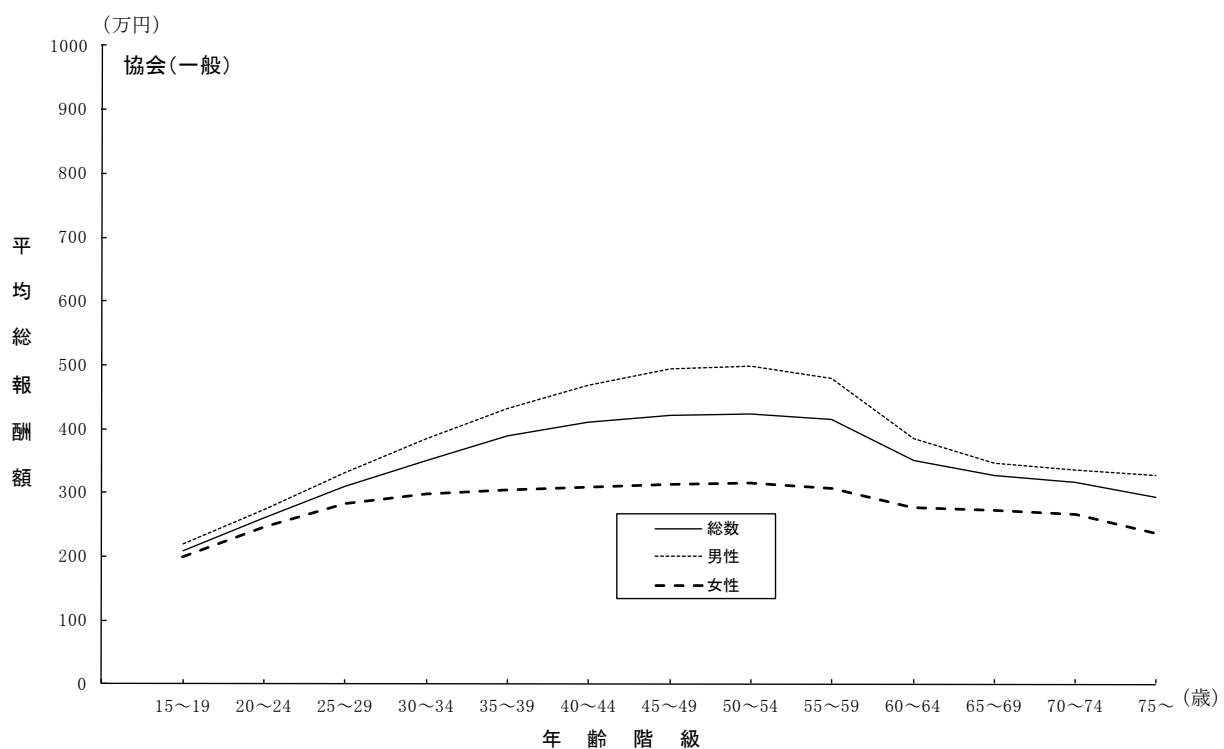
年齢階級別の分布をみると、男性は協会（一般）、組合健保ともに標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークとなる年齢階級は、協会（一般）、組合健保ともに50～54歳で、協会（一般）が4,985,197円、組合健保が8,151,117円となっている。女性の平均総報酬額についても男性とほぼ同様の傾向にあり、協会（一般）は50～54歳、組合健保は45～49歳でピークとなっているが、男性と比べるとなだらかなり、年齢階級による格差があまりみられない。

組合健保の協会（一般）に対する比率をみると、男性は50～54歳、女性は40～44歳の階級が最も差が大きく、男性が約1.64倍、女性が約1.32倍となっており、また、平均では男性が約1.46倍、女性が約1.24倍となっている。

表12－1 年齢階級別平均総報酬額（平成23年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	3,703,683	4,183,201	2,940,272	5,337,956	6,090,078	3,640,513	1.441	1.456	1.238
15～19	2,097,062	2,194,129	1,989,509	2,494,742	2,591,689	2,283,536	1.190	1.181	1.148
20～24	2,594,236	2,735,927	2,472,010	3,124,752	3,342,099	2,871,511	1.204	1.222	1.162
25～29	3,087,174	3,298,199	2,827,192	3,903,196	4,229,069	3,414,800	1.264	1.282	1.208
30～34	3,509,691	3,836,685	2,974,618	4,590,000	5,143,240	3,623,335	1.308	1.341	1.218
35～39	3,880,928	4,325,024	3,043,994	5,313,421	5,992,782	3,855,529	1.369	1.386	1.267
40～44	4,090,964	4,680,891	3,076,281	6,107,619	6,938,934	4,071,864	1.493	1.482	1.324
45～49	4,197,185	4,936,493	3,133,014	6,757,710	7,687,289	4,133,137	1.610	1.557	1.319
50～54	4,230,547	4,985,197	3,151,219	7,043,389	8,151,117	3,759,177	1.665	1.635	1.193
55～59	4,135,883	4,790,915	3,071,997	6,808,938	7,752,262	3,718,049	1.646	1.618	1.210
60～64	3,510,959	3,839,644	2,758,568	4,333,660	4,610,193	3,086,333	1.234	1.201	1.119
65～69	3,266,769	3,463,563	2,714,998	3,848,693	3,916,620	3,443,042	1.178	1.131	1.268
70～74	3,154,014	3,353,211	2,650,204	3,712,205	3,822,030	3,011,703	1.177	1.140	1.136
75歳以上	2,919,162	3,256,709	2,356,067	-	-	-	-	-	-

図7 年齢階級別平均総報酬額（平成23年10月1日現在）



次に平成23年の平均総報酬額の伸び率を示したものが表12－2である。

これによると、平均総報酬額は、協会（一般）の総数は横ばい、男性は0.03%減、女性は0.28%増、組合健保の総数は1.07%増、男性は1.35%増、女性は0.65%増となっている。この伸び率を要因に分解すると、報酬額変化分の影響で、協会（一般）の男性は0.13%減、女性は0.25%増、組合健保の男性は0.80%増、女性は0.49%増、年齢構成の変化による分の影響で、協会（一般）の男性は0.10%増、女性は0.03%増、組合健保の男性は0.54%増、女性は0.17%増となっている。

なお、報酬額変化分とは、年齢階級別の被保険者数を平成22年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均総報酬額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。

表12－2 平均総報酬額の伸び率の要因分解

(1) 協会（一般）

	平成22年 平均総報酬額 (円)	平成23年 平均総報酬額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	3,703,806	3,703,683	▲ 0.00	▲ 0.11	0.11
男性	4,184,342	4,183,201	▲ 0.03	▲ 0.13	0.10
女性	2,932,134	2,940,272	0.28	0.25	0.03

(2) 組合健保

	平成22年 平均総報酬額 (円)	平成23年 平均総報酬額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	5,281,489	5,337,956	1.07	0.60	0.47
男性	6,009,070	6,090,078	1.35	0.80	0.54
女性	3,616,833	3,640,513	0.65	0.49	0.17

10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合

標準賞与額について、支給額が0円の被保険者の割合を年齢階級別に示したものが表13である。総数でみると、協会（一般）は0.378、組合健保は0.184となっており、協会（一般）の方が組合健保よりも割合が高くなっている。

次に男女別、年齢階級別にみると、男性については協会（一般）、組合健保ともに年齢の上昇に伴い、いったん割合は減少したのち、再び上昇する傾向にある。最も割合の低い年齢階級は、協会（一般）が30～34歳で0.307、組合健保が35～39歳及び40～44歳で0.107となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は、協会（一般）は75歳以上で0.886、組合健保は70～74歳で0.686となっている。女性についても男性と同様の傾向であり、最も割合の低い年齢階級は、協会（一般）が25～29歳で0.326、組合健保が55～59歳で0.228となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は、協会（一般）が75歳以上で0.887、組合健保が70～74歳で0.471となっている。

表13 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合（平成23年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総 数	0.378	0.384	0.369	0.184	0.140	0.281
15～19歳	0.414	0.386	0.444	0.230	0.230	0.232
20～24	0.351	0.348	0.354	0.209	0.151	0.276
25～29	0.320	0.314	0.326	0.198	0.153	0.266
30～34	0.317	0.307	0.334	0.203	0.132	0.328
35～39	0.326	0.315	0.346	0.168	0.107	0.298
40～44	0.350	0.346	0.356	0.155	0.107	0.271
45～49	0.363	0.371	0.351	0.153	0.116	0.255
50～54	0.371	0.386	0.350	0.146	0.112	0.249
55～59	0.399	0.416	0.370	0.145	0.119	0.228
60～64	0.510	0.523	0.483	0.330	0.328	0.340
65～69	0.647	0.655	0.627	0.486	0.525	0.365
70～74	0.764	0.766	0.759	0.632	0.686	0.471
75歳以上	0.886	0.886	0.887	—	—	—

（注1）標準賞与額0円の割合については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）標準賞与額とは、平成22年10月1日から平成23年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額のことである。

1 1. 年齢階級別、被保険者期間別構成等

被保険者期間（資格取得後平成23年10月1日までの期間）が1年未満か、1年以上かにより、年齢階級別に被保険者の総数に対する割合を示したものが表14である。

被保険者期間1年未満の割合は、年齢階級総数で協会（一般）17.0%、組合健保12.9%となっており、年齢の上昇に伴い概ね減少する傾向にあるが、学卒者の新規加入の影響により、25歳未満で1年未満の被保険者が多くなっている。また、定年後の再就職による加入の影響により、60歳以上65歳未満の1年未満の被保険者の割合は、前後の年齢階級と比べて多くなっている。

表14 年齢階級別、被保険者期間別被保険者構成（平成23年10月1日現在）

（単位：％）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	17.0	83.0	100.0	12.9	87.1
15～19歳	100.0	74.9	25.1	100.0	74.7	25.3
20～24	100.0	39.7	60.3	100.0	33.4	66.6
25～29	100.0	23.2	76.8	100.0	16.5	83.5
30～34	100.0	17.3	82.7	100.0	13.5	86.5
35～39	100.0	14.6	85.4	100.0	10.4	89.6
40～44	100.0	13.8	86.2	100.0	9.2	90.8
45～49	100.0	12.7	87.3	100.0	9.0	91.0
50～54	100.0	11.3	88.7	100.0	6.7	93.3
55～59	100.0	10.2	89.8	100.0	6.5	93.5
60～64	100.0	17.3	82.7	100.0	17.8	82.2
65～69	100.0	13.4	86.6	100.0	7.1	92.9
70～74	100.0	9.6	90.4	100.0	1.1	98.9
75歳以上	100.0	3.2	96.8	－	－	－

次に、被保険者期間別に年齢階級別平均標準報酬月額について比較したものが表15である。

平均標準報酬月額の被保険者期間による比率は、年齢階級総数をみると組合健保の方がやや大きい。また、年齢階級別にみると、協会（一般）は20～24歳、組合健保は70～74歳で最も小さくなっており、協会（一般）は50～54歳で、組合健保は40～44歳の階級で最も大きくなっている。また、45歳以上では、組合健保よりも協会（一般）の方が概ね比率が大きい傾向にある。

表15 年齢階級別、被保険者期間別平均標準報酬月額（平成23年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ③	1年以上 ④	比率 ④／③
総 数	円 217,337	円 288,700	1.328	円 276,052	円 378,397	1.371
15～19歳	162,002	180,689	1.115	189,323	206,800	1.092
20～24	185,374	202,173	1.091	207,846	233,716	1.124
25～29	207,818	233,641	1.124	235,679	280,324	1.189
30～34	225,047	265,055	1.178	265,095	326,394	1.231
35～39	233,178	294,366	1.262	293,759	371,114	1.263
40～44	235,142	313,313	1.332	305,716	418,573	1.369
45～49	236,324	321,607	1.361	347,968	458,604	1.318
50～54	236,867	323,493	1.366	354,755	474,619	1.338
55～59	235,518	317,962	1.350	431,788	459,972	1.065
60～64	220,687	284,329	1.288	291,024	330,902	1.137
65～69	204,054	268,624	1.316	290,800	306,443	1.054
70～74	195,140	258,914	1.327	630,000	299,844	0.476
75歳以上	206,429	238,577	1.156	－	－	－

12. 業態別被保険者構成割合、扶養率等

業態別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したのが表16である。

業態の大分類による被保険者総数に占める割合を高い順にみると、協会（一般）は製造業の19.8%、医療・福祉の16.0%、卸売・小売業の14.6%、組合健保は製造業の33.7%（うち機械器具が17.1%）、卸売・小売業の15.3%、サービス業の10.0%となっている。

扶養率の高い業態は、協会（一般）では建設業の1.129、鉱業・採石業・砂利採取業の1.098、組合健保では電気・ガス・熱供給・水道業の1.376、化学工業の1.100であり、逆に低い業態は、協会（一般）では公務の0.341、組合健保では宿泊業、飲食サービス業の0.523となっている。

平均標準報酬月額の最も高い業態は、協会（一般）は情報通信業の326,161円、組合健保は電気・ガス・熱供給・水道業の494,586円、であり逆に最も低い業態は、協会（一般）では公務の184,776円、組合健保では宿泊業、飲食サービス業の281,475円となっている。また、最高額と最低額との比率は、協会（一般）及び組合健保ともに約1.76倍となっている。

また、平均標準賞与額の最も高い業態は、協会（一般）及び組合健保ともに電気・ガス・熱供給・水道業であり、協会（一般）は646,289円、組合健保は1,720,325円である。逆に最も低い業態は、協会（一般）では公務の150,404円、組合健保では宿泊業・飲食サービス業の344,515円となり、また、最高額と最低額との比率は、協会（一般）が約4.30倍、組合健保が約4.99倍となっている。

表16 業態別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成23年10月1日現在）

業 態 別	協会（一般）				組合健保			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.769	276,543	392,226	100.0	0.890	365,235	992,134
農 林 水 産 業	0.9	0.856	251,623	370,110	0.4	0.795	329,214	925,482
鉱業・採石業・砂利採取業	0.2	1.098	308,286	394,723	0.1	0.875	452,125	1,339,750
建設業	8.9	1.129	310,465	300,281	2.9	1.096	407,778	1,219,128
製造業	19.8	0.847	283,043	447,725	33.7	1.058	384,227	1,253,875
食 料 品	3.9	0.658	244,996	360,799	2.0	0.851	340,310	978,718
繊維工業・繊維製品	1.1	0.578	227,658	230,500	0.6	0.665	300,503	578,131
木材・木製品	0.7	0.929	262,815	261,449	0.2	0.757	323,600	627,800
化学工業	2.0	0.901	298,424	566,220	6.5	1.100	394,032	1,465,796
金属工業	2.5	0.974	307,481	468,536	2.3	1.066	368,103	1,072,730
機械器具	6.5	0.915	297,624	523,340	17.1	1.092	394,365	1,309,567
その他の	3.1	0.880	294,518	424,190	5.0	1.025	375,083	1,095,297
電気・ガス・熱供給・水道	0.6	1.056	321,426	646,289	1.6	1.376	494,586	1,720,325
情報通信業	1.9	0.761	326,161	362,655	8.8	0.799	412,469	837,636
運輸業、郵便業	7.8	0.965	268,838	252,290	6.4	1.015	362,980	793,982
卸売業、小売業	14.6	0.812	286,960	397,592	15.3	0.745	317,389	726,862
金融業、保険業	0.7	0.893	324,367	610,728	7.6	0.807	404,484	1,258,606
不動産業、物品賃貸業	2.2	0.831	300,024	350,536	1.4	0.903	390,066	908,426
学術研究、専門・技術サービス	3.5	0.769	317,190	448,714	1.0	0.859	418,144	972,023
宿泊業、飲食サービス業	3.0	0.650	248,024	181,898	1.2	0.523	281,475	344,515
生活関連サービス業、娯楽	3.1	0.636	266,501	261,269	0.9	0.629	291,314	527,707
教育、学習支援業	1.6	0.463	260,563	363,367	0.3	0.552	421,494	1,469,184
医療、福祉	16.0	0.465	266,281	557,195	3.8	0.634	352,076	794,606
複合サービス業	1.1	0.759	245,559	555,987	0.8	0.900	317,768	988,008
サービス業	9.7	0.717	260,720	320,204	10.0	0.685	321,656	592,347
公務	2.7	0.341	184,776	150,404	0.2	0.534	290,655	758,207
任意継続	1.8	0.920	212,182	-	2.0	0.813	292,780	-
特例退職	-	-	-	-	1.8	0.831	258,705	-

（注1）業態別総数における平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）標準賞与額とは、平成22年10月1日から平成23年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額のことである。

13. 規模別被保険者構成割合、扶養率等

事業所の従業員数（規模）別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したものが表17である。

被保険者構成割合が高い規模は、協会（一般）では規模100～299人の17.4%であり、また、規模100人未満の割合は61.2%となっている。一方、組合健保では規模1,000人以上が49.4%と最も高く、また、規模100人以上の割合は84.3%と、協会（一般）とは逆の傾向にある。

規模別の扶養率は、協会（一般）は規模が大きくなるにつれ扶養率は概ね減少の傾向にあり、規模5人未満の0.891が最も高くなっている。一方、組合健保は規模の違いによるはっきりとした傾向はみられないが、その中でも規模5～9人が0.951と最も高くなっている。

規模と平均標準報酬月額との関係を見ると、協会（一般）は規模5～9人でピークを迎えたのち規模が大きくなるにつれ概ね減少傾向となるが、組合健保は10～19人でピークを迎えたのち500人以上で再び上昇している。

また、規模と平均標準賞与額との関係を見ると、協会（一般）、組合健保とも規模が大きくなるに伴い高くなる傾向にある。協会（一般）では規模500～999人の553,057円、組合健保では規模1,000人以上の1,191,702円が最も高くなっている。

表17 事業所の規模別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額
及び平均標準賞与額（平成23年10月1日現在）

規 模 別	協会（一般）				組合健保			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.769	276,543	392,226	100.0	0.890	365,235	992,134
1～4人	8.5	0.891	268,910	135,323	0.4	0.756	340,321	369,817
5～9	10.2	0.834	296,408	240,043	0.7	0.951	387,473	478,348
10～19	12.4	0.832	296,068	307,218	1.4	0.889	391,107	457,041
20～29	7.7	0.806	287,402	360,050	1.4	0.914	374,699	591,669
30～49	9.5	0.802	281,677	392,417	2.5	0.914	361,086	585,877
50～99	12.9	0.753	271,120	437,763	5.6	0.849	350,955	652,933
100～299	17.4	0.709	268,622	497,590	14.2	0.863	345,285	771,918
300～499	6.4	0.681	273,054	549,468	8.7	0.818	342,906	843,488
500～999	6.1	0.668	271,314	553,057	12.0	0.854	360,068	944,470
1,000人以上	7.1	0.636	257,820	479,776	49.4	0.928	383,569	1,191,702
任意継続分	1.8	0.920	212,182	・	2.0	0.813	292,780	－
特例退職分	・	・	・	・	1.8	0.831	258,705	－

（注1）規模別総数における平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）標準賞与額とは、平成22年10月1日から平成23年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額のことである。

1 4. 被保険者数の推移について

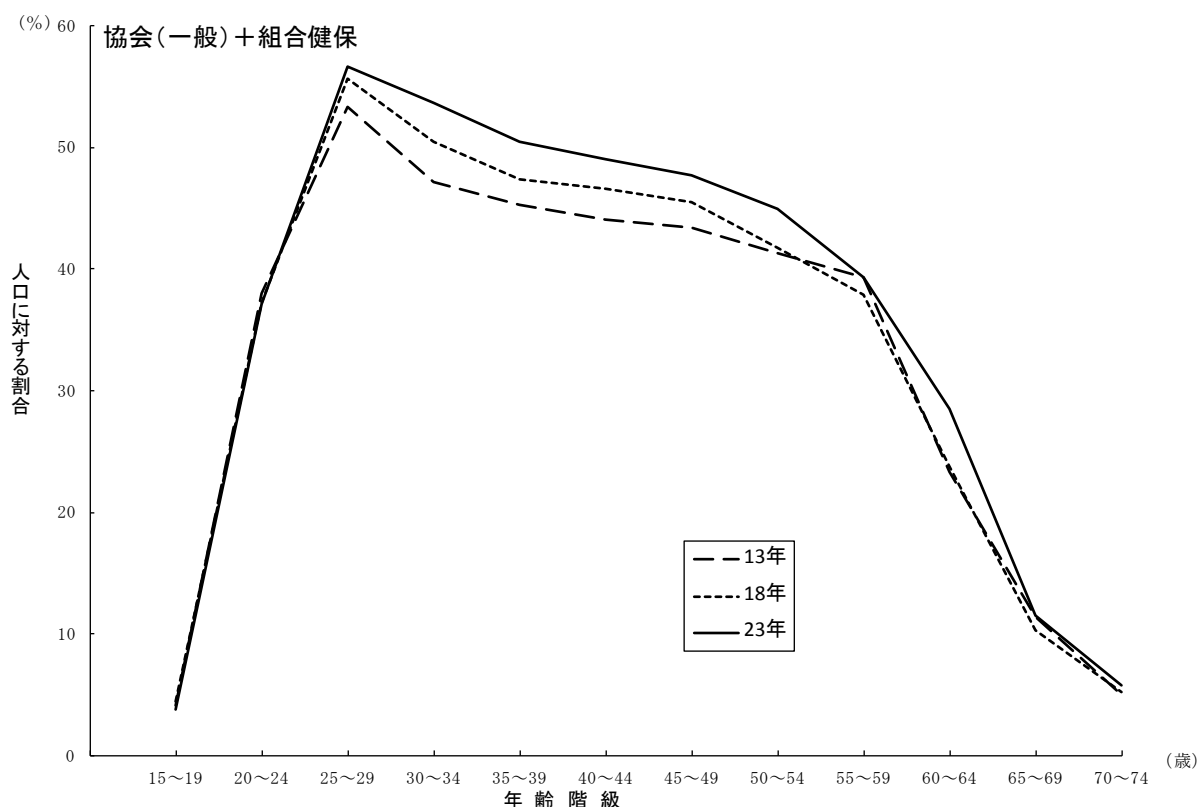
1) 被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合（以下、「被保険者割合」という。）の推移を男女計について年齢階級別に示したものが図8－1、8－2である。

被保険者割合を協会（一般）と組合健保の計でみると、平成13年から18年にかけては20歳代前半及び50歳代以降で減少しているが、平成18年から23年にかけてはいずれの年齢階級においても概ね増加しており、これらはそれぞれの期間の雇用環境の悪化と改善が影響しているものと考えられる。

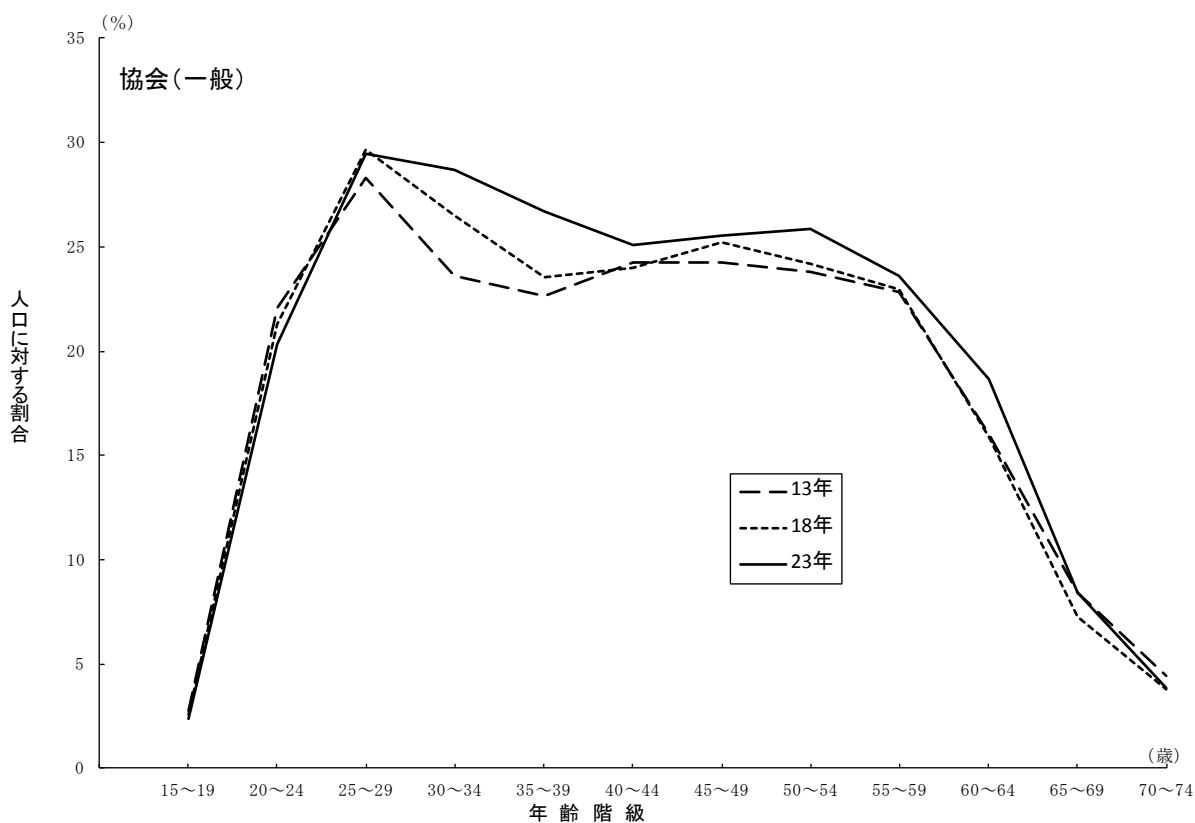
また、被保険者割合を協会（一般）と組合健保のそれぞれについてみると、協会（一般）は平成13年から18年にかけては25～40歳前半、45～64歳を除き減少しているが、平成18年から23年にかけては30～70歳未満の各年齢階級で増加している。一方、組合健保は平成13年から18年にかけては25～54歳で増加しており、平成18年から23年にかけては概ね全ての年齢階級で増加している。

図8－1 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）

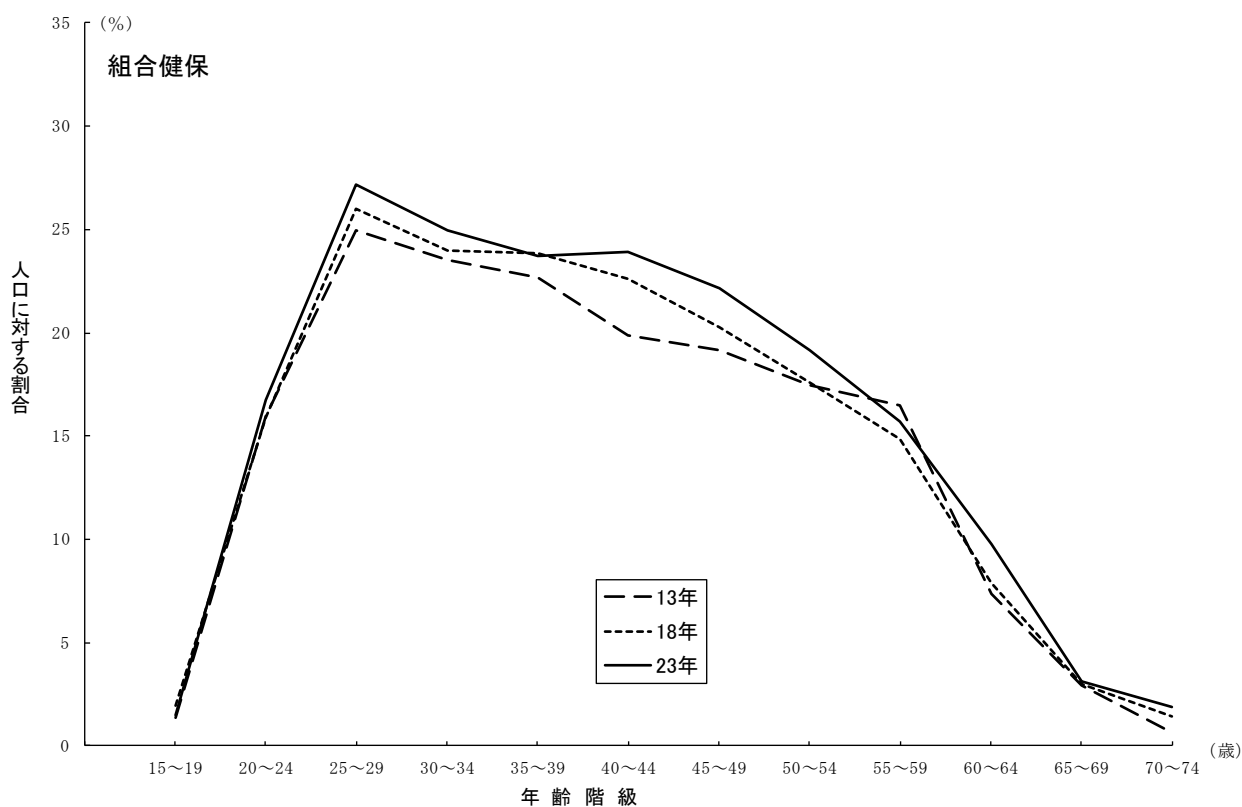


（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図 8 - 2 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月 1 日現在）



（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



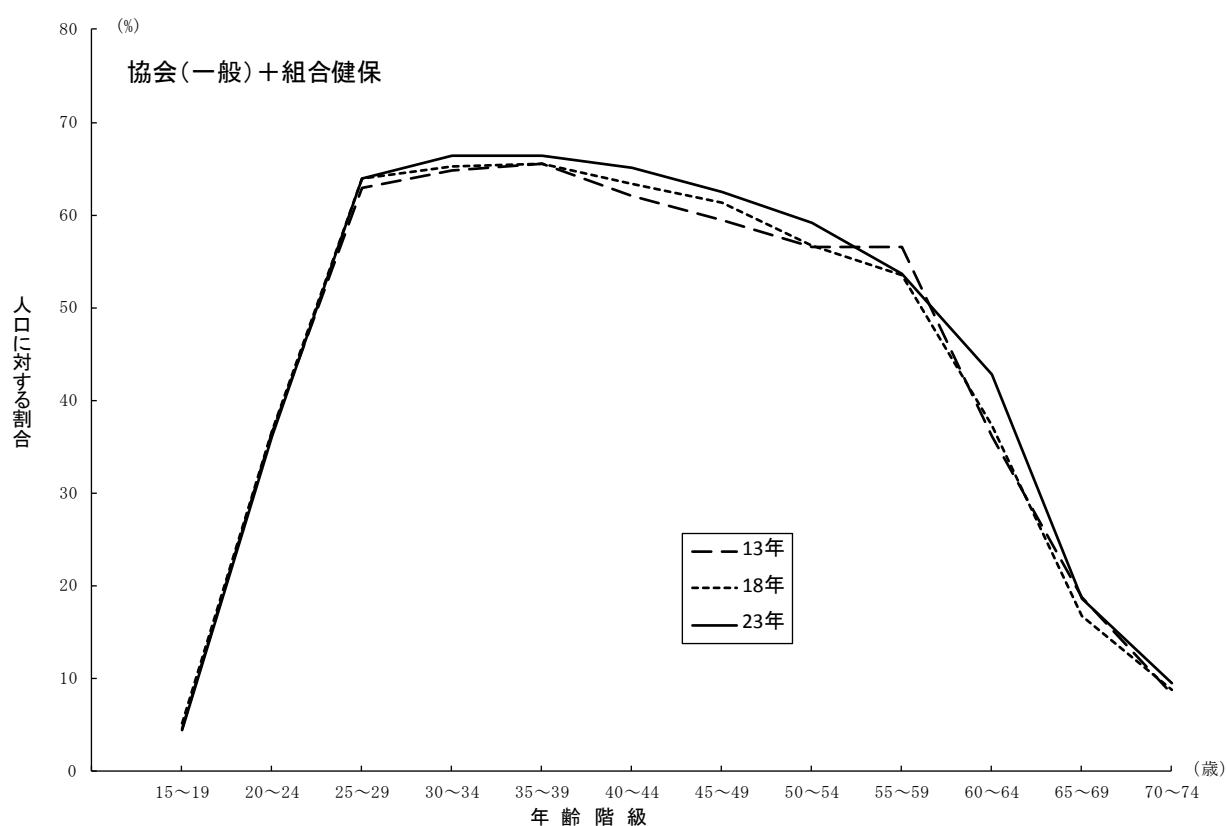
（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図9-1、9-2である。

男性について被保険者割合を協会（一般）と組合健保との計でみると、平成13年から18年にかけては概ね横ばい、平成18年から平成23年にかけては概ね増加している。

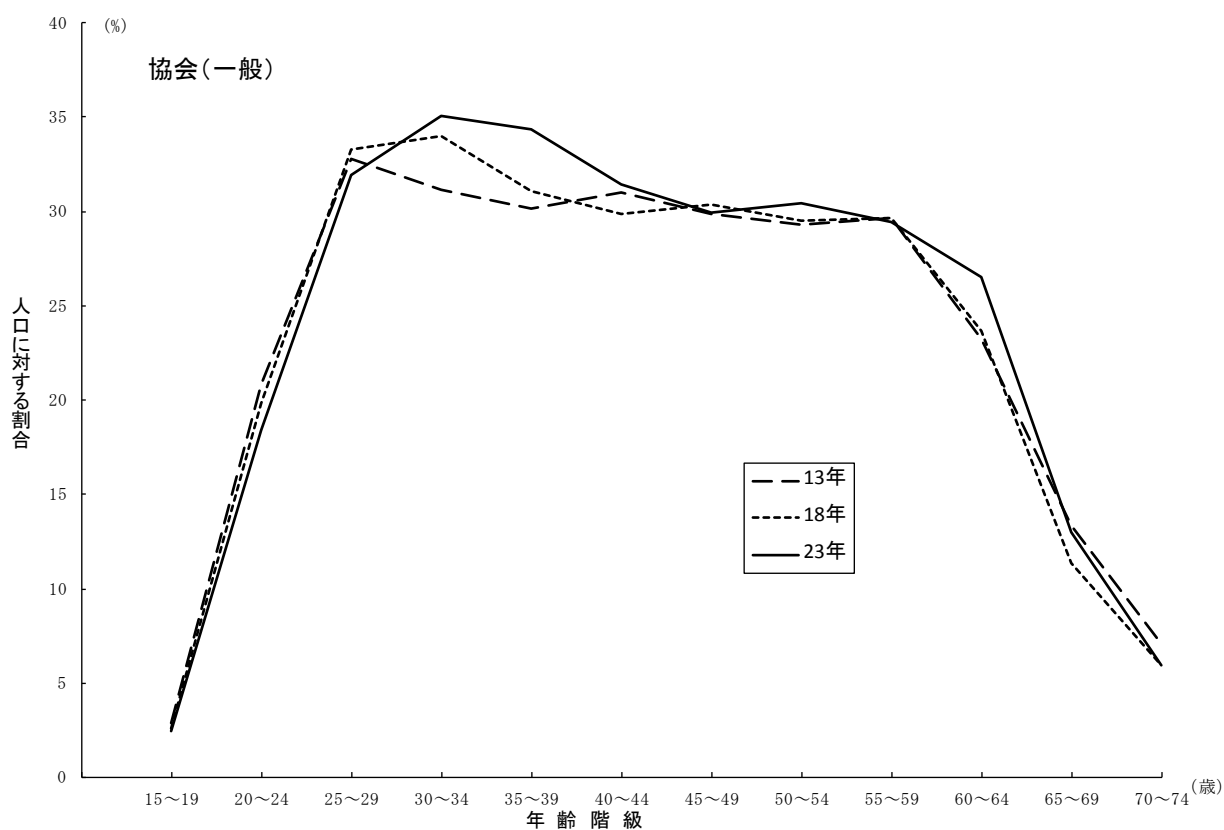
また、男性人口に対する被保険者割合を協会（一般）と組合健保のそれぞれについてみると、平成13年から18年にかけては協会（一般）は20歳代前半が、組合健保においては30歳代前半の減少幅が大きくなっており、平成18年から平成23年にかけては、協会（一般）の20歳代は減少しているが、組合健保は増加している。

図9-1 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)

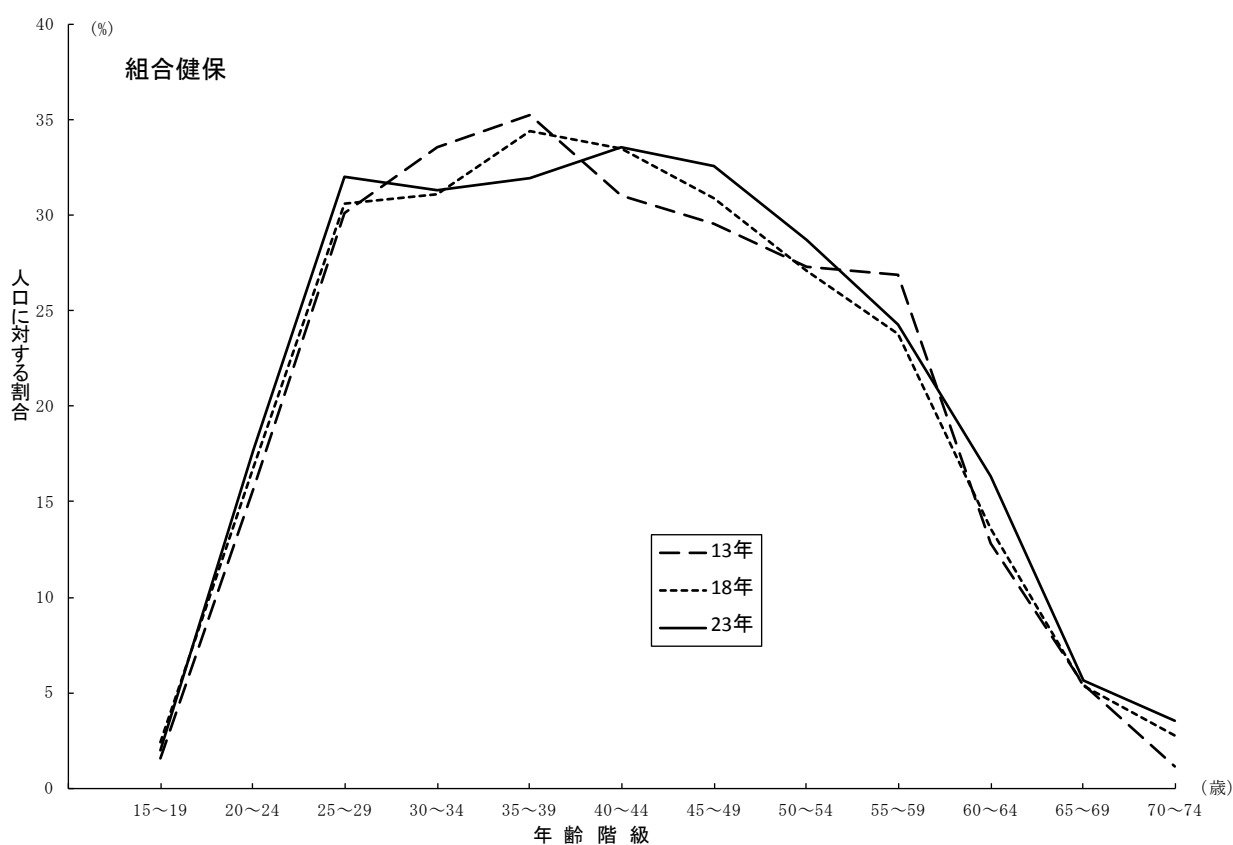


(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図 9 - 2 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



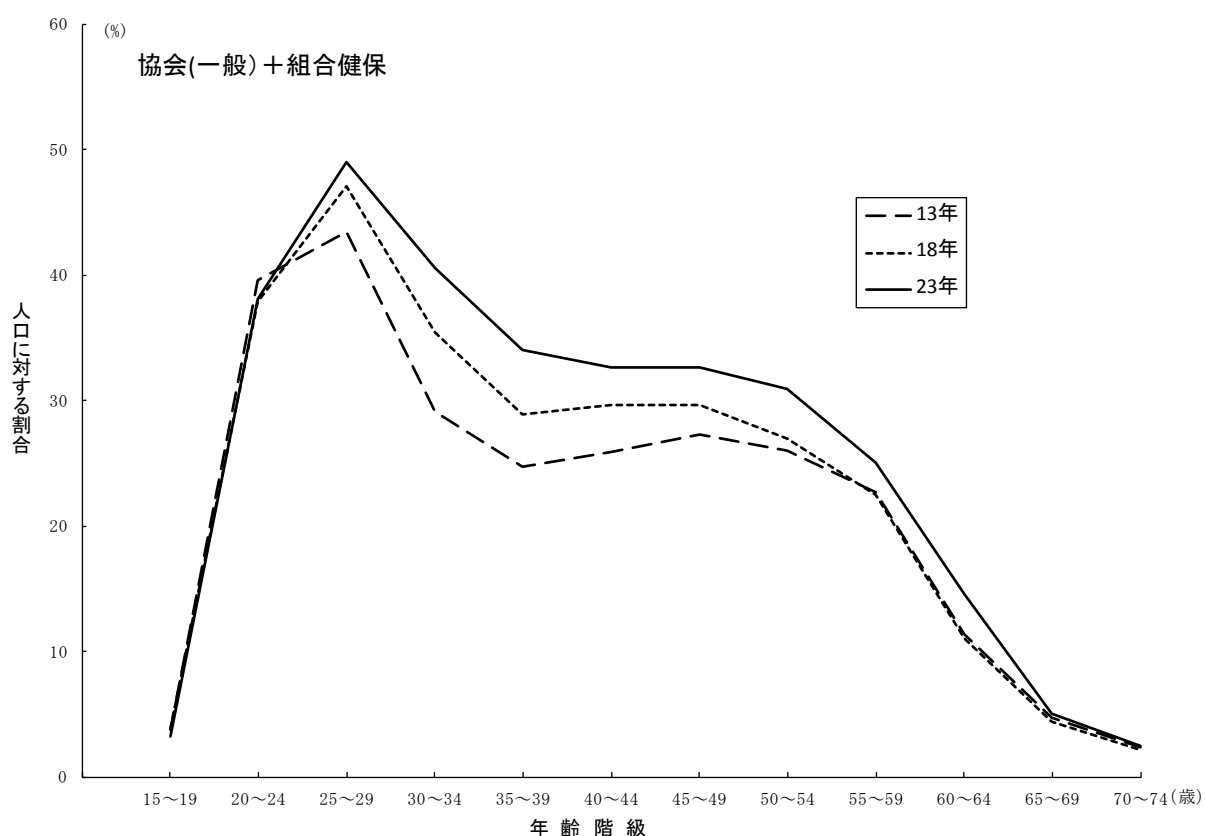
(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図10－1、10－2である。

女性について被保険者割合を協会（一般）と組合健保との計でみると、平成13年から平成18年にかけては、20歳代後半から40歳代後半にかけて、増加がみられる。平成18年から平成23年にかけては20歳代後半以降全年齢階級で増加しており、30歳代から50歳代にかけては増加の幅が男性よりも大きくなっている。これらはそれぞれの期間の雇用環境の変化が男性と同様にあるとともに、被用者として就労する女性が増加したことが大きく影響しているものと考えられる。

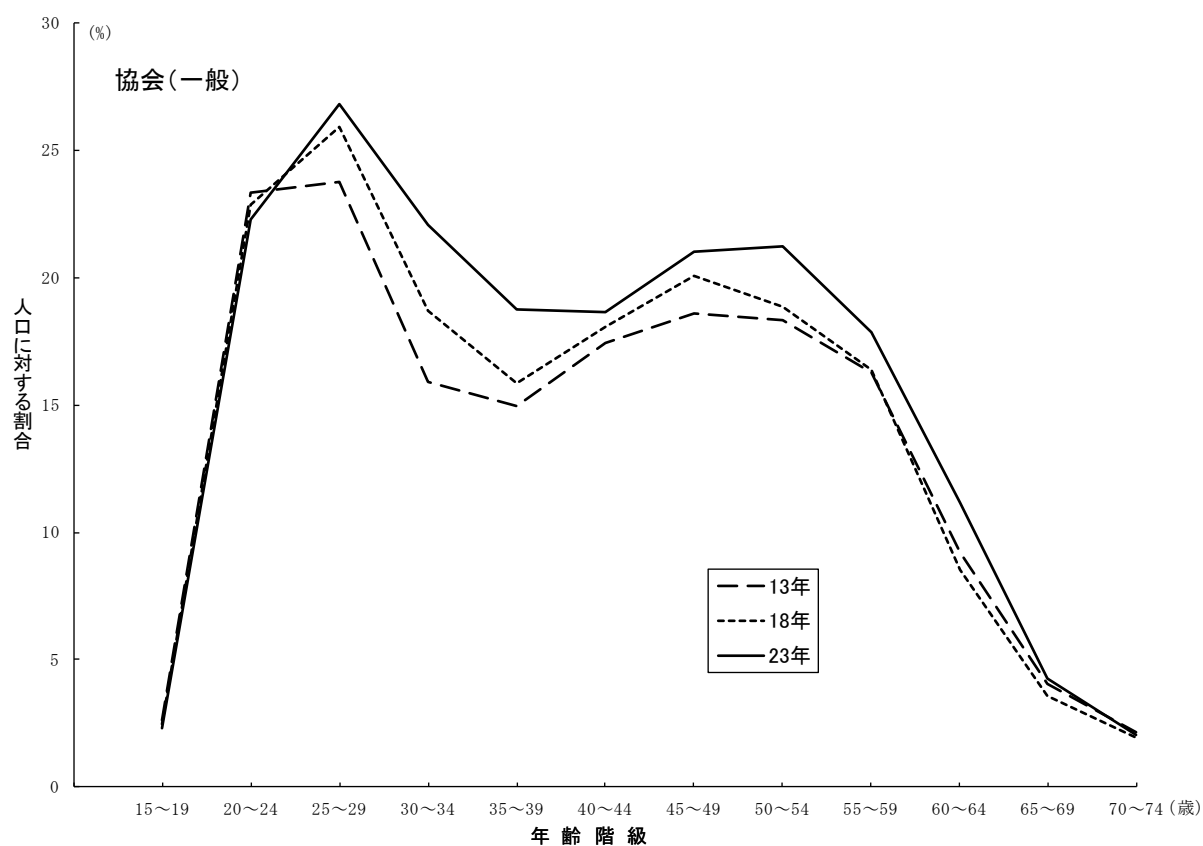
また、女性人口に対する被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれを平成23年についてみると、協会（一般）、組合健保ともに25歳以上30歳未満でピークを迎えるが、組合健保はその後減少し続けるのに対し、協会（一般）は40歳代で再び増加に転じ、45歳以上50歳未満で再びピークを迎えた後に減少に転じている。

図10－1 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）

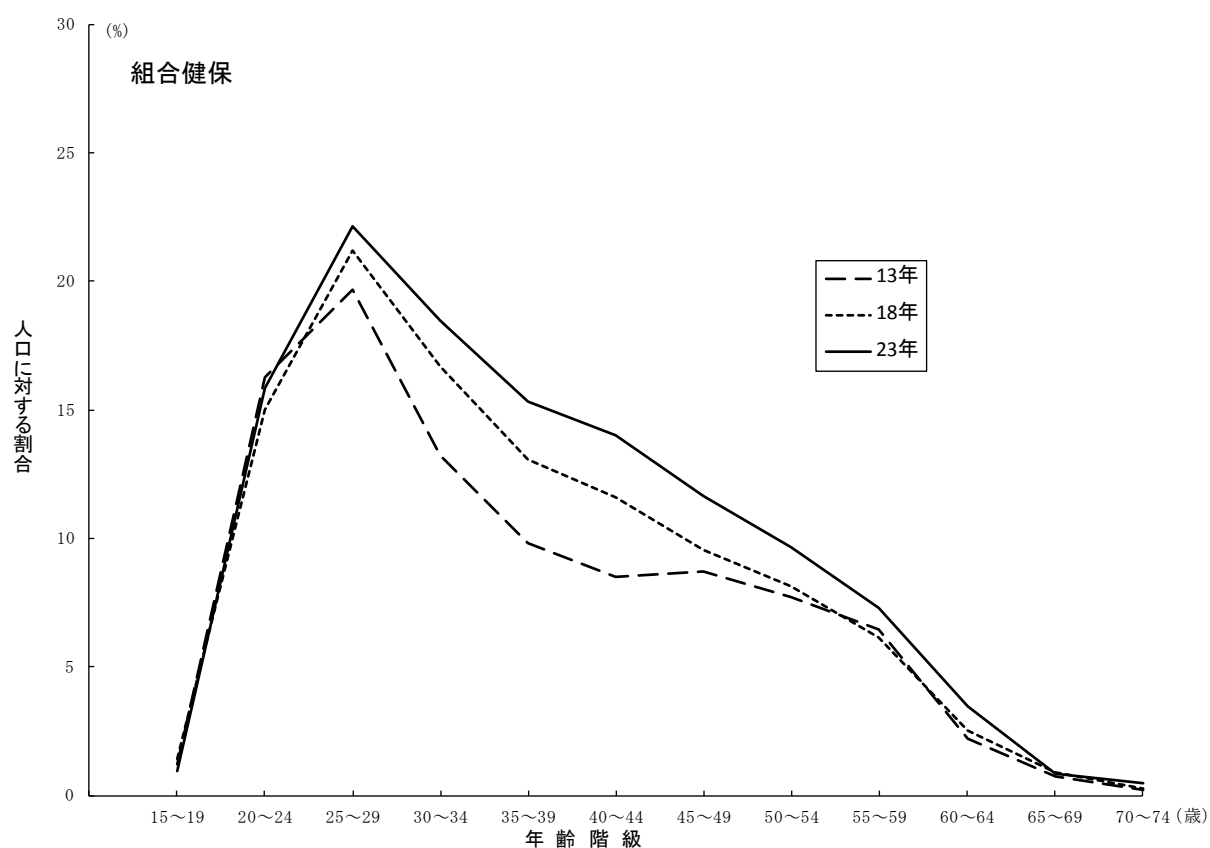


（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図10－2 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

2) コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表18である。

協会（一般）と組合健保計の被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響により20歳代で大きく増加し、定年退職の影響で60歳代で大きく減少している。被保険者割合が増加したのは、平成13年から平成18年にかけては30歳未満及び35～49歳のコーホートであったが、平成18年から平成23年にかけては30歳未満及び40～49歳のコーホートで増加している。

コーホートでみた増減の差を協会（一般）と組合健保の計でみると、各年齢階級で増が比較的多くみられ、これは雇用環境の改善の影響と考えられる。特に、60～64歳が6.2%と大きくプラスとなっており、高齢者雇用の進展がみられる。

また、被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれをみると、どちらも協会（一般）と組合健保の計と概ね同様の傾向を示している。

表18 コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合（各年10月1日現在）

（1）協会（一般）・組合健保計（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成13年	18年	23年	13年→18年①	18年→23年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	4.2	4.5	3.9	－	－	－
20～24	38.0	37.2	37.1	33.1	32.6	－0.5
25～29	53.3	55.7	56.6	17.6	19.4	1.7
30～34	47.1	50.5	53.7	－2.8	－2.0	0.8
35～39	45.3	47.4	50.4	0.3	0.0	－0.3
40～44	44.1	46.6	49.0	1.3	1.6	0.2
45～49	43.4	45.5	47.7	1.4	1.0	－0.4
50～54	41.3	41.8	45.0	－1.6	－0.5	1.1
55～59	39.4	37.8	39.3	－3.4	－2.5	0.9
60～64	23.4	23.8	28.5	－15.5	－9.4	6.2
65～69	11.4	10.3	11.6	－13.1	－12.3	0.8
70～74	5.1	5.2	5.8	－6.2	－4.5	1.6

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成13年	18年	23年	13年→18年①	18年→23年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.8	2.6	2.4	-	-	-
20～24	22.1	21.3	20.3	18.5	17.8	-0.8
25～29	28.3	29.7	29.4	7.6	8.1	0.5
30～34	23.6	26.5	28.7	-1.9	-1.0	0.9
35～39	22.6	23.6	26.7	-0.1	0.2	0.3
40～44	24.3	24.0	25.1	1.4	1.6	0.2
45～49	24.3	25.2	25.5	1.0	1.5	0.5
50～54	23.8	24.2	25.8	-0.1	0.6	0.7
55～59	22.8	23.0	23.6	-0.8	-0.6	0.2
60～64	16.0	15.9	18.7	-6.9	-4.3	2.7
65～69	8.4	7.3	8.4	-8.7	-7.5	1.2
70～74	4.4	3.8	3.9	-4.7	-3.4	1.2

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成13年	18年	23年	13年→18年①	18年→23年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	1.4	1.9	1.5	-	-	-
20～24	16.0	15.9	16.8	14.5	14.8	0.3
25～29	25.0	26.0	27.2	10.0	11.2	1.2
30～34	23.5	24.0	25.0	-1.0	-1.0	0.0
35～39	22.7	23.8	23.7	0.3	-0.3	-0.6
40～44	19.8	22.6	23.9	0.0	0.0	0.1
45～49	19.2	20.3	22.2	0.4	-0.5	-0.9
50～54	17.5	17.6	19.2	-1.6	-1.1	0.5
55～59	16.5	14.9	15.7	-2.6	-1.9	0.7
60～64	7.4	7.9	9.8	-8.6	-5.1	3.5
65～69	2.9	3.0	3.1	-4.3	-4.8	-0.4
70～74	0.7	1.4	1.9	-1.5	-1.1	0.4

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表19である。

被保険者割合をコーホートでみると、男女総数と同様に、学卒者の新規加入の影響により20歳代で大きく増加し、定年退職の影響で60歳代で大きく減少している。協会（一般）と組合健保の計で被保険者割合が増加したのは、平成13年から平成18年及び平成18年から平成23年ともに40歳未満のコーホートであった。

コーホートでみた増減の差を協会（一般）と組合健保の計でみると、各年齢階級で増加が比較的多くみられるが、25歳未満のコーホートが大きくマイナスとなっており、これは若年層の雇用環境の悪化の影響と考えられる。また、男女総数と比べ60～64歳が8.6%とやや大きくプラスとなっており、高齢者雇用の進展については特に男性被保険者においてみられることが分かる。

被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれをみると、どちらも協会（一般）と組合健保の計と概ね同様の傾向を示しているが、コーホートでみた増減をみると、協会（一般）は65～69歳で大きく減少するのに対し、組合健保については60歳から大きく減少し始め、退職の時期が協会（一般）と組合健保とで異なっているものと考えられる。

表19 コーホートでみた男性被保険者数の男性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（1）協会（一般）・組合健保計（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成13年	18年	23年	13年→18年①	18年→23年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	4.5	5.1	4.4	-	-	-
20～24	36.5	36.6	36.1	32.2	31.0	-1.1
25～29	62.9	63.9	64.0	27.5	27.3	-0.1
30～34	64.7	65.2	66.4	2.3	2.5	0.2
35～39	65.4	65.5	66.3	0.8	1.2	0.4
40～44	62.1	63.4	65.0	-2.1	-0.5	1.6
45～49	59.4	61.3	62.5	-0.8	-0.9	-0.1
50～54	56.6	56.7	59.1	-2.8	-2.1	0.6
55～59	56.5	53.5	53.7	-3.1	-3.0	0.1
60～64	36.1	37.3	42.8	-19.2	-10.6	8.6
65～69	18.7	16.7	18.6	-19.4	-18.7	0.7
70～74	8.3	8.7	9.5	-10.0	-7.2	2.8

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成13年	18年	23年	13年→18年①	18年→23年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.9	2.6	2.4	-	-	-
20～24	20.9	19.9	18.4	17.0	15.8	-1.2
25～29	32.8	33.3	31.9	12.4	12.1	-0.4
30～34	31.2	34.0	35.1	1.2	1.8	0.5
35～39	30.2	31.1	34.4	0.0	0.4	0.4
40～44	31.0	29.9	31.4	-0.3	0.3	0.6
45～49	29.9	30.4	30.0	-0.7	0.1	0.8
50～54	29.3	29.5	30.4	-0.4	0.1	0.4
55～59	29.7	29.6	29.4	0.3	-0.1	-0.5
60～64	23.2	23.7	26.5	-6.0	-3.1	2.8
65～69	13.3	11.3	13.0	-11.9	-10.7	1.2
70～74	7.1	6.0	6.0	-7.4	-5.4	2.0

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成13年	18年	23年	13年→18年①	18年→23年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	1.6	2.4	2.0	-	-	-
20～24	15.6	16.8	17.7	15.2	15.3	0.0
25～29	30.1	30.6	32.0	15.0	15.3	0.3
30～34	33.6	31.1	31.3	1.0	0.7	-0.3
35～39	35.3	34.4	31.9	0.8	0.8	0.0
40～44	31.0	33.5	33.6	-1.8	-0.8	1.0
45～49	29.5	30.9	32.5	-0.1	-1.0	-0.8
50～54	27.3	27.1	28.7	-2.4	-2.2	0.2
55～59	26.9	23.8	24.3	-3.5	-2.9	0.6
60～64	12.8	13.6	16.3	-13.3	-7.5	5.8
65～69	5.4	5.4	5.6	-7.5	-8.0	-0.5
70～74	1.2	2.8	3.5	-2.6	-1.8	0.8

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表20である。

被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響により20歳代前半で大きく増加した後、結婚、出産の影響により一度減少するが、その後、再就職により増加した後、定年退職の影響で大きく減少している。

コーホートでみた増減の差を協会（一般）と組合健保の計でみると、概ね増加している。特に、60～64歳が3.8%と大きくプラスになっている。

また、被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれをみると、どちらも協会（一般）と組合健保の計と同様の傾向を示している。

表20 コーホートでみた女性被保険者数の女性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）・組合健保計（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成13年	18年	23年	13年→18年①	18年→23年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	3.8	3.9	3.3	-	-	-
20～24	39.6	37.9	38.2	34.0	34.3	0.2
25～29	43.4	47.1	49.0	7.5	11.1	3.6
30～34	29.1	35.4	40.5	-8.0	-6.6	1.4
35～39	24.8	28.9	34.1	-0.2	-1.3	-1.1
40～44	25.9	29.7	32.6	4.9	3.7	-1.2
45～49	27.3	29.7	32.7	3.8	3.0	-0.8
50～54	26.1	27.0	30.9	-0.3	1.3	1.6
55～59	22.7	22.5	25.1	-3.5	-1.9	1.7
60～64	11.4	11.0	14.6	-11.7	-7.9	3.8
65～69	4.8	4.5	5.1	-6.9	-5.9	1.0
70～74	2.4	2.2	2.5	-2.6	-1.9	0.6

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成13年	18年	23年	13年→18年①	18年→23年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.6	2.5	2.3	-	-	-
20～24	23.3	22.8	22.3	20.2	19.8	-0.4
25～29	23.8	25.9	26.8	2.6	4.0	1.4
30～34	15.9	18.7	22.1	-5.0	-3.8	1.2
35～39	15.0	15.9	18.8	0.0	0.1	0.1
40～44	17.4	18.1	18.7	3.1	2.8	-0.3
45～49	18.6	20.1	21.0	2.7	3.0	0.3
50～54	18.3	18.9	21.3	0.3	1.2	0.9
55～59	16.3	16.4	17.8	-1.9	-1.0	0.9
60～64	9.2	8.5	11.2	-7.7	-5.3	2.5
65～69	4.0	3.6	4.2	-5.6	-4.3	1.3
70～74	2.2	1.9	2.0	-2.1	-1.5	0.6

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成13年	18年	23年	13年→18年①	18年→23年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	1.2	1.4	0.9	-	-	-
20～24	16.3	15.0	15.8	13.8	14.4	0.6
25～29	19.7	21.2	22.1	4.9	7.1	2.2
30～34	13.2	16.7	18.5	-3.0	-2.7	0.2
35～39	9.8	13.1	15.3	-0.1	-1.4	-1.2
40～44	8.5	11.6	14.0	1.8	0.9	-0.9
45～49	8.7	9.6	11.6	1.1	0.0	-1.0
50～54	7.7	8.1	9.7	-0.6	0.1	0.7
55～59	6.5	6.1	7.3	-1.6	-0.8	0.8
60～64	2.2	2.5	3.5	-4.0	-2.6	1.3
65～69	0.7	0.9	0.9	-1.3	-1.6	-0.3
70～74	0.2	0.3	0.5	-0.4	-0.4	0.0

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について

1) 子の場合

各年度の男性被保険者における子の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減及びその差を示したものが表21である。

未婚率の増加や出生率の減少に伴い、同じ年齢階級でみると子の扶養率は年々減少しているが、その特徴を①20歳～30歳代、②40歳代以降の年齢階級別にコーホートでみると次のようになる。

① 20歳代～30歳代

この年代は、結婚に伴う子の誕生によって扶養率が増加している。平成18年～平成23年における扶養率の増減をみると、協会（一般）、組合健保ともに30～34歳が最も大きく、次いで35～39歳となっている。また、平成13年～平成18年と平成18年～平成23年の差をみると、協会（一般）は減少傾向にあり、組合健保は20～30歳代前半は増加傾向しているものの30歳代後半は減少している。これは少子化の影響と考えられる。

② 40歳代以降

40歳代以降は、子の成長により扶養率は減少している。平成23年における扶養率のピークは、協会（一般）、組合健保ともに45～49歳となっているが、ピーク時の扶養率は、年々減少している。

また、平成18年～平成23年における扶養率の増減をみると、協会（一般）、組合健保ともに45歳以降は減少している。

表21 男性被保険者における子の扶養率（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成13年 (75歳以上を除く)	18年 (75歳以上を除く)	23年	13～18①	18～23②	差②－①
総数	0.685	0.675	0.657	-	-	-
15～19歳	0.018	0.014	0.012	-	-	-
20～24	0.096	0.100	0.090	0.083	0.076	-0.006
25～29	0.301	0.311	0.311	0.215	0.211	-0.004
30～34	0.737	0.677	0.669	0.376	0.358	-0.017
35～39	1.193	1.020	0.957	0.283	0.281	-0.002
40～44	1.444	1.272	1.102	0.079	0.082	0.003
45～49	1.310	1.287	1.125	-0.157	-0.147	0.010
50～54	0.770	0.904	0.888	-0.406	-0.399	0.007
55～59	0.314	0.407	0.477	-0.363	-0.427	-0.065
60～64	0.139	0.173	0.206	-0.141	-0.201	-0.060
65～69	0.076	0.094	0.113	-0.045	-0.060	-0.015
70～74	0.049	0.066	0.078	-0.010	-0.016	-0.006

（２）組合健保

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成13年 (75歳以上を除く)	18年 (75歳以上を除く)	23年	13～18①	18～23②	差②－①
総数	0.797	0.749	0.727	-	-	-
15～19歳	0.017	0.000	0.008	-	-	-
20～24	0.079	0.052	0.062	0.035	0.062	0.027
25～29	0.209	0.199	0.230	0.120	0.179	0.059
30～34	0.634	0.618	0.612	0.410	0.413	0.003
35～39	1.145	1.022	0.970	0.388	0.351	-0.037
40～44	1.483	1.290	1.134	0.145	0.111	-0.033
45～49	1.501	1.401	1.221	-0.081	-0.069	0.013
50～54	0.988	1.026	1.026	-0.475	-0.375	0.100
55～59	0.439	0.451	0.541	-0.537	-0.485	0.052
60～64	0.175	0.166	0.206	-0.273	-0.245	0.028
65～69	0.092	0.093	0.097	-0.082	-0.069	0.013
70～74	0.031	0.058	0.059	-0.034	-0.033	0.000

2) 配偶者の場合

各年度の男性被保険者における配偶者の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減を示したものが表22である。後期高齢者医療制度の導入による影響を除くため、平成13年及び平成18年については、75歳以上の者を除いた扶養率を作成し比較している。

配偶者の扶養率を同じ年齢階級でみると、被用者として就労する女性の増加、非婚男性の増加などの影響により減少傾向にあるが、コーホートでみると次のようになる。

概ね40歳頃までは、配偶者の扶養率は増加するが、その後一度減少した後再び増加し、65～69歳で最も高くなる。

この変化の要因は、それぞれ40歳以降の減少は配偶者が働き始めるため、55歳前後からの増加は働いていた配偶者が退職するため、70歳以降の減少は75歳以上の配偶者が後期高齢者医療制度に適用され被扶養者でなくなるためと考えられる。

表22 男性被保険者における配偶者の扶養率（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成13年 (75歳以上を除く)	18年 (75歳以上を除く)	23年	13～18①	18～23②	差②－①
総数	0.434	0.429	0.412	-	-	-
15～19歳	0.025	0.019	0.016	-	-	-
20～24	0.088	0.084	0.073	0.060	0.055	-0.005
25～29	0.222	0.211	0.192	0.123	0.108	-0.015
30～34	0.401	0.369	0.332	0.147	0.121	-0.026
35～39	0.495	0.454	0.414	0.053	0.045	-0.008
40～44	0.499	0.481	0.438	-0.014	-0.017	-0.003
45～49	0.481	0.471	0.436	-0.028	-0.044	-0.017
50～54	0.489	0.478	0.442	-0.004	-0.029	-0.025
55～59	0.547	0.534	0.490	0.044	0.012	-0.032
60～64	0.620	0.633	0.599	0.086	0.065	-0.021
65～69	0.653	0.655	0.642	0.035	0.009	-0.025
70～74	0.615	0.611	0.582	-0.042	-0.073	-0.031

(2) 組合健保

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成13年 (75歳以上を除く)	18年 (75歳以上を除く)	23年	13～18①	18～23②	差②－①
総数	0.527	0.498	0.476	-	-	-
15～19歳	0.017	0.000	0.016	-	-	-
20～24	0.076	0.045	0.057	0.028	0.057	0.029
25～29	0.196	0.167	0.171	0.090	0.126	0.036
30～34	0.420	0.374	0.361	0.177	0.195	0.017
35～39	0.597	0.529	0.472	0.109	0.098	-0.010
40～44	0.656	0.591	0.535	-0.006	0.006	0.011
45～49	0.658	0.618	0.562	-0.038	-0.029	0.008
50～54	0.662	0.633	0.585	-0.025	-0.033	-0.008
55～59	0.710	0.680	0.634	0.019	0.001	-0.018
60～64	0.746	0.752	0.710	0.042	0.029	-0.013
65～69	0.771	0.781	0.778	0.036	0.026	-0.010
70～74	0.719	0.797	0.771	0.026	-0.010	-0.036

(参考) 事業所の業態別・規模別事業所数、被保険者数の構成割合

厚生年金保険業態別規模別適用状況調を用いて、協会（一般）の任意継続被保険者以外の者について、事業所の業態分類別、規模別に事業所数及び被保険者数の構成割合を示したものが表23である。

事業所数については、事業所規模5人未満の事業所が全体の約6割、50人未満の事業所が全体の95%以上を占めている。これを業態別にみると、いずれの業態も事業所規模5人未満の事業所の割合が最も高くなっており、特に不動産業・物品賃貸業については、事業所規模5人未満の事業所が8割強、50人未満で約99%を占めている。

また、被保険者数については、事業所規模10～49人が最も高くなっており、約3割を占めている。これを業態別にみると、多くの業態で10～49人が最も高い割合を占めているが、医療・福祉、複合サービス業及び公務については、事業所規模100人以上の割合の方が高くなっている。

表23 事業所の業態分類別・規模別構成割合（協会（一般）、平成23年9月1日現在）

(1) 事業所数

	計	1～4人	5～9	10～49	50～99	100～299	300～499	500～999	1000人以上
総数	100.0%	59.1%	18.8%	18.1%	2.3%	1.3%	0.2%	0.1%	0.0%
農林水産業	100.0%	55.8%	23.6%	18.4%	1.6%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%
鉱業・採石業・砂利採取業	100.0%	41.7%	22.9%	32.3%	2.4%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%
建設業	100.0%	61.7%	21.4%	15.9%	0.8%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
製造業	100.0%	46.4%	20.9%	26.4%	3.8%	2.1%	0.3%	0.1%	0.0%
食料品	100.0%	43.2%	20.0%	27.6%	4.9%	3.3%	0.5%	0.3%	0.1%
繊維工業・繊維製品	100.0%	55.7%	18.3%	21.9%	2.8%	1.2%	0.1%	0.0%	0.0%
木材・木製品	100.0%	56.3%	21.4%	19.8%	1.6%	0.9%	0.1%	0.0%	0.0%
化学工業	100.0%	42.2%	20.4%	29.7%	4.6%	2.5%	0.3%	0.1%	0.0%
金属工業	100.0%	43.5%	23.5%	28.0%	3.2%	1.6%	0.2%	0.1%	0.0%
機械器具	100.0%	41.9%	20.9%	29.1%	4.7%	2.8%	0.4%	0.2%	0.1%
その他の	100.0%	51.4%	20.6%	23.5%	2.9%	1.3%	0.1%	0.1%	0.0%
電気・ガス・熱供給・水道	100.0%	67.3%	16.9%	13.5%	1.4%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%
情報通信業	100.0%	66.3%	16.3%	15.0%	1.5%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%
運輸業・郵便業	100.0%	40.3%	18.2%	32.2%	5.4%	3.0%	0.4%	0.2%	0.1%
卸売業・小売業	100.0%	62.8%	19.3%	15.3%	1.6%	0.8%	0.1%	0.1%	0.0%
金融業・保険業	100.0%	73.4%	15.5%	8.7%	1.1%	1.1%	0.2%	0.1%	0.0%
不動産業・物品賃貸業	100.0%	82.7%	9.8%	6.4%	0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
学術研究、専門・技術サービス	100.0%	69.7%	17.2%	11.6%	0.9%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%
宿泊業・飲食サービス業	100.0%	63.9%	17.1%	15.8%	1.8%	1.0%	0.1%	0.1%	0.1%
生活関連サービス業・娯楽	100.0%	57.9%	18.1%	19.5%	2.8%	1.4%	0.2%	0.1%	0.0%
教育・学習支援業	100.0%	55.6%	16.9%	23.9%	2.0%	1.2%	0.2%	0.2%	0.1%
医療・福祉	100.0%	45.8%	19.1%	24.8%	5.6%	3.8%	0.6%	0.3%	0.1%
複合サービス業	100.0%	72.5%	11.8%	9.9%	1.9%	2.0%	1.1%	0.7%	0.2%
サービス業	100.0%	61.6%	18.7%	16.0%	2.0%	1.2%	0.2%	0.1%	0.1%
公務	100.0%	46.9%	16.5%	21.9%	5.2%	6.2%	1.8%	1.1%	0.4%

(2) 被保険者数

	計	1～4人	5～9	10～49	50～99	100～299	300～499	500～999	1000人以上
総数	100.0%	8.7%	10.4%	30.1%	13.2%	17.7%	6.5%	6.2%	7.2%
農林水産業	100.0%	12.4%	17.2%	37.1%	11.6%	9.3%	2.3%	2.2%	7.9%
鉱業・採石業・砂利採取業	100.0%	7.0%	13.4%	53.1%	13.8%	9.0%	3.7%	0.0%	0.0%
建設業	100.0%	15.9%	22.0%	44.1%	8.1%	5.9%	1.5%	1.3%	1.1%
製造業	100.0%	5.6%	8.5%	33.3%	15.9%	20.4%	6.4%	5.1%	4.7%
食料品	100.0%	3.7%	5.9%	26.0%	15.1%	23.5%	9.3%	8.7%	7.7%
繊維工業・繊維製品	100.0%	9.1%	11.1%	39.3%	17.5%	16.8%	2.2%	2.9%	1.0%
木材・木製品	100.0%	11.6%	15.5%	41.6%	11.6%	14.9%	2.8%	0.0%	1.9%
化学工業	100.0%	4.6%	7.5%	33.9%	17.4%	21.6%	7.2%	4.9%	2.8%
金属工業	100.0%	6.4%	11.1%	40.5%	15.7%	17.6%	4.5%	2.5%	1.6%
機械器具	100.0%	4.3%	7.0%	30.8%	16.3%	22.5%	7.4%	5.8%	5.7%
その他	100.0%	7.9%	10.8%	37.4%	15.9%	15.9%	4.0%	3.6%	4.5%
電気・ガス・熱供給・水道	100.0%	11.8%	13.9%	33.1%	11.6%	13.5%	4.1%	4.0%	8.0%
情報通信業	100.0%	13.1%	13.1%	35.4%	12.7%	14.2%	5.3%	2.9%	3.4%
運輸業・郵便業	100.0%	2.8%	5.3%	29.6%	15.9%	20.8%	6.4%	6.9%	12.3%
卸売業・小売業	100.0%	12.4%	13.2%	30.8%	11.2%	14.0%	4.7%	5.6%	8.1%
金融業・保険業	100.0%	15.0%	11.0%	18.9%	8.4%	19.4%	7.7%	9.9%	9.7%
不動産業・物品賃貸業	100.0%	27.3%	13.2%	25.9%	8.3%	10.5%	3.7%	5.2%	5.9%
学術研究・専門・技術サービス	100.0%	19.0%	16.9%	32.7%	9.8%	11.0%	3.7%	3.8%	3.1%
宿泊業・飲食サービス業	100.0%	10.0%	10.4%	29.2%	11.8%	14.6%	5.3%	5.9%	12.8%
生活関連サービス業・娯楽	100.0%	8.1%	9.5%	32.0%	15.3%	17.4%	6.5%	6.6%	4.6%
教育・学習支援業	100.0%	7.2%	8.1%	35.2%	9.5%	13.3%	6.7%	10.4%	9.7%
医療・福祉	100.0%	3.1%	5.5%	23.4%	17.2%	27.5%	10.2%	7.8%	5.3%
複合サービス業	100.0%	5.1%	3.5%	9.3%	5.9%	16.8%	18.9%	21.2%	19.4%
サービス業	100.0%	9.1%	10.1%	26.0%	11.5%	16.1%	6.6%	7.4%	13.3%
公務	100.0%	2.0%	2.6%	11.4%	8.8%	25.6%	16.5%	17.5%	15.7%

資料出所：厚生年金保険 業態別規模別適用状況調(平成23年9月) (厚生労働省年金局)

第3章 調査結果の概要（船員保険被保険者実態調査）

本調査では、船員保険の全ての被保険者（60,457人）及び異動者（92,971人）について集計を行った。

1. 加入者の年齢構成

船員保険の加入者の年齢構成について、わが国の総人口の年齢構成と比較したものが表1、図1－1及び図1－2である。

船員保険の加入者の年齢構成を総人口の年齢構成と比較すると、20歳未満では総人口の17.8%に対し24.0%と高いが、20歳以上40歳未満では総人口の24.6%に比べ23.8%と逆に低くなっている。また、40歳以上65歳未満では、総人口の34.3%に対し46.2%と高くなっており、さらに65歳以上75歳未満では、総人口の11.8%に対し、5.8%と低くなっている。

また、年齢階級別の構成割合をみると、20歳代前半以前及び40歳代後半から60歳代前半までは総人口を上回っているが、それ以降の年齢階級では逆に総人口を下回っている。

さらに、船員保険の強制適用の加入者の年齢構成について、適用区分別に比較してみると、どの区分も概ね同じような構成割合となっているが、汽船等及び漁船（ろ）については、一つ目のピークが15歳以上20歳未満であるのに対し、漁船（い）については20歳以上25歳未満で一つめのピークを迎えている。

表1 総人口及び船員保険加入者の年齢構成（平成23年10月1日現在）

（単位：％）

年 齢 階 級	総人口	船員保険	（再掲） 汽船等	（再掲） 漁船（い）	（再掲） 漁船（ろ）
総 数	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (65.8)	100.0 (2.1)	100.0 (28.1)
0～4歳	4.2	4.8	4.9	5.0	5.1
5～9	4.3	5.0	5.2	4.5	4.9
10～14	4.6	6.3	6.6	5.5	6.1
15～19	4.8	8.0	8.5	6.1	7.7
20～24	5.0	7.3	7.4	8.8	7.4
25～29	5.7	5.3	5.2	8.4	5.7
30～34	6.3	5.3	5.3	6.8	5.6
35～39	7.6	5.9	6.4	7.1	5.3
40～44	7.3	6.5	6.9	7.6	6.1
45～49	6.2	7.2	7.4	7.0	7.2
50～54	6.0	9.5	9.7	10.8	9.6
55～59	6.5	12.6	12.5	11.2	12.2
60～64	8.3	10.4	9.0	7.7	10.7
65～69	6.2	3.6	3.0	2.0	3.7
70～74	5.6	2.2	1.9	1.7	2.4
75歳以上	11.5	0.2	0.2	0.0	0.2
（再 掲）					
0～19	17.8	24.0	25.2	21.1	23.8
うち未就学児	5.8	6.2	6.3	6.0	6.6
20～39	24.6	23.8	24.3	31.0	24.0
40～64	34.3	46.2	45.5	44.2	45.9
65～74	11.8	5.8	5.0	3.7	6.0
平均年齢（歳）	—	38.8	37.9	37.4	38.8

（注1） 「総人口」は、総務省統計局「平成23年10月1日現在推計人口」を用いている。

（注2） カッコ内は総数に対する割合である。

図 1－1 船員保険加入者の年齢構成（平成23年10月1日現在）

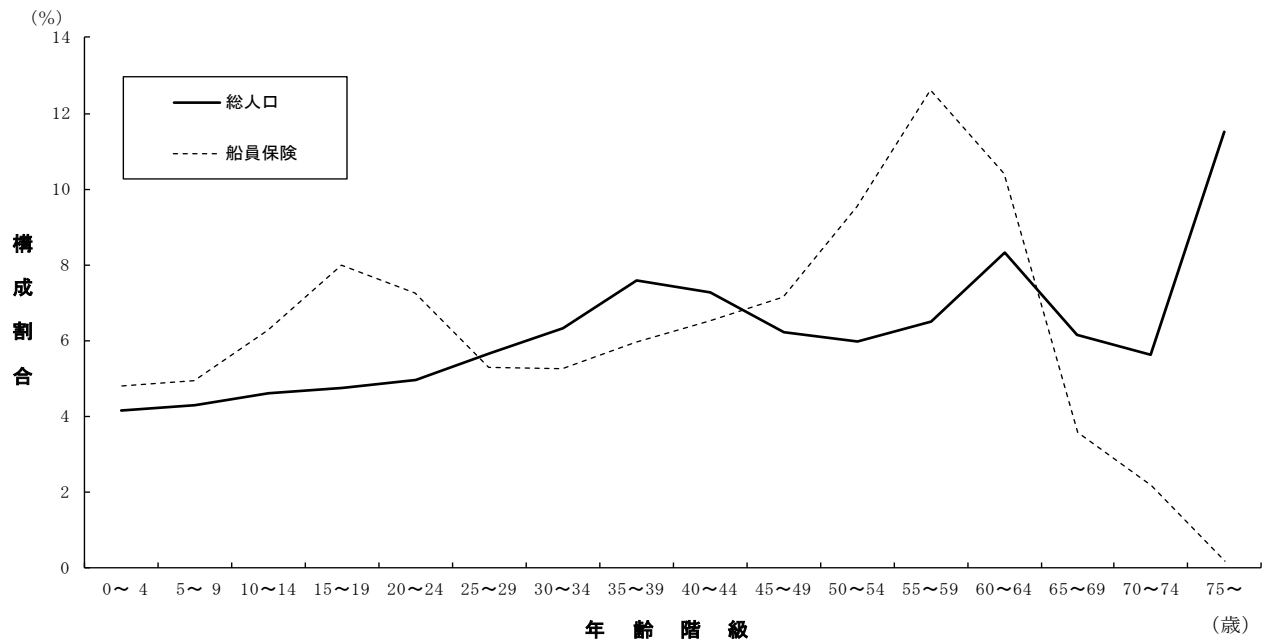
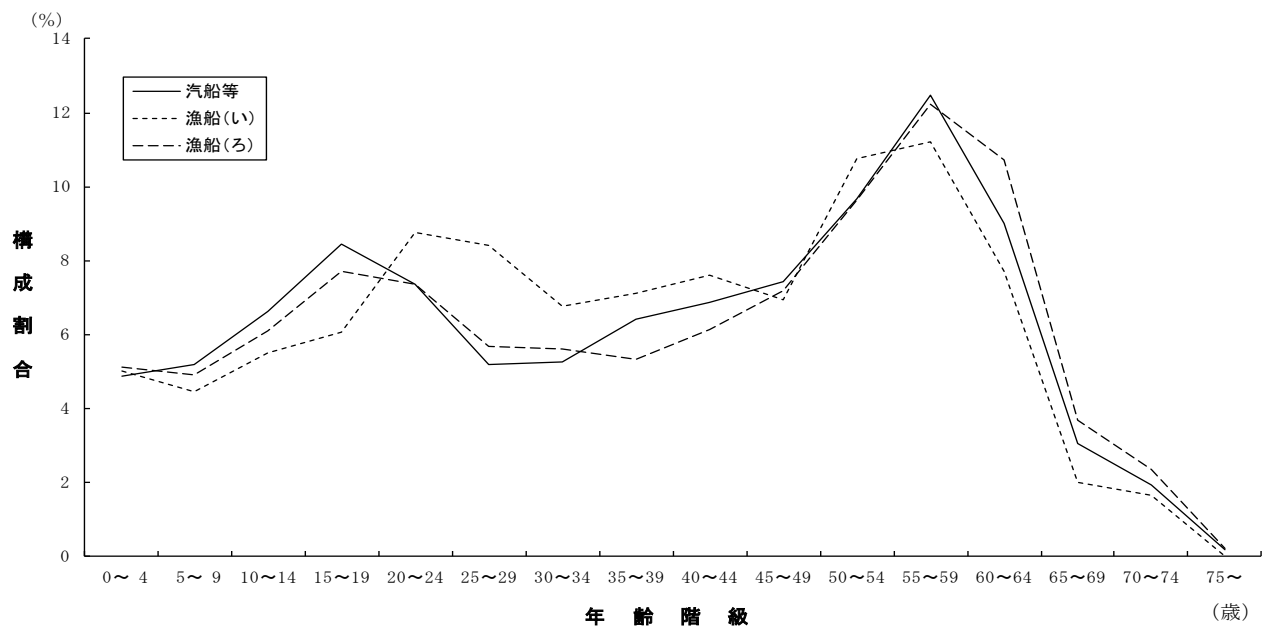


図 1－2 船員保険強制適用加入者の年齢構成（平成23年10月1日現在）



2. 被保険者の年齢構成

被保険者の年齢階級別構成割合及び平均年齢について、平成15年以降の推移を示したものが表2である。なお、平成20年以前の船員保険被保険者実態調査における疾病任意継続被保険者に係る分は3年に1度の調査であったため、疾病任意継続被保険者の調査が行われた年次のみを記載している。

20歳未満の構成割合は、概ね横ばいであり、平成23年は、1.0%となっている。20～39歳の年齢構成は増加傾向にあり、平成23年では29.0%となっている。40～64歳の年齢構成は減少傾向となっており、平成23年では63.6%となっている。65～74歳の年齢構成は増加傾向となっており、平成23年は6.0%となっている。

また、平成23年の年齢構成を男女別にみると、男性では55～59歳の割合が最も高く18.5%、次に60～64歳の14.6%、50～54歳の12.7%となっており、50～64歳で半数弱を占めている。女性では20～24歳の割合が最も高く28.5%、次に25～29歳の21.6%となっており、20歳代で半数を占めている。

次に、船舶種別にみると、全ての区分で55～59歳が最も高くなっており、汽船等は18.9%、漁船（い）は14.7%、漁船（ろ）は17.4%となっている。

なお、平均年齢は長期的に上昇傾向にあったが、平成23年は一転低下しており47.8歳となっている。男女別の平均年齢は、男性が48.0歳、女性が34.3歳、また、強制適用の種別にみると、汽船等が47.4歳、漁船（い）が43.6歳、漁船（ろ）が47.2歳となっている。

表2 被保険者の年齢構成（各年10月1日現在）

（単位：%）

年齢階級	平成15年	平成18年	平成22年	平成23年					
				総数	男性	女性	（再掲） 汽船等	（再掲） 漁船（い）	（再掲） 漁船（ろ）
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (98.5)	100.0 (1.5)	100.0 (63.8)	100.0 (2.4)	100.0 (29.3)
15～19歳	0.9	0.8	0.9	1.0	1.0	3.9	0.7	0.8	2.0
20～24	5.0	5.3	6.3	6.9	6.6	28.5	6.7	9.5	8.1
25～29	6.0	5.9	6.8	6.9	6.7	21.6	7.2	11.1	6.9
30～34	6.5	6.9	7.2	7.1	7.1	12.0	7.3	10.1	7.3
35～39	7.3	7.5	7.9	8.0	8.0	6.3	8.9	9.7	7.0
40～44	9.3	8.5	8.5	8.7	8.7	7.0	9.4	10.1	8.0
45～49	13.9	11.5	10.0	9.5	9.6	3.7	9.9	9.2	9.6
50～54	23.2	18.3	13.5	12.6	12.7	4.0	12.9	13.6	13.0
55～59	17.3	23.0	19.3	18.3	18.5	4.9	18.9	14.7	17.4
60～64	7.0	7.4	13.4	14.5	14.6	4.3	12.8	9.0	14.4
65～69	2.6	3.5	4.4	4.4	4.4	2.1	3.6	1.6	4.3
70～74	0.8	1.1	1.5	1.6	1.6	1.2	1.3	0.4	1.5
75歳以上	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	-	0.4
（再 掲）									
20～39歳	24.7	25.7	28.1	29.0	28.4	68.4	30.0	40.5	29.3
40～64	70.8	68.7	64.7	63.6	64.2	24.0	64.0	56.7	62.3
65～74	3.4	4.6	5.9	6.0	6.1	3.3	5.0	2.0	5.9
平均年齢（歳）	47.3	47.9	48.0	47.8	48.0	34.3	47.4	43.6	47.2

（注1）平成22年以前の数値は、男女総数のものである。□

（注2）カッコ内は総数に対する割合である。□

3. 被扶養者の年齢構成

被扶養者の年齢構成について、平成15年以降の推移を示したものが表3である。なお、平成20年以前の船員保険被保険者実態調査における疾病任意継続被保険者に係る分は3年に1度の調査であったため、疾病任意継続被保険者の調査が行われた年次のみを記載している。

被扶養者の19歳以下及び20～39歳の割合は減少傾向にあったが、平成23年はそれぞれ42.6%、19.6%となっており概ね横ばいとなっている。一方、40～64歳の割合は増加傾向にあり、平成23年では32.3%となっている。65～74歳の割合は、平成23年では5.5%と概ね横ばいとなっている。

また、被扶養者の年齢構成を船舶種別にみると、どの適用区分においても概ね総数とほぼ同じ傾向にある。

表3 被扶養者の年齢構成（各年10月1日現在）

（単位：%）

年齢階級	平成15年	平成18年	平成22年	平成23年			
				総数	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (67.5)	100.0 (1.8)	100.0 (27.1)
0～4歳	6.6	6.6	8.3	8.7	8.6	10.3	9.6
5～9	8.6	8.3	9.1	9.0	9.2	9.2	9.2
10～14	11.1	11.1	11.6	11.4	11.7	11.4	11.4
15～19	14.2	13.0	13.7	13.6	14.4	11.7	12.7
20～24	7.9	7.3	7.5	7.5	7.9	7.9	6.7
25～29	3.0	3.1	3.8	4.0	3.7	5.5	4.6
30～34	3.0	3.2	3.7	3.8	3.7	3.2	4.1
35～39	3.6	3.7	4.3	4.3	4.5	4.3	3.9
40～44	4.6	4.2	4.6	4.7	5.0	4.9	4.5
45～49	6.4	5.8	5.5	5.3	5.5	4.6	5.1
50～54	8.5	7.8	7.3	7.0	7.2	7.7	6.7
55～59	5.3	7.8	8.4	8.1	7.6	7.5	7.7
60～64	3.0	3.3	6.4	7.2	6.1	6.3	7.5
65～69	2.4	2.6	3.1	2.9	2.6	2.5	3.1
70～74	2.9	2.8	2.7	2.6	2.4	3.0	3.1
75歳以上	9.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)							
0～19歳	40.4	39.1	42.7	42.6	43.9	42.6	42.9
うち未就学児	10.8	11.2	11.1	12.5	12.3
20～39	17.5	17.3	19.3	19.6	19.8	21.0	19.4
40～64	27.7	28.8	32.3	32.3	31.3	31.0	31.6
65～74	5.3	5.4	5.8	5.5	4.9	5.5	6.2

（注1）平成20年以降は原則75歳以上の者がいなくなるため、比較をする際には注意を要する。□

（注2）カッコ内は総数に対する割合である。

次に、平成23年における被扶養者の続柄別の年齢構成を示したものが表4である。

被扶養者全体に占める子の割合は52.4%となっている。また、子の大半は20歳未満となっており、20歳以上の子の割合は10.3%となっている。配偶者の割合は41.7%であり、55～59歳の階級が最も多くなっている。直系尊属は4.4%であり、60歳以上が大半を占めており、年齢の上昇とともに割合も増加している。

また、その他の被扶養者（兄弟姉妹等）は1.5%であり、各年齢階級に分布している。

表4 被扶養者の続柄別年齢構成（平成23年10月1日現在）

（単位：％）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	52.4	41.7	4.4	1.5
0～4歳	8.7	8.6	0.0	0.0	0.0
5～9	9.0	8.9	0.0	0.0	0.1
10～14	11.4	11.2	0.0	0.0	0.1
15～19	13.6	13.4	0.0	0.0	0.1
20～24	7.5	6.9	0.6	0.0	0.2
25～29	4.0	2.1	1.8	0.0	0.1
30～34	3.8	0.8	2.9	0.0	0.0
35～39	4.3	0.4	3.9	0.0	0.0
40～44	4.7	0.1	4.6	0.0	0.0
45～49	5.3	0.0	5.1	0.1	0.1
50～54	7.0	0.0	6.8	0.1	0.1
55～59	8.1	0.0	7.6	0.3	0.1
60～64	7.2	0.0	6.1	0.9	0.1
65～69	2.9	0.0	1.7	1.1	0.1
70～74	2.6	0.0	0.5	1.9	0.1
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
（再掲）未就学児	11.2	11.1	0.0	0.0	0.1

4. 年齢階級別扶養率

被保険者の年齢階級別にみた被保険者1人当たり被扶養者数（扶養率）の平成15年以降の推移を示したものが表5であり、平成23年の総数及び船舶種別の状況をグラフにしたのが図2である。なお、平成20年以前の船員保険被保険者実態調査における疾病任意継続被保険者に係る分は3年に1度の調査であったため、疾病任意継続被保険者の調査が行われた年次のみを記載している。

年齢計でみた扶養率は長期的に減少傾向にあり、平成23年は1.241となっている。年齢階級別に扶養率の最近の動きを見ると、ピークとなる年齢階級は40～44歳で毎年同じである。

平成23年の年齢階級別扶養率を男女別にみると、男性については年齢の上昇とともに概ね増加し、40～44歳でピークとなり、1.939である。それ以降は年齢の上昇とともに減少に転じており、平均扶養率は1.259となっている。女性の扶養率は、全年齢階級で男性より低く、平均扶養率は、0.068となっている。

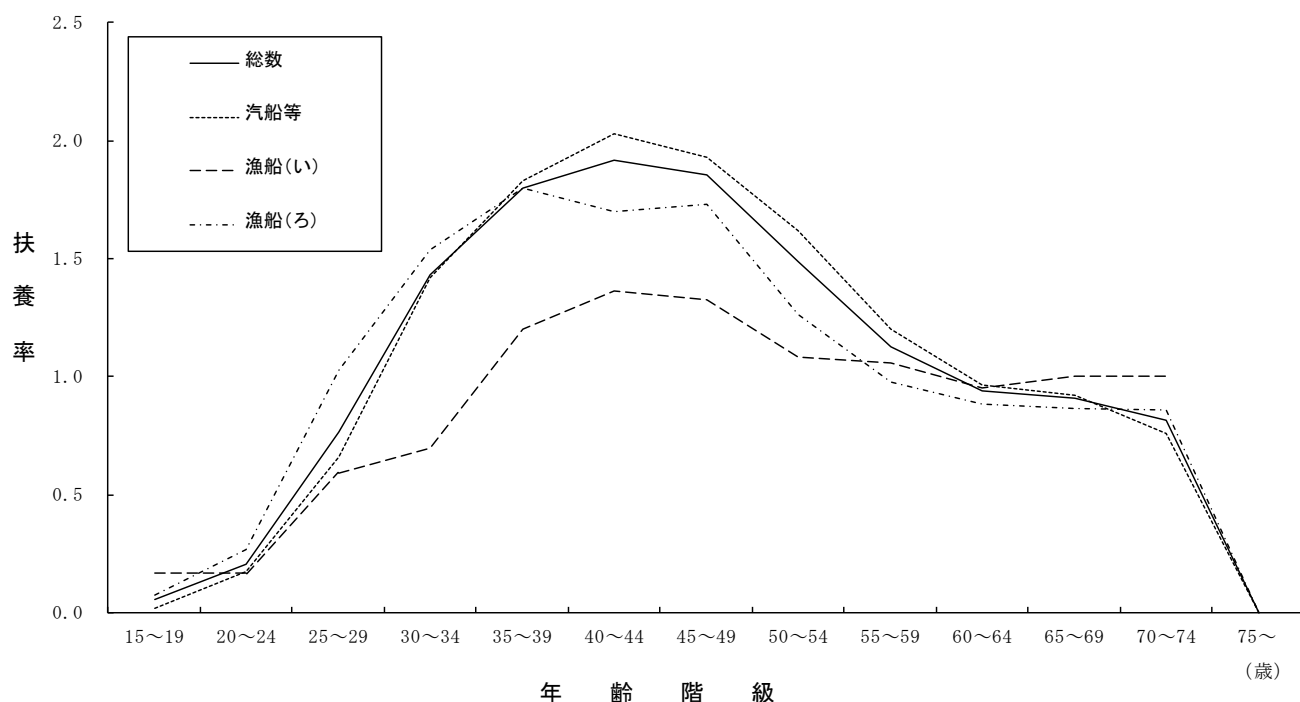
また、強制適用の区分別にみると、平均扶養率は汽船等が1.311、漁船（い）が0.940、漁船（ろ）が1.146となっている。年齢階級別にみると、年齢の上昇とともに概ね増加し、汽船等及び漁船（い）は40～44歳、漁船（ろ）は35～39歳でピークを迎え、その後減少に転じている。

表5 被保険者の年齢階級別扶養率（各年10月1日現在）

年齢階級	平成15年	平成18年	平成22年	平成23年					
				総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	1.652	1.524	1.268	1.241	1.259	0.068	1.311	0.940	1.146
15～19歳	0.090	0.062	0.046	0.053	0.056	0.000	0.020	0.167	0.072
20～24	0.249	0.241	0.219	0.206	0.219	0.011	0.173	0.165	0.267
25～29	0.824	0.821	0.770	0.766	0.802	0.045	0.658	0.593	1.028
30～34	1.549	1.457	1.456	1.432	1.467	0.108	1.417	0.696	1.536
35～39	2.143	1.970	1.819	1.801	1.821	0.121	1.829	1.204	1.801
40～44	2.396	2.247	1.971	1.919	1.939	0.277	2.033	1.365	1.697
45～49	2.353	2.223	1.907	1.853	1.862	0.235	1.931	1.328	1.731
50～54	1.859	1.821	1.498	1.490	1.497	0.027	1.616	1.085	1.265
55～59	1.401	1.350	1.119	1.127	1.131	0.089	1.203	1.056	0.980
60～64	1.060	1.076	0.938	0.937	0.941	0.000	0.963	0.955	0.883
65～69	0.968	0.924	0.886	0.909	0.915	0.000	0.924	1.000	0.868
70～74	0.908	0.887	0.831	0.813	0.821	0.091	0.757	1.000	0.858
75歳以上	0.887	0.810	0.010	0.000	0.000	0.000	0.000	-	0.000

(注) 平成22年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

図2 被保険者の年齢階級別扶養率（平成23年10月1日現在）



次に、平成23年における被保険者の年齢階級別扶養率を続柄別に示したものが表6である。年齢階級総数における続柄別の扶養率をみると、子は0.650、配偶者は0.517、直系尊属は0.055、その他は0.018となっている。

被保険者の年齢階級別にみた子の扶養率は山型をなしており、ピークは40～44歳の1.233、である。配偶者の扶養率は年齢の上昇とともに上昇する傾向にあり、65～69歳で0.757と最も高くなっている。直系尊属の扶養率は年齢階級別にみると山型をなしており、40～44歳で0.160とピークを迎えている。

表6 被保険者の年齢階級別、続柄別扶養率（平成23年10月1日現在）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	1.241	0.650	0.517	0.055	0.018
15～19歳	0.053	0.010	0.014	0.018	0.011
20～24	0.206	0.086	0.077	0.030	0.013
25～29	0.766	0.428	0.267	0.060	0.012
30～34	1.432	0.890	0.441	0.091	0.009
35～39	1.801	1.151	0.496	0.137	0.017
40～44	1.919	1.233	0.500	0.160	0.025
45～49	1.853	1.183	0.520	0.125	0.025
50～54	1.490	0.875	0.554	0.038	0.023
55～59	1.127	0.485	0.620	0.004	0.018
60～64	0.937	0.226	0.693	0.000	0.017
65～69	0.909	0.124	0.766	0.000	0.018
70～74	0.813	0.077	0.723	0.000	0.014
75歳以上	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

5. 標準報酬月額別扶養率

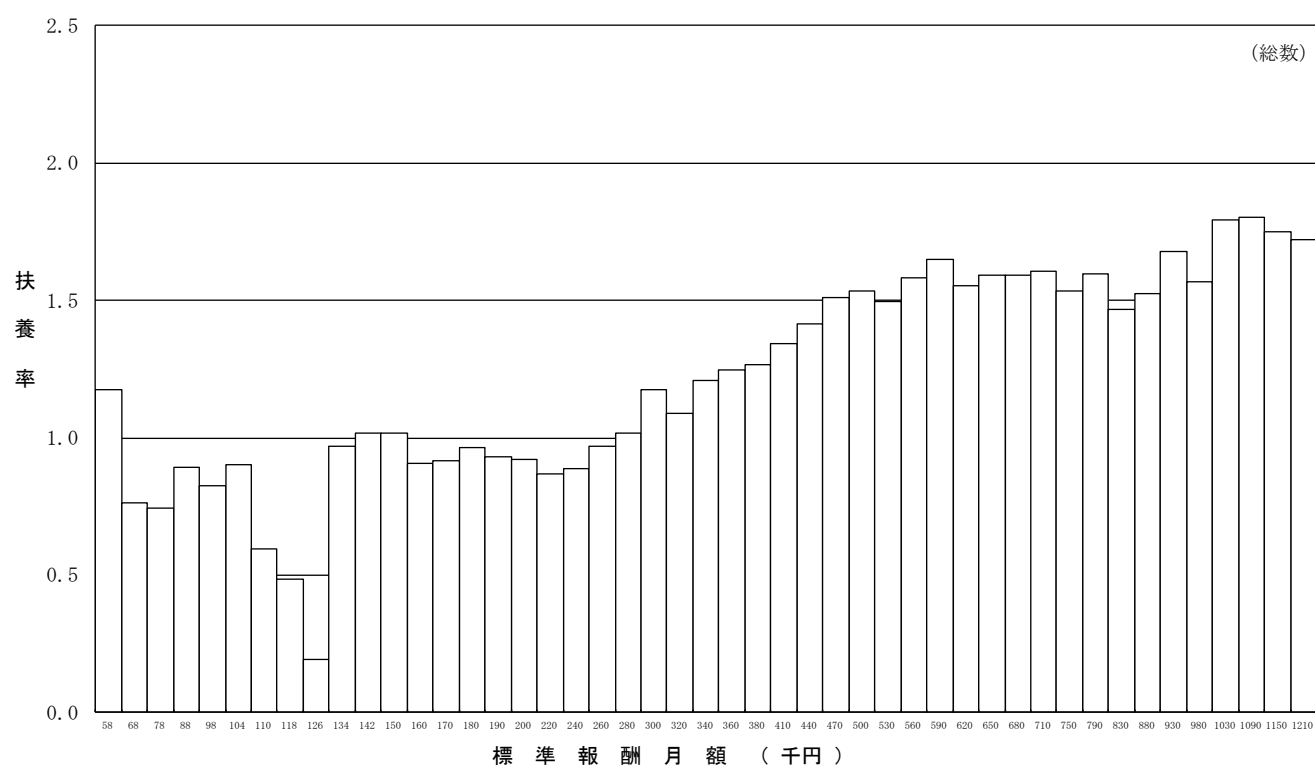
標準報酬月額別にみた扶養率を示したものが表7及び図3である。男性についてみると、概ね標準報酬月額が20万円程度から50万円程度の間で、標準報酬月額の上昇とともに扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは標準報酬月額109万円の1.801となっている。

また、船舶種別にみると、概ね男性と同様の傾向となっており、扶養率が最も高いのは汽船等が標準報酬月額109万円の2.154、漁船（い）が標準報酬月額93万円及び115万円の3.000、漁船（ろ）が標準報酬月額103万円の1.782となっている。

表7 標準報酬月額別扶養率（平成23年10月1日現在）

標準報酬月額	総 数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	1.241	1.259	0.068	1.311	0.940	1.146
58,000 円	1.177	1.184	0.000	0.939	0.889	1.386
68,000	0.764	0.764	－	0.571	－	0.786
78,000	0.744	0.778	0.444	0.705	－	0.727
88,000	0.892	0.922	0.000	0.800	－	0.887
98,000	0.823	0.847	0.050	0.837	1.400	0.634
104,000	0.904	0.910	0.000	0.853	0.250	1.000
110,000	0.596	0.611	0.000	0.786	－	0.500
118,000	0.485	0.492	0.000	0.627	－	0.447
126,000	0.194	0.193	0.333	0.935	0.000	0.119
134,000	0.971	0.979	0.000	1.082	0.333	0.964
142,000	1.018	1.036	0.000	0.519	0.000	1.083
150,000	1.019	1.038	0.000	0.762	0.455	1.119
160,000	0.907	0.934	0.143	0.604	0.500	0.969
170,000	0.917	0.972	0.262	0.749	1.167	1.025
180,000	0.962	1.003	0.067	0.836	0.455	1.013
190,000	0.933	0.951	0.154	0.708	1.000	1.051
200,000	0.919	0.946	0.113	0.783	0.654	1.021
220,000	0.870	0.954	0.007	0.735	0.744	1.012
240,000	0.890	0.920	0.071	0.795	0.492	1.038
260,000	0.968	0.998	0.038	0.913	0.436	1.122
280,000	1.015	1.039	0.000	0.976	0.768	1.145
300,000	1.175	1.197	0.013	1.214	0.702	1.166
320,000	1.090	1.102	0.065	1.111	0.859	1.068
340,000	1.209	1.222	0.032	1.226	1.271	1.168
360,000	1.247	1.258	0.097	1.280	1.194	1.176
380,000	1.265	1.271	0.185	1.358	1.198	1.404
410,000	1.342	1.350	0.040	1.386	1.000	1.191
440,000	1.415	1.422	0.100	1.479	1.068	1.206
470,000	1.510	1.513	0.125	1.562	1.055	1.340
500,000	1.535	1.537	0.429	1.594	1.110	1.384
530,000	1.495	1.503	0.000	1.526	0.885	1.442
560,000	1.582	1.587	0.000	1.615	1.387	1.454
590,000	1.649	1.655	0.000	1.682	0.765	1.592
620,000	1.553	1.556	0.000	1.595	1.412	1.433
650,000	1.591	1.597	0.000	1.567	1.167	1.731
680,000	1.593	1.594	1.000	1.618	1.353	1.550
710,000	1.606	1.616	0.000	1.673	1.182	1.476
750,000	1.537	1.537	－	1.601	0.909	1.435
790,000	1.599	1.599	－	1.663	1.667	1.513
830,000	1.468	1.468	－	1.642	1.429	1.221
880,000	1.523	1.528	0.000	1.518	1.500	1.528
930,000	1.679	1.679	－	1.786	3.000	1.551
980,000	1.566	1.566	－	1.620	1.500	1.522
1,030,000	1.791	1.791	－	1.821	0.000	1.782
1,090,000	1.801	1.801	－	2.154	0.000	1.553
1,150,000	1.752	1.752	－	2.127	3.000	1.389
1,210,000	1.719	1.723	0.500	2.106	1.444	1.501

図3 標準報酬月額別扶養率（平成23年10月1日現在）



6. 総報酬額階級別扶養率

被保険者の標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額（平成22年10月1日から平成23年9月30日までの12ヶ月間に支払われたもの）を加えたものを総報酬額とし、その総報酬額階級別に扶養率を示したものが表8である。男性についてみると、概ね総報酬が100万円程度から900万円程度の間で、総報酬額の上昇に伴い扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは1,850万円以上1,900万円未満の2.667となっている。

また、船舶種別にみると、総数と同様の傾向を示しており、扶養率が最も高いのは汽船等で1,850万円以上1,900万円未満の2.750、漁船（い）で1,350万円以上1,400万円未満の2.667、漁船（ろ）で1,750万円以上1,800万円未満の5.000となっている。

表8 総報酬額階級別扶養率（平成23年10月1日現在）

総報酬額階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総数	1.241	1.259	0.068	1.311	0.940	1.146
～ 999,000 円	1.049	1.064	0.400	0.848	0.750	1.220
1,000,000 ～ 1,499,000	0.704	0.720	0.028	0.813	1.000	0.570
1,500,000 ～ 1,999,000	0.782	0.790	0.097	0.794	0.333	0.756
2,000,000 ～ 2,499,000	0.948	0.979	0.165	0.810	0.610	1.021
2,500,000 ～ 2,999,000	0.921	0.958	0.014	0.805	0.663	1.039
3,000,000 ～ 3,499,000	0.971	1.014	0.043	0.895	0.617	1.131
3,500,000 ～ 3,999,000	1.130	1.155	0.000	1.173	0.702	1.097
4,000,000 ～ 4,499,000	1.119	1.134	0.071	1.151	0.738	1.099
4,500,000 ～ 4,999,000	1.177	1.185	0.080	1.220	0.924	1.234
5,000,000 ～ 5,499,000	1.260	1.273	0.087	1.282	1.007	1.209
5,500,000 ～ 5,999,000	1.366	1.372	0.143	1.379	1.074	1.360
6,000,000 ～ 6,499,000	1.462	1.471	0.037	1.488	1.035	1.430
6,500,000 ～ 6,999,000	1.535	1.542	0.000	1.553	1.281	1.453
7,000,000 ～ 7,499,000	1.589	1.596	0.231	1.609	1.375	1.544
7,500,000 ～ 7,999,000	1.621	1.627	0.000	1.619	0.979	1.800
8,000,000 ～ 8,499,000	1.645	1.647	0.500	1.670	1.138	1.558
8,500,000 ～ 8,999,000	1.653	1.656	0.000	1.686	1.714	1.498
9,000,000 ～ 9,499,000	1.610	1.610	－	1.668	1.706	1.467
9,500,000 ～ 9,999,000	1.588	1.588	－	1.645	2.000	1.294
10,000,000 ～ 10,499,000	1.707	1.716	0.000	1.725	1.429	1.333
10,500,000 ～ 10,999,000	1.613	1.617	0.000	1.723	0.889	1.474
11,000,000 ～ 11,499,000	1.700	1.700	－	1.742	2.000	1.612
11,500,000 ～ 11,999,000	1.689	1.689	－	1.831	1.500	1.522
12,000,000 ～ 12,499,000	1.674	1.674	－	1.607	1.333	1.771
12,500,000 ～ 12,999,000	1.755	1.755	－	1.767	2.000	1.500
13,000,000 ～ 13,499,000	1.638	1.638	－	1.732	1.000	1.523
13,500,000 ～ 13,999,000	1.651	1.651	－	1.870	2.667	1.405
14,000,000 ～ 14,499,000	1.458	1.458	－	1.364	－	2.500
14,500,000 ～ 14,999,000	1.744	1.748	0.500	2.144	1.556	1.515
15,000,000 ～ 15,499,000	2.040	2.040	－	2.130	1.000	1.000
15,500,000 ～ 15,999,000	2.067	2.067	－	2.107	2.000	1.000
16,000,000 ～ 16,499,000	2.529	2.529	－	2.500	－	3.000
16,500,000 ～ 16,999,000	2.059	2.059	－	2.125	－	1.000
17,000,000 ～ 17,499,000	2.545	2.545	－	2.700	－	1.000
17,500,000 ～ 17,999,000	2.000	2.000	－	1.000	－	5.000
18,000,000 ～ 18,499,000	2.091	2.091	－	2.091	－	－
18,500,000 ～ 18,999,000	2.667	2.667	－	2.750	－	2.000
19,000,000 ～ 19,499,000	1.700	1.700	－	1.700	－	－
19,500,000 ～ 19,999,000	0.000	0.000	－	－	－	0.000
20,000,000 ～	1.333	1.333	－	－	－	1.333

(注)総報酬額は、標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額（平成22年10月1日から平成23年9月30日までの12ヶ月間に支払われたもの）を加えたものとしている。

7. 年齢階級別平均標準報酬月額

被保険者の年齢階級別にみた平均標準報酬月額を示したものが表9及び図4である。男性は年齢階級別にみると山型をなしており、ピークは50～54歳で、450,818円となっている。これを20歳未満の平均標準報酬月額と比較すると、約2.01倍となっている。また、45歳ごろまでの平均標準報酬月額は年齢階級の上昇とともに2～6万円程度増加するが、その後はそれより小幅な増加となり、55歳を過ぎると平均標準報酬月額は年齢とともに概ね減少する傾向となっている。

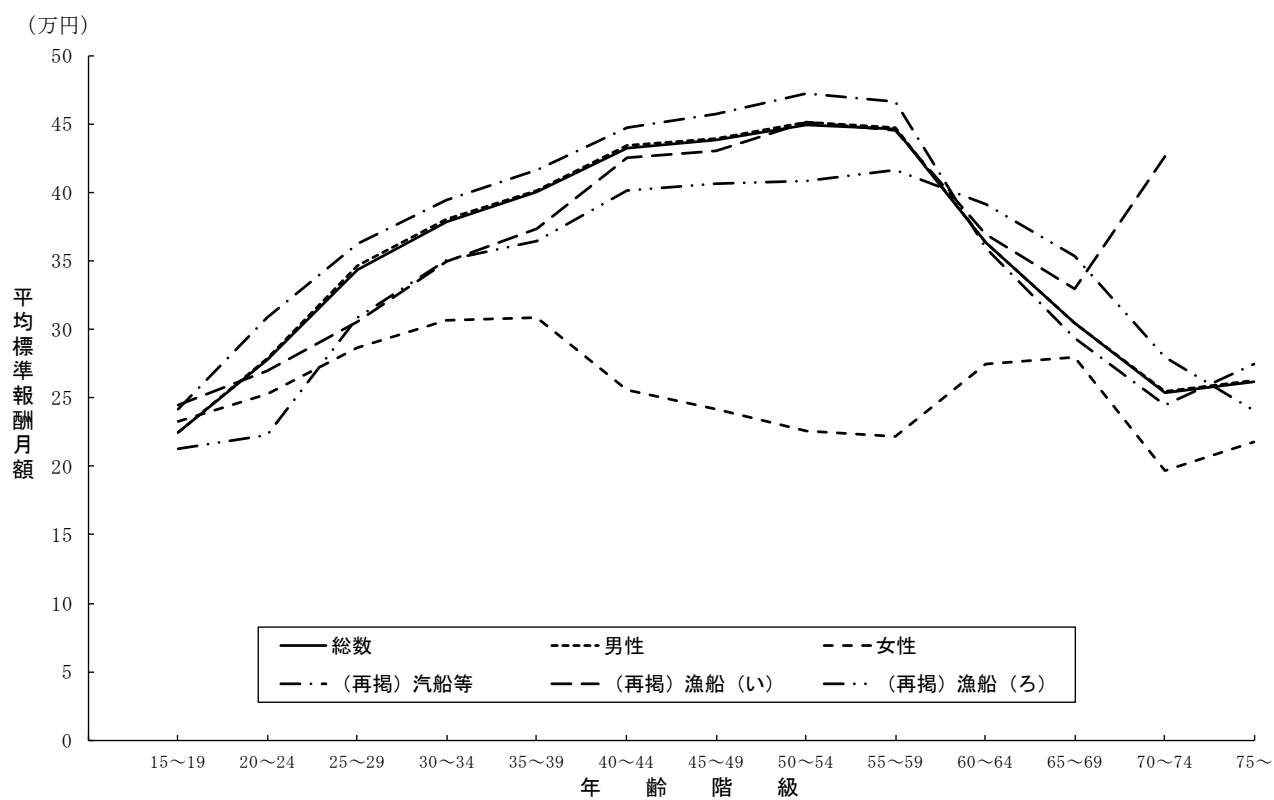
一方、女性の平均標準報酬月額は35～39歳と65～69歳でピークを迎え、35～39歳では308,724円、65～69歳では279,474円となっている。

また、船舶種別にみると、男性と同様に山型をなしており、汽船等は50～54歳、漁船（い）及び漁船（ろ）は55～59歳でピークを迎え、その時の平均標準報酬月額は汽船等が472,132円、漁船（い）が450,874円、漁船（ろ）が416,257円となっている。

表9 年齢階級別平均標準報酬月額（平成23年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
	円	円	円	円	円	円
総 数	393,175	395,123	267,341	411,557	383,427	368,248
15～19歳	225,125	224,639	233,056	241,270	245,000	213,161
20～24	277,295	278,921	253,103	308,681	270,043	222,450
25～29	343,587	346,431	286,673	362,078	305,494	308,758
30～34	378,544	380,440	306,631	394,151	349,797	350,801
35～39	400,414	401,525	308,724	416,320	373,761	364,097
40～44	431,933	434,129	256,092	447,059	425,459	401,659
45～49	438,294	439,465	241,294	457,107	430,448	406,264
50～54	449,727	450,818	226,270	472,132	450,874	408,785
55～59	446,625	447,545	221,644	466,426	445,636	416,257
60～64	363,550	363,957	275,000	359,707	369,258	391,508
65～69	304,795	304,978	279,474	294,087	329,130	353,100
70～74	253,988	254,629	196,909	244,799	426,667	279,693
75歳以上	262,164	262,995	217,500	274,241	—	240,333

図4 年齢階級別平均標準報酬月額（平成23年10月1日現在）



8. 年齢階級別平均標準賞与額

平成22年10月1日から平成23年9月30日の12ヶ月間に支払われた標準賞与額の平均を年齢階級別に示したものが表10及び図5である。

年齢階級別の分布をみると、男性は標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークは55～59歳で579,292円となっている。これを20歳未満の平均標準賞与額と比較すると約6.61倍となり、平均標準報酬月額の場合よりも比率が大きくなっている。女性の平均標準賞与額についても山型をなしており、ピークは30～34歳の455,092円となっている。

また、船舶種別にみると、汽船等及び漁船（い）については山型となっているが、漁船（ろ）については、20歳代後半から50歳までが比較的高い水準となっている。ピークは汽船等が50～54歳で迎え781,646円、漁船（い）は55～59歳の774,019円、漁船（ろ）40～44歳の113,560円となっている。なお、漁船（ろ）については大多数の者が賞与の支給を受けていないことに注意を要する。

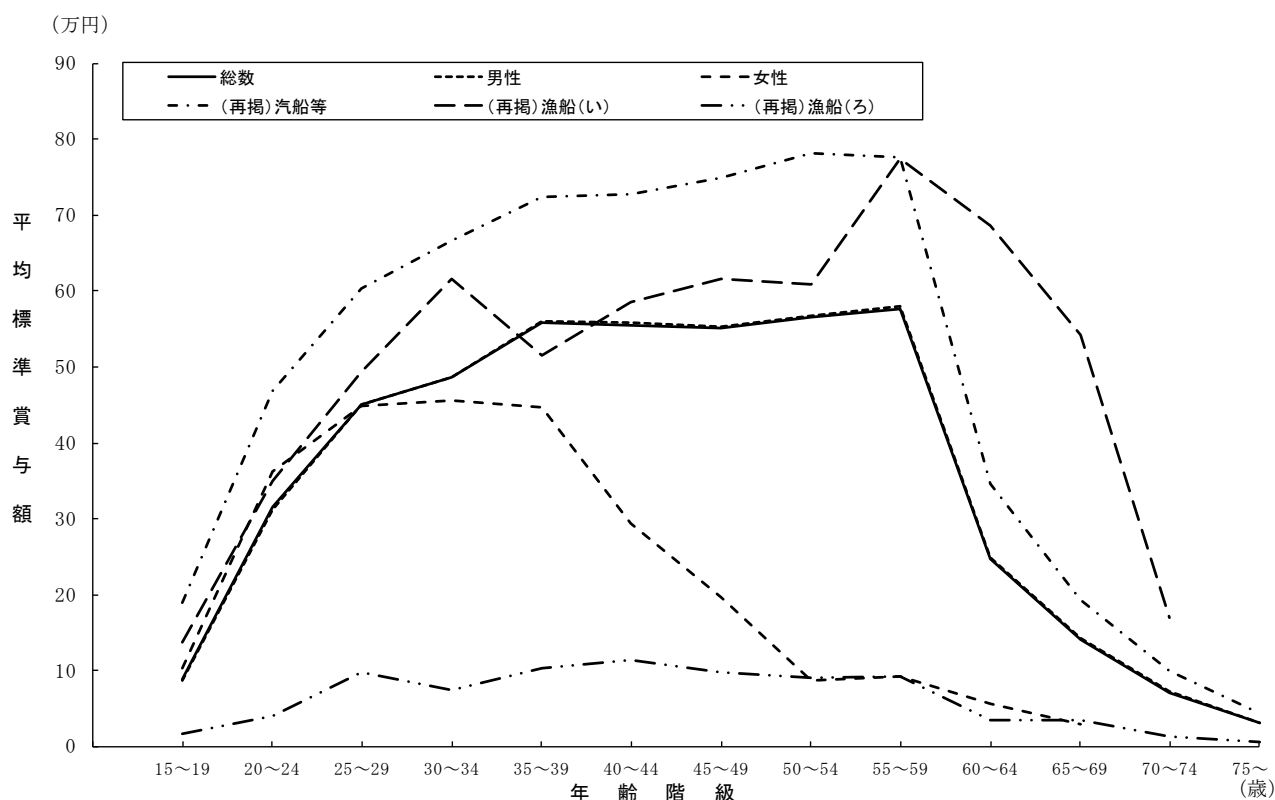
表10 年齢階級別平均標準賞与額（平成23年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
	円	円	円	円	円	円
総 数	460,418	462,574	326,452	632,326	585,635	76,075
15～19 歳	88,438	87,588	102,306	188,909	136,833	16,494
20～24	315,867	312,745	362,240	468,794	349,518	40,048
25～29	450,628	450,712	448,949	603,793	493,586	98,119
30～34	485,601	486,399	455,092	666,768	615,439	74,611
35～39	558,657	560,031	446,379	724,404	515,535	103,989
40～44	554,694	557,995	293,908	727,118	584,838	113,560
45～49	551,196	553,334	197,294	749,619	615,343	98,189
50～54	565,244	567,617	87,189	781,646	609,432	91,020
55～59	577,222	579,292	93,044	776,960	774,019	91,606
60～64	248,008	249,016	56,475	346,064	685,955	35,379
65～69	141,082	141,956	28,941	193,388	542,217	33,934
70～74	70,987	71,726	18,182	100,330	169,833	13,350
75歳以上	30,516	31,084	-	44,475	-	5,282

(注1) 平均標準賞与額については、疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

(注2) 標準賞与額とは、平成22年10月1日から平成23年9月30日の12ヶ月間に支払われた標準賞与額のことである。

図5 年齢階級別平均標準賞与額（平成23年10月1日現在）



また、平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較を示したものが表11及び図6である。

総数における平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率をみると、約1.17ヶ月分となっている。この比率を年齢階級別にみると、山型をなしており、ピークは35～39歳の約1.40ヶ月分となっている。その後は年齢の上昇とともに減少している。

次に男女別でみると、男性が35～39歳、女性が25～29歳でピークとなっており、また、ピーク時の平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、男性が約1.40ヶ月分、女性が約1.57ヶ月分

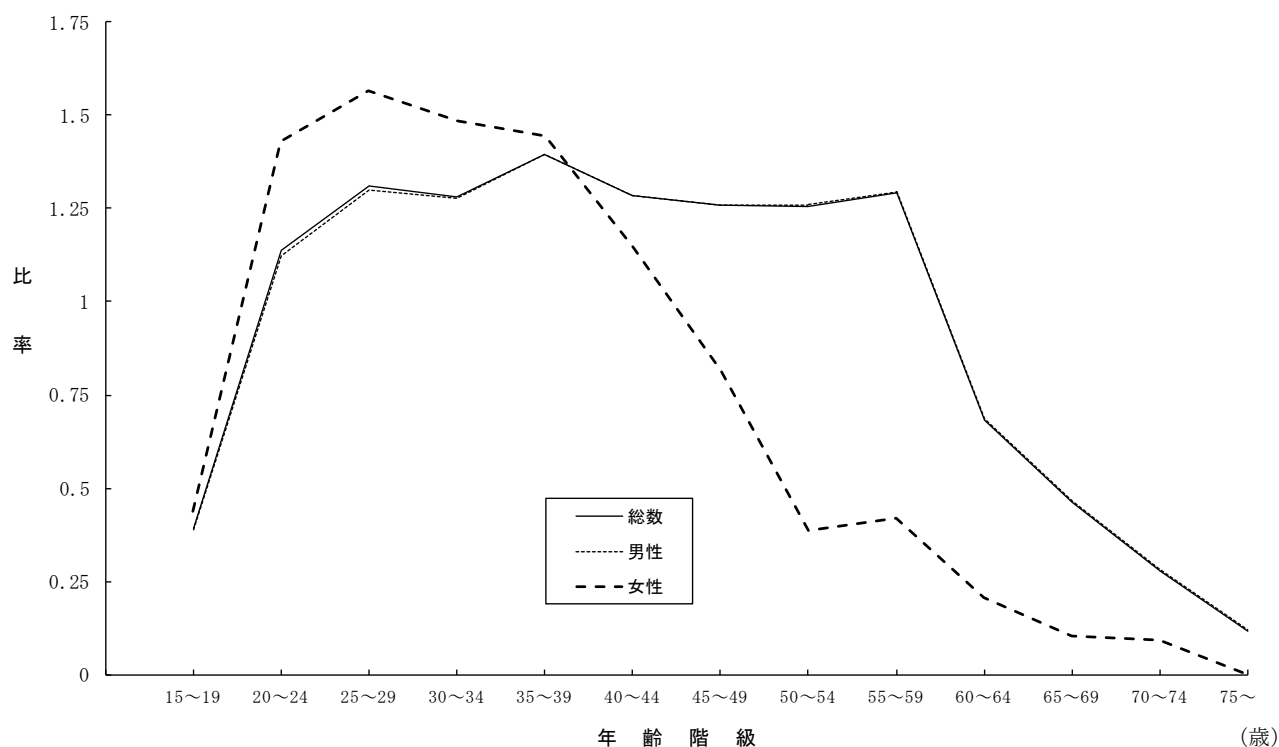
また図6をみると、平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、30歳代後半までは女性の方が高いが、40歳代以降全ての年代で男性の方が高くなっている。

表11 年齢階級別平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成23年10月1日現在）

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	393,175	395,123	267,341	460,418	462,574	326,452	1.171	1.171	1.221
15～19歳	225,125	224,639	233,056	88,438	87,588	102,306	0.393	0.390	0.439
20～24	277,295	278,921	253,103	315,867	312,745	362,240	1.139	1.121	1.431
25～29	343,587	346,431	286,673	450,628	450,712	448,949	1.312	1.301	1.566
30～34	378,544	380,440	306,631	485,601	486,399	455,092	1.283	1.279	1.484
35～39	400,414	401,525	308,724	558,657	560,031	446,379	1.395	1.395	1.446
40～44	431,933	434,129	256,092	554,694	557,995	293,908	1.284	1.285	1.148
45～49	438,294	439,465	241,294	551,196	553,334	197,294	1.258	1.259	0.818
50～54	449,727	450,818	226,270	565,244	567,617	87,189	1.257	1.259	0.385
55～59	446,625	447,545	221,644	577,222	579,292	93,044	1.292	1.294	0.420
60～64	363,550	363,957	275,000	248,008	249,016	56,475	0.682	0.684	0.205
65～69	304,795	304,978	279,474	141,082	141,956	28,941	0.463	0.465	0.104
70～74	253,988	254,629	196,909	70,987	71,726	18,182	0.279	0.282	0.092
75歳以上	262,164	262,995	217,500	30,516	31,084	0	0.116	0.118	0.000

(注) 平均標準賞与額については、疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

図6 平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成23年10月1日現在）



9. 年齢階級別平均総報酬額

被保険者の平均総報酬額（標準報酬月額の12ヶ月分に標準賞与額（平成22年10月1日から平成23年9月30日までの12ヶ月間に支払われたもの）を加えたもの）を年齢階級別に示したものが表12及び図7である。

年齢階級別の分布をみると、男性は標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークとなる年齢階級は50～54歳で5,968,066円となっている。女性の平均総報酬額については標準報酬月額と同様、2つの山があり、35～39歳、65～69歳でピークを迎えているが、男性と比べるとなだらかであり、年齢階級による差があまりみられない。

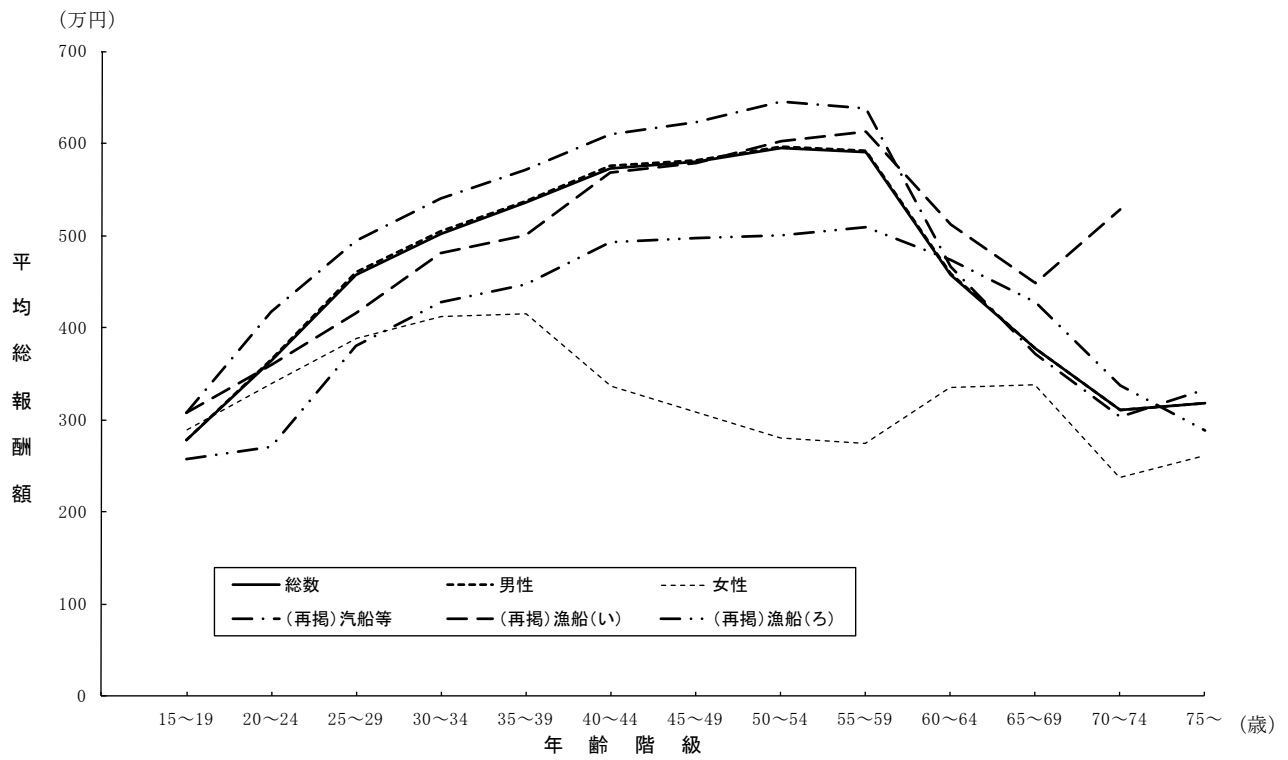
また、船舶種別にみると、男性と同様に山型をなしており、ピークは汽船等が50～54歳で6,447,228円、漁船（い）が55～59歳で6,121,645円、漁船（ろ）が55～59歳で5,086,685円となっている。

表12 年齢階級別平均総報酬額（平成22年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	（再掲） 汽船等	（再掲） 漁船（い）	（再掲） 漁船（ろ）
	円	円	円	円	円	円
総 数	5,158,119	5,183,301	3,532,061	5,571,012	5,186,759	4,495,055
15～19	2,789,938	2,783,262	2,898,972	3,084,147	3,076,833	2,574,428
20～24	3,641,737	3,658,113	3,398,095	4,172,969	3,590,036	2,709,453
25～29	4,570,435	4,604,714	3,884,518	4,948,729	4,159,512	3,803,213
30～34	5,023,295	5,046,941	4,126,459	5,396,580	4,813,007	4,284,222
35～39	5,358,201	5,372,827	4,151,069	5,720,240	5,000,662	4,473,156
40～44	5,730,624	5,760,146	3,367,015	6,091,830	5,690,351	4,933,473
45～49	5,801,632	5,817,725	3,092,824	6,234,907	5,780,716	4,973,357
50～54	5,952,683	5,968,066	2,802,432	6,447,228	6,019,925	4,996,434
55～59	5,911,541	5,924,457	2,752,778	6,374,074	6,121,645	5,086,685
60～64	4,579,174	4,584,790	3,356,475	4,662,546	5,117,045	4,733,473
65～69	3,774,071	3,776,909	3,379,579	3,722,431	4,491,783	4,271,132
70～74	3,105,017	3,113,143	2,381,091	3,037,921	5,289,833	3,369,672
75歳以上	3,176,489	3,187,028	2,610,000	3,335,369	-	2,889,282

（注）総報酬額は、標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額（平成22年10月1日から平成23年9月30日までの12ヶ月間に支払われたもの）を加えたものとしている。

図7 年齢階級別平均総報酬額（平成23年10月1日現在）



10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合

標準賞与額について、支給額が0円の被保険者の割合を年齢階級別に示したものが表13である。総数でみると0.513と半数以上の者が賞与を受けていない。

次に男女別、年齢階級別にみると、男性については年齢の上昇に伴い、いったん割合は減少したのち、再び上昇する傾向にある。最も割合の低い年齢階級は35～39歳で0.416となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は75歳以上で0.926となっている。女性についても男性と同様の傾向であり、最も割合の低い年齢階級は20～24歳で0.210となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は75歳以上で1.000となっている。

また、船舶種別にみると、汽船等及び漁船（い）は約3分の1の者が賞与を受けていないが、漁船（ろ）については約95%弱の者が賞与の支給を受けていない。また、年齢階級別にみると、どの適用区分においても年齢の上昇に伴い、いったん割合は減少したのち、再び上昇する傾向にある。最も割合の低い年齢階級は、汽船等が20～24歳で0.242、漁船（い）が55～59歳で0.248、漁船（ろ）が40～44歳で0.924となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は汽船等が75歳以上で0.830、漁船（い）が70～74歳で0.833、漁船（ろ）が75歳以上で0.987となっている。

表13 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合（平成23年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	0.513	0.515	0.375	0.337	0.332	0.938
15～19歳	0.702	0.726	0.306	0.361	0.333	0.953
20～24	0.492	0.511	0.210	0.242	0.367	0.951
25～29	0.457	0.465	0.279	0.249	0.321	0.934
30～34	0.444	0.447	0.330	0.248	0.284	0.930
35～39	0.414	0.416	0.293	0.255	0.345	0.929
40～44	0.455	0.454	0.523	0.276	0.351	0.924
45～49	0.471	0.471	0.559	0.289	0.358	0.928
50～54	0.475	0.475	0.649	0.305	0.352	0.931
55～59	0.474	0.473	0.689	0.322	0.248	0.932
60～64	0.672	0.671	0.800	0.504	0.341	0.957
65～69	0.791	0.790	0.882	0.765	0.565	0.961
70～74	0.867	0.867	0.909	0.718	0.833	0.971
75歳以上	0.927	0.926	1.000	0.830	-	0.987

(注1) 標準賞与額0円の割合については、疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

(注2) 標準賞与額とは、平成22年10月1日から平成23年9月30日の12ヶ月間に支払われた標準賞与額のことである。

1 1. 年齢階級別、被保険者期間別構成等

被保険者期間（資格取得後平成23年10月1日までの期間）が1年未満か、1年以上かにより、年齢階級別に被保険者の総数に対する割合を示したものが表14である。

被保険者期間1年未満の割合は、年齢階級総数で25.0%となっており、年齢の上昇に伴い概ね減少する傾向にあるが、学卒者の新規加入の影響により、25歳未満で1年未満の被保険者が多くなっている。また、定年後の再就職による加入の影響により、60歳以上65歳未満及び65歳以上69歳未満の1年未満の被保険者の割合は、前後の年齢階級と比べて多くなっている。

また、船舶種別にみると、被保険者期間1年未満の割合は汽船等が19.4%、漁船（い）が19.2%、漁船（ろ）が39.0%となっており、年齢階級別の状況はどの適用区分も総数とほぼ同様になっているが、15～19歳の年齢区分を除く全ての年齢区分において、汽船等及び漁船（い）に比べ漁船（ろ）の方が1年未満の割合が高くなっている。

表14 年齢階級別、被保険者期間別被保険者構成（平成23年10月1日現在）

（単位：％）

年齢階級	総数			（再掲）汽船等		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	25.0	75.0	100.0	19.4	80.6
15～19歳	100.0	80.8	19.2	100.0	81.3	18.7
20～24	100.0	45.0	55.0	100.0	39.2	60.8
25～29	100.0	28.6	71.4	100.0	21.9	78.1
30～34	100.0	23.6	76.4	100.0	17.4	82.6
35～39	100.0	21.1	78.9	100.0	15.3	84.7
40～44	100.0	20.9	79.1	100.0	15.6	84.4
45～49	100.0	21.5	78.5	100.0	15.4	84.6
50～54	100.0	21.0	79.0	100.0	14.7	85.3
55～59	100.0	21.3	78.7	100.0	16.0	84.0
60～64	100.0	25.6	74.4	100.0	22.8	77.2
65～69	100.0	25.9	74.1	100.0	23.3	76.7
70～74	100.0	22.2	77.8	100.0	23.2	76.8
75歳以上	100.0	13.2	86.8	100.0	10.6	89.4
年齢階級	（再掲）漁船（い）			（再掲）漁船（ろ）		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	19.2	80.8	100.0	39.0	61.0
15～19歳	100.0	83.3	16.7	100.0	80.3	19.7
20～24	100.0	35.3	64.7	100.0	56.5	43.5
25～29	100.0	23.5	76.5	100.0	44.3	55.7
30～34	100.0	18.2	81.8	100.0	38.0	62.0
35～39	100.0	17.6	82.4	100.0	36.8	63.2
40～44	100.0	15.5	84.5	100.0	34.3	65.7
45～49	100.0	14.9	85.1	100.0	35.2	64.8
50～54	100.0	13.6	86.4	100.0	35.0	65.0
55～59	100.0	15.0	85.0	100.0	36.4	63.6
60～64	100.0	17.4	82.6	100.0	37.3	62.7
65～69	100.0	26.1	73.9	100.0	36.1	63.9
70～74	100.0	—	100.0	100.0	26.3	73.7
75歳以上	—	—	—	100.0	17.9	82.1

次に、被保険者期間別に年齢階級別平均標準報酬月額について比較したものが表15である。年齢階級別に総数をみると、20～24歳及び55～59歳の2ヶ所でピークを迎え、60歳以降は徐々に小さくなり、70～74歳で最も小さくなっている。

さらに、船舶種別にみると、比率は漁船（い）が最も大きくなっている。また年齢階級別にみると、汽船等については40～45歳で最小、75歳以上で最大、漁船（ろ）については、75歳以上で最小、15～19歳で最大となっている。一方、漁船（い）については、15～19歳で最小、60～64歳で最大となっている。

表15 年齢階級別、被保険者期間別平均標準報酬月額（平成23年10月1日現在）

年齢階級	総数			（再掲）汽船等		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
	円	円		円	円	
総 数	360,100	404,173	1.122	366,985	422,284	1.151
15～19歳	221,937	238,517	1.075	241,961	238,255	0.985
20～24	264,799	287,536	1.086	309,925	307,878	0.993
25～29	331,062	348,593	1.053	336,945	369,111	1.095
30～34	365,159	382,680	1.048	369,878	399,263	1.079
35～39	388,924	403,478	1.037	409,882	417,486	1.019
40～44	436,111	430,829	0.988	461,373	444,416	0.963
45～49	429,315	440,759	1.027	452,112	458,019	1.013
50～54	412,599	459,588	1.114	442,601	477,237	1.078
55～59	401,823	458,759	1.142	406,879	477,757	1.174
60～64	340,097	371,601	1.093	303,050	376,473	1.242
65～69	304,984	304,730	0.999	253,150	306,528	1.211
70～74	281,027	246,272	0.876	232,500	248,508	1.069
75歳以上	271,793	260,695	0.959	194,533	283,730	1.459
	（再掲）漁船（い）			（再掲）漁船（ろ）		
年齢階級	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
	円	円		円	円	
総 数	329,107	396,327	1.204	360,612	373,137	1.035
15～19歳	252,000	210,000	0.833	206,692	239,493	1.159
20～24	266,531	271,956	1.020	209,517	239,282	1.142
25～29	291,053	309,919	1.065	329,272	292,461	0.888
30～34	301,852	360,496	1.194	366,451	341,224	0.931
35～39	336,160	381,795	1.136	373,004	358,913	0.962
40～44	393,478	431,344	1.096	417,162	393,578	0.943
45～49	414,000	433,333	1.047	417,445	400,180	0.959
50～54	397,926	459,186	1.154	391,455	418,117	1.068
55～59	370,875	458,780	1.237	401,593	424,652	1.057
60～64	302,783	383,284	1.266	396,306	388,650	0.981
65～69	341,667	324,706	0.950	389,899	332,349	0.852
70～74	－	426,667	－	384,889	242,198	0.629
75歳以上	－	－	－	354,571	215,344	0.607

12. 規模別被保険者構成割合、扶養率等

船舶所有者が使用する被保険者数（以下、「規模」という。）別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したものが表17である。

被保険者構成割合をみると、規模10～19人が最も多く16.1%となっている。また、規模100人未満の割合は82.1%となっている。適用区分別に被保険者構成割合が最も高いところをみると、汽船等が規模30～49人の17.1%、漁船（い）が規模100～299人の23.4%、漁船（ろ）が規模10～19人の19.2%となっている。

規模別の扶養率は、総数だと規模の違いによるはっきりとした傾向はみられないが、漁船（い）については、規模20～29人をピークとした山型をなしている。

規模と平均標準報酬月額との関係を見ると、規模が大きくなるにつれ、概ね増加傾向となる。これを適用区分別にみても同様の傾向にある。また、規模と平均標準賞与額との関係を見ると、規模が大きくなるに伴い高くなる傾向にあるが、総数及び汽船等については、規模300～499人でかなり下落している。

表16 船舶所有者が使用する被保険者数別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成23年10月1日現在）

使用する被保険者数	総数				(再掲) 汽船等			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総数	100.0	1.241	393,175	460,418	100.0	1.311	411,557	632,326
1～4人	8.2	1.276	288,894	157,042	8.1	1.342	332,251	230,551
5～9	15.3	1.248	340,228	222,885	14.8	1.285	356,047	349,728
10～19	16.1	1.284	394,691	353,864	15.7	1.393	383,068	542,460
20～29	12.3	1.222	373,364	412,084	11.3	1.352	394,128	651,185
30～49	16.0	1.239	404,651	534,447	17.1	1.303	417,733	698,157
50～99	14.2	1.255	426,946	688,354	16.3	1.283	426,729	863,199
100～299	12.0	1.296	483,696	857,002	14.2	1.331	476,983	1,008,770
300～499	1.6	0.798	739,016	2,049	2.5	0.798	739,016	2,049
500～999	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
1,000人以上	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
疾病任継	4.4	1.014	298,684	—	—	—	—	—
使用する被保険者数	(再掲) 漁船（い）				(再掲) 漁船（ろ）			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総数	100.0	0.940	383,427	585,635	100.0	1.146	368,248	76,075
1～4人	5.8	0.714	250,071	233,202	9.8	1.184	211,781	21,200
5～9	10.6	1.156	314,857	251,545	19.1	1.189	314,749	8,032
10～19	15.7	1.210	363,939	474,961	19.2	1.094	417,498	9,247
20～29	4.8	1.343	455,571	1,564,771	17.1	1.031	341,510	40,509
30～49	23.3	1.132	337,600	640,541	15.3	1.098	381,373	125,094
50～99	16.5	0.730	456,515	772,481	11.4	1.232	424,104	134,667
100～299	23.4	0.592	439,560	509,862	8.1	1.334	519,784	361,235
300～499	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
500～999	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
1,000人以上	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
疾病任継	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 規模別総数における平均標準賞与額については、疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

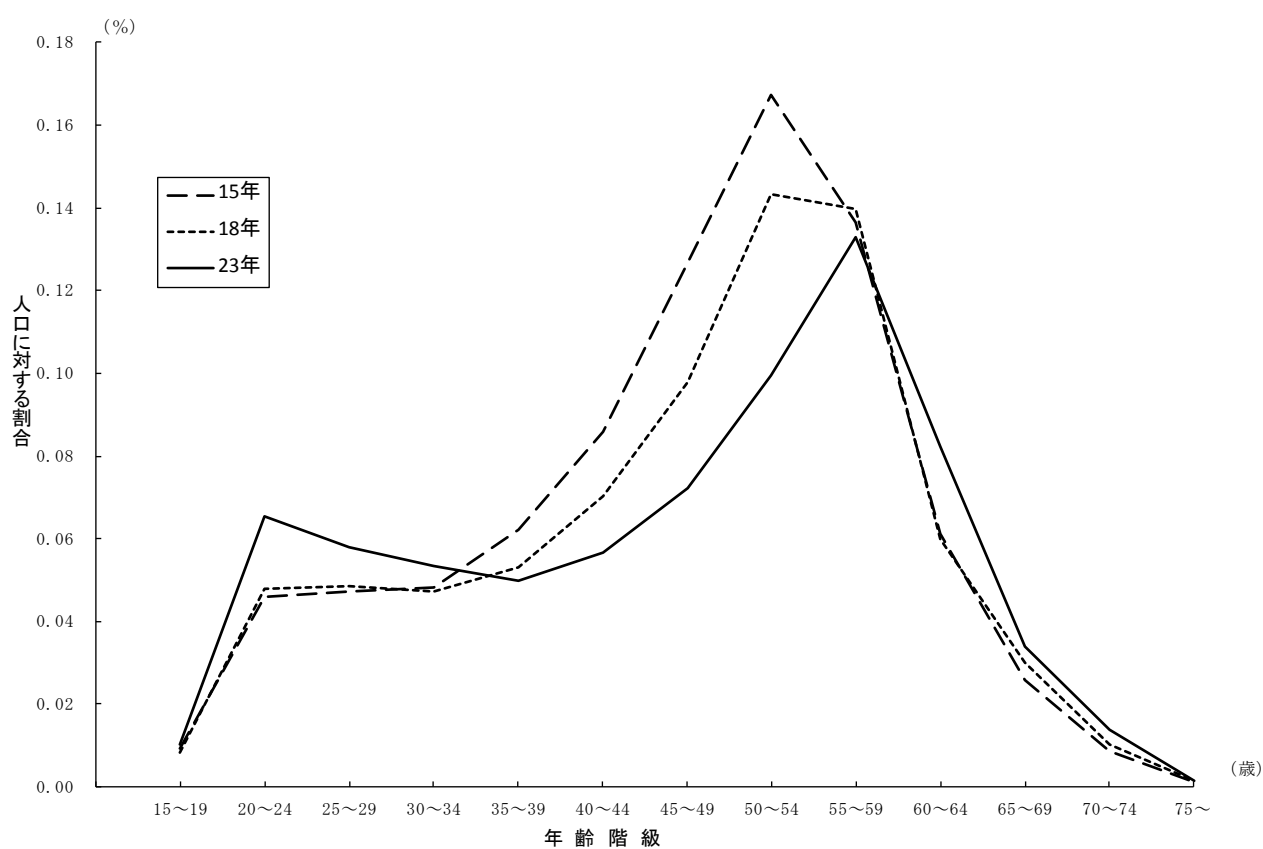
(注2) 標準賞与額とは、平成22年10月1日から平成23年9月30日の12ヶ月間に支払われた標準賞与額のことである。

1 3. 被保険者数の推移について

総人口に対する被保険者数の割合（以下、「被保険者割合」という。）の推移を男女計について年齢階級別に示したものが図8である。

被保険者割合をみると、平成15年から18年にかけては30歳代後半から50歳代前半までは減少しており、その他の年齢階級では概ね横ばいとなっている。また、平成18年から23年にかけては20歳代から30歳代前半までと60歳代は概ね増加しているが、その他の年齢階級では減少している。

図8 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）



男女別に人口に対する被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図 9-1、9-2 である。

男性については、男女計と同様に平成15年から18年にかけては30歳代後半から50歳代前半までは減少しており、その他の年齢階級では概ね横ばいとなっている。また、平成18年から23年にかけては20歳代から30歳代前半までと60歳代は概ね増加しているが、その他の年齢階級では減少している。

また、女性については、平成15年から平成18年にかけては、30歳代後半までは増加がみられ、その他の年齢については概ね横ばいとなっている。平成18年から平成23年にかけては20歳代後半から40歳代前半にかけて増加しており、40歳代後半から50歳代までは若干減少がみられるものの、その他については概ね横ばいとなっている。

図 9-1 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)

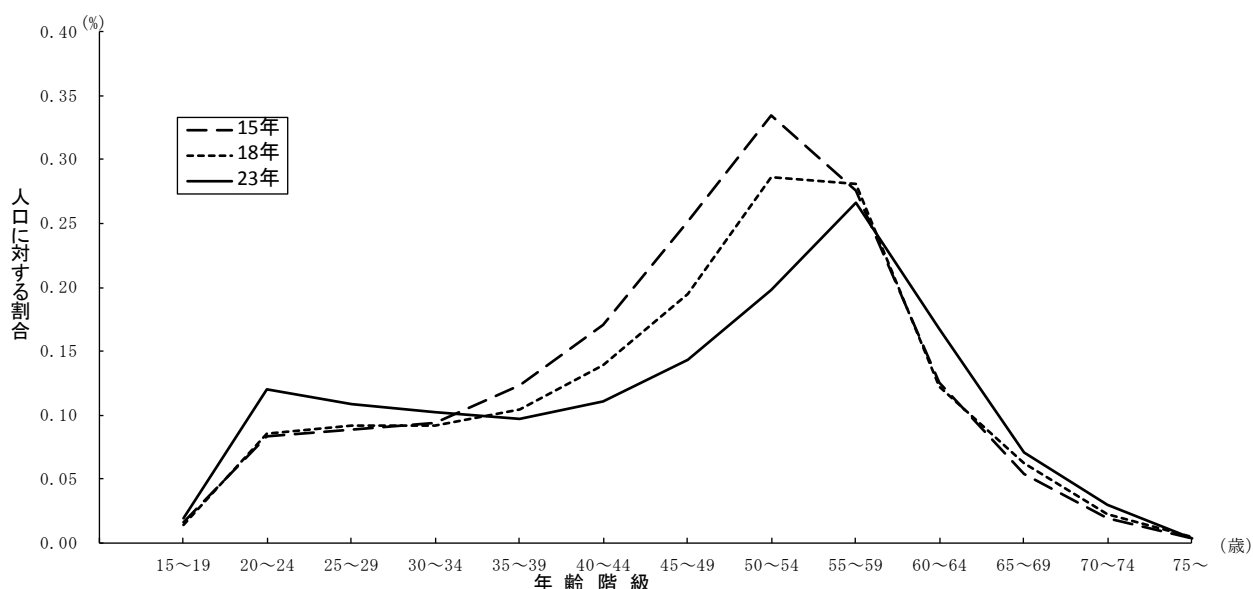


図 9-2 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)

